

官報

號外

大正七年三月八日

金曜日

印刷局

第四十回 衆議院議事速記録第二十號

大正七年三月七日(水曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第十九號 大正七年三月七日

午後一時開議

- 第一 軍需工業動員法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 衆議院議員選舉法中改正法律案(元田肇君外) 第一讀會
- 第八 罹災救助基金法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 大正六年勅令第二百二號(承諾ヲ求ムル件) (委員長報告) 第一讀會
- 第十 爆發物取締罰則廢止法律案(磯部尙君外) 第一讀會
- 第十一 鑛業法中改正法律案(磯部尙君外) 第一讀會
- 第十二 農會法中改正法律案(山内龜造君外) 第一讀會
- 第十三 神祇ニ關スル特別官衙設置建議案(岩崎勳君外) 第一讀會
- 第十四 津山上郡間鐵道建設ニ關スル建議案(福井三郎君外) 第一讀會
- 第十五 津山智頭間鐵道建設ニ關スル建議案(福井三郎君外) 第一讀會
- 第十六 不動産金融改善ニ關スル建議案(小山松壽君外) 第一讀會
- 第十七 普通銀行ノ金融ニ關スル建議案(堀川美哉君外) 第一讀會
- 第十八 陰陽連絡廣江鐵道速成ニ關スル建議案(恒松隆慶君提出) (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命マラス
(書記朗讀)

一議員ノ異動左ノ如シ

岐阜縣郡部選出議員永田吉右衛門君ノ補充トシテ武藤嘉門君當選セラレタリ

一議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

提出者 鹿兒島縣大島郡島嶼町村制撤廢ニ關スル建議案 奧田榮之進君 兒玉好熊君

提出者 志々目藤彦君

東京市特別市制ニ關スル建議案

提出者 村松恆一郎君 橫山勝太郎君 鳩山一郎君

磯部尙君 關直彦君 古島一雄君

鈴木梅四郎君 高木益太郎君 黑須龍太郎君

頼母木桂吉君 三水武吉君 近藤達兒君

會計士法案

提出者 高木益太郎君 關直彦君 近藤達兒君

日本體育會國庫補助ニ關スル建議案

提出者 江藤哲藏君 小川平吉君 橫田千之助君

熊谷直太君 漆昌巖君 富田幸次郎君

本田恆之君 大津淳一郎君 高木正年君

鈴木梅四郎君 村松恆一郎君 堀川美哉君

肥田景之君 山根正次君 富島暢夫君

白井哲夫君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

朝鮮警務機關ノ組織ニ關スル質問主意書

提出者 陣軍 吉君

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正七年三月五日

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員土屋清三郎君提出傳染病研究所ニ於ケル肺ベスト豫防措置ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員土屋清三郎君提出傳染病研究所ニ於ケル肺ベスト豫防措置ニ關スル質問ニ對スル答辯書

客月未傳染病研究所ニ發生セルベスト病毒傳播ノ豫防及消毒ニ關シテハ地方防

疫當事者十分ノ協議ヲ遂ケ適當ノ方法ヲ議シテ萬遺漏ナカラシメテ期セリ即チ患者ト同宿セル者診察看護ニ從事シタル者其ノ他患者ニ接近シタル者總テ二十八名ニ對シ豫防注射ヲ施シ且ツ之ヲ嚴重ナル監視ノ下ニ隔離シ患者ノ臥床シタル病室ヲ消毒ノ上閉鎖シ其ノ宿泊セル所第五號官舎ヲ亞鉛網ニテ取捲キ鼠族ノ逸出ヲ防キ所内ニ殺鼠劑ヲ撒布シ捕鼠器ヲ配置スル等捕鼠ヲ厲行シ且所内全部ニ消毒ヲ施シ所員全部ニ健康診斷ヲ行ヒタリ而シテ當分一般ノ外來患者ノ診療ヲ停止シ入院患者見舞人ノ入所ヲ謝絶シ入院患者ノ退院ヲ見合サシメ其ノ他看護婦小使等ノ外出ヲ禁シ猶所員中全然ベスト患者ニ關係ナキコト確實ナル者ニ限り通勤ヲ許スモ其ノ然ラサル者ハ一切所内ニ宿泊セシメ物資供給ニ關係アル商人ニ限り特別ノ注意ヲ監督ノ下ニ病室ニ感染スル虞ナキ方法ノ下ニ出入ヲ特許セリ然ルニ狂犬病豫防注射ハ時ヲ緩グスル能ハサル場合アルノミナラス現ニ受療中ノ者ハ一定期間一日モ注射ヲ中絶スルヲ得サル緊急ノ事情アリ且注射ヲ行フ場所ハ病室ト遠ク隔リタル獨立建物ナルカ故ニ之ニ防疫設備ヲ爲シ且之ヲ消毒シタル上特別嚴重ナル注意ノ下ニ本注射ヲ施行セリ又同所ニ於テ製造販賣スル痘苗血清等ニ就キテハ爲念十分ナル消毒ヲ行フコト、シ即チ其ノ容器外部ハ二%石炭酸水ニ三十分間浸漬シ置キ次テ水道水ニテ洗滌シ滅菌ガゼニテ拂拭シ包裝用圓筒及綿花ハ蒸氣消毒ヲ行ヒ貼紙及使用心得書ハフオルムアルデヒド瓦斯ニテ消毒シ又取扱者ハベスト患者ニ全然關係ナキ者ヲ選ビ「レスピレーター」(呼吸器)ヲ以テ口鼻ヲ蔽ハシメ常ニ消毒液ニテ洗手シ且包裝等ニ要スル器具ハ平素ニ於テモ十分消毒シ、アルヲ以テ傳染ノ虞ハ毫モ之レナキモノト認ム

右及答辯候也
大正七年二月五日
內務大臣 男爵後藤新平
文部大臣 岡田良平

(左ノ報告ハ期讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去五日辭任シタル常任委員左ノ如シ
第四部選出決算委員 柳原九兵衛君
一 去五日阿讃鐵道建設ニ關スル建議案委員尾崎敬義君辭任ニ付其補闕トシテ松島肇君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一 昨六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ
第四部選出決算委員吉植庄一郎君(柳原九兵衛君補闕)
一 昨六日徵兵令中改正法律案委員友枝梅次郎君辭任ニ付其補闕トシテ西村正則君ヲ議長ニ於テ選定セリ

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問ノ事項ガアリマス、第二部選出決算委員川村精之君、第三部選出豫算委員加治壽衛吉君、第六部選出決算委員松岡勝太郎君、第七部選出決算委員半谷清壽君、第七部選出請願委員川崎安之助君、第七部選出懲罰委員小山松壽君、第七部選出決算委員石田孝吉、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ之ヲ許可スルコトニ決シマス、各其部ニ於テハ速ニ補缺選舉ヲ行ヒ、御届出アラシコトヲ望ミマス——日程第一、軍需工業動員法案

案第一議會ノ續ヲ開キマス……
○岩崎總十郎君 特許法中改正法律案外三件ノ委員會ヲ開キマス、委員ノ方ハ委員室ニ御出ヲ願ヒマス
○議長(大岡育造君) 質疑ノ通告ハ前日ヨリ引續イテ之ヲ許可シタル順序ヲ執リマス——武藤金吉君

第一議會ノ續
○武藤金吉君 此場合ニ總理大臣以下各國務大臣ノ出席ヲ希望致シマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 各大臣トモ貴族院ノ豫算會議ガ尙續イテ居テ、彼方ニ出席シテ居ルサウデス、此處ニハ陸軍大臣ガ出席シテ居ラレマス、御質問ヲ……
(武藤金吉君登壇)

(拍手起ル)
○武藤金吉君 茲ニ議題ニ供セラレタル軍需工業動員法案ニ關シ、本員ハ數箇條ノ大體ノ質問ヲ試ミヤウト思フデアリマス、一昨日大島陸軍大臣ノ最モ乏シキ說明ニ對シ、國民黨及憲政會ノ議員ヨリ最モ弱キ質疑ノ應酬ガアリマス、此重大法案ニ對シテ其問フ所、其答フル所、亦極メテ要領ヲ得ザリシヲ遺憾トスルモデアリマス、故ニ本日ハ寺內總理大臣以下各大臣ノ出席ヲ待ツテ、吾等議員ノ質問ニ對シテ、明瞭親切ニ說明ヲ與ヘテ貰ハウト思フデアリマス、陸軍大臣ヲ除キ總理大臣以下御出席ガアリマセヌハ、甚ダ私ノ不満足トスル所デアリマス、此重大問題ニ對シテ寺內總理大臣ガ說明ノ任ニ當ラレテ大演說ノナイト云フコトハ、本案ヲ自ラ侮辱スルノ甚シキモノデアリマス、是ハ國務大臣ガ此說明ノ勞ヲ執ル、コトハ、當然ノ責務デアリノミナラズ、此要旨ヲ一般國民ニ周知セシムルノ必要ガアルデアリマス、仍テ御出席ガ無クモ一箇條一項毎ニ付キマシテ、豫メ答辯漏ノ無イヤウニ、速記録ニ就テナリ明確ノ說明ヲ望ムデアリマス、第一帝國ノ地位現狀ヲ如何ニ現政府ハ觀察ラシ、將來ノ方針ヲ如何ニ確立セシムトスルデアリカ、是ガ第一ノ一項デアリマス、第二項ハ即チ寺內閣内閣ノ現狀ヲ眞ニ戰時狀態ト見テ居ルカ、又ハ平時狀態ト察シテ居ルカ、而シテ國民ヲ如何ニ適從セシムルカト云フコトガ、第一ノ二項ノ問デアリマス、第三項ノ問ハ、寺內閣内閣成立以來茲ニ二年、固ヨリ大限前内閣ノ秘政ノ後ヲ承ケテ、廓清スベキ任務ヲ以テ生レタモノデアリマセウガ、寺內閣内閣ノ使命ハ世界ニ於ケル時々刻々推移シ來ル所ノ大勢ヲ遠觀シテ、泰然自若、以テ大方針ヲ定メテ國策ヲ行ハス、國運ノ進展ヲ期セナケレバナラナイ責任ガアルデアリマス、然ルニ寺內閣内閣ノ政策ハ、時ニ戰時狀態ニ於ケルカ、時ニ平時狀態ニ於ケルカ、時運ニ適應シテ遺憾無シトハ申シ難イ、ソレハ寺內閣内閣ガ豫算案ニ於テ施政ノ一斑ヲ示セシガ如ク、増廢減稅ニ片鱗ヲ現ハセシガ如ク、其他幾多ノ法律案ニ於テ羽翼ハ見セラレタケレトモ、悉ク區々ニシテ片々ニシテ、點々ニシテ、吾等ハ捕捉スル事ガ出來ナイデアリマス、例ヘバ寺內閣内閣ヲ動物ニ譬ヘタナラバ、水ニ棲ム動物ノ如ク頭許リ見セテ體ガ見エナイ點モアリ、陸ニ躍ル動物ノ如ク、内地ニ居ルカト思ヘバ植民地ノ方ニ奔リ、彼ニ厚ク我ニ輕ク、又空ヲ飛ブ動物ノ如クデアッテ、鳥デアアルカ、蝙蝠デアアルカ、或ハ飛行機デアアルカ、吾等ハ一向判斷ニ苦シム政策ヲ執ッテ居ルデアリマス、實ニ施政ノ正體ガ何レノ所ニアルデアリマス、又此政治ノ如何ナル本官ガ方針ニ向ッテ、如何ナル所ニ向ッテ發動シ、如何ナル活躍ヲセントスルモデアリマスガ、吾等ハ之ヲ認ムルニ甚ダ苦シム者デアルト同時ニ、恰モ現今自

動車ニ乗テ飛ビ歩ク所ノ貴顯紳士ヲ見ルガ如ク、甚ダ危險千萬ニ感ズル次第アリマス、更ニ言葉ヲ改メテ申サバ、帝國ノ現狀及將來ニ對スル方針ハ、果シテ國民輿望ノ積極方針ヲ執ルモノデアルカ、將又官僚秘密ノ消極政策ヲ執ルモノデアルカ、或ハ開國進取ノ一大産業主義ヲ標榜スルモノデアルカ、或ハ舉國一致ノ一大軍國主義ヲ執ルモノデアルカ、若クハ産業軍國併進主義トモ申スベキモノヲ執リ積リテアリマスカ、内外ノ趨勢ニ鑑ミ、今日軍需工業動員法案ノ提出ヲ見ルニ際シテ、寺內總理大臣が自ラ此壇上ニ於テ、此重大ナル言明ヲ得ント欲シタルアリマスガ、總理大臣ハ一日昨日ニ於テモ、今日ニ於テモ、衆議院ニ此言明ヲ聞ク事ノ出來ナイノハ、甚ダ私ハ總理大臣ノ爲ニ執ラス所デアルノミナラズ、此案ノ爲ニ甚ダ悲ムモノデアリマス、第二ハ軍需工業動員法案ヲ通過致シマスノニ、一般ノ産業動員ト認ムル點が多クデアルマス、何故ニ此法案ヲ工業動員ト規定シタルデアルカ、何故ニ産業動員ト之ヲ標榜シテ此案ヲ出サナイノデアルカ、是ガ第二ノ一項ノ問デアルマス、第二ニ軍需品ノ定義デアルマス、軍需品ノ定義ハ本法ノ第一條ニ明記サレテ、軍需品ト稱スルモノハ其ノ一項ニ於テ、兵器、艦艇、航空機、彈藥並軍用器具、及物品、第二ニ軍用ニ供シ得ベキ船舶、海陸聯絡輸送設備、鐵道軌道及其附屬設備、其ノ他ノ輸送用物件、第三ニ軍用ニ供シ得ベキ燃料、被服及糧秣、第四ニ軍用ニ供シ得ベキ衛生材料及獸醫材料、第五ニ軍用ニ供シ得ベキ通信用物件、第六ニ前各號ニ掲グルモノ、生産、又ハ修理ニ要スル材料、原料、器具、機械設備及建築材料、第七ニ前各號ニ掲グルモノヲ除ク外、勅令ヲ以テ指定スル軍用ニ供シ得ベキ物件ト書イテアリマス、是ハ明ニ一般産業ニ關係スルモノニシテ、就中燃料、被服、糧秣ノ原料政策ノ如キハ、最も此國家トシテ重大ナルモノデアルデ、此原料政策ノ根本ヲ極メシテ、此法律ヲ以テ戰時ノ用ニ供スルコト云フコトニ付テハ、何故ニコレヨリ前ニ原料政策ヲ解決シナイノデアルカ、試ニ此中ノ糧秣ノ點ニ付テ御尋ラシマスレバ、我國今日ノ食糧ハ、今日ヲ以テ足レリトスルノデアルカ、此食糧問題ニ付テハ現内閣ハ屢々豫算委員會ニ於テ、其他ノ委員會ニ於テ、又本會議ニ於テ、種々ノ機會ニ於テ、各議員ヨリ質問ガ出テ居リマスガ、之ニマダ解決ヲ與ヘテ居ラヌデハアリマセヌカ、唯、荒蕪地ヲ開墾スル位ノ事デアリマシテ、此食糧ノ根本政策ト云フモノハ、殆ド其端緒モ啓イテナイノデアル、今本員ガ調査セシ所ヲ以テスレバ、現在我國ニ於ケル所ノ穀類ハ米麥豆、其他ノ雜穀ヲ入レマシテ八千七百萬石餘デアリマス、而シテ僅ニ食糧ヲ充スニ過ギナイ、人口ニ當リメテ食糧ヲ充スニ過ギナイ、若シ年々五六十万乃至七十万ノ人口ガ増加シ、此分テ行キマシタナラバ、戰時ニ非ズト雖モ食糧ノ缺乏ハ目ノ當リデアリマス、況ヤ戰時ニナシテ參リマシタ場合ニハ、食糧ノ獨立ハドウナル積リデアアルカ、此食糧ノ問題ガ解決シナクテ、此軍需工業動員法案ヲ御出シニナリマシテモ、或ハ其效力ヲ見ナイノデハナイカ、試ニ日本全國ニ於ケル所ノ朝鮮臺灣樺太ヲ除ク所ノ面積ヲ數字ヲ以テ申シマスレバ、三千五百九十五萬二千七百七十九百五十三町步、桑園ガ四十四萬八千三百二十六町步、森林ガ九百九十七萬三千七百七十七町步、原野ガ二百一十九萬九千六百八十七町步デアリマス、總面積ノ我が耕スベキ所ノ割合ハ一割六分ニナッテ居ル、而シテ唯今申上ゲタル八千七百萬石ノ穀類ガ取レテ居ルガ、此穀類ヲ以テ我日本ノ六千三百萬ノ人口ニ當リメマスト、ドウシテモハ現在ニ於テ足ラヌデアリマス、然ラバ之ヲ充スト云フコトハ、將來田畑ヲ開墾スル面積ヲ調べ、サウシテ此方法ヲ講シナケレバナラヌノニ、政府ハ何等ノ設備ガ無イデハ

アリマセヌカ、三千五百九十五萬二千七百七十九百五十三町步ノ中デ、我が内地ニ於テハ傾斜地ガ多クアリマスカラ、十五度以内ノ土地ヲ耕作スルモノトシマシテ、之ヲ見積リマス、其面積ハ九百五十二萬二千七百七十九百五十三町步、右ノ中ヨリ既ニ耕地ニナッテ居ル所ノ五百七十五萬九千九百十町步ヲ差引キマス、三百七十六萬九千三百三十二町步デアリマス、其計算ノ安全ヲ圖ル爲ニ本員ハ、此三百七十六萬九千三百三十二町步ヲ二分ノ一以內ニ見積ッテ開墾セントスレバ、百五十一萬三千三百町步ヲ開墾スル土地ガ得ラルノデアル、此土地ヲ開墾致シマスレバ、千三百萬石ノ穀類ノ增收ヲ見ルコトガ出來ル、而シテ其費用ハドノ位掛ルカト申シマスレバ、一町步ノ平均三百五十圓ノ開墾費ト見マスレバ、此總資本額ガ五億三千萬圓ヲ要スルノデアル、而シテ年々是レカラ上ル所ノ增收ガ、穀數ハ申上ゲタガ金額ハ年々三億六千九百九十一萬圓ノ收穫ガアルノデアルマス、而シテ總資本額ノ五億三千萬圓ト云フモノハ、勸業銀行ガ貸スカ、農工銀行ガ貸スカ、政府ハ唯、荒蕪地ヲ開墾スル丈デ、其根本ノ施設、食糧ノ根本問題ノ解決ニ觸レヌト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、又之ヲ開墾スルニハ如何ニシテ此方法ヲ執ルカト云フコトハ、明細ニ陸海軍大臣デハ御答ガ出來マスマイガ、總理大臣其他ノ大臣ニ於テ明瞭ナル御答ヲ願ヒタイト存ジマス、食糧ノ問題ハ以上斯ノ如クノ事實デアリマス、我が帝國ニ於テ既ニ識者ハ非常ニ心配サレテ居リマス、寧ロ我が日本國民ヨリモ外國人ガ日本ノ食糧ニ就テハ問題ヲ揭ゲテ論ゼラレテ居ルデハアリマセヌカ、去二月二十二日「アドヴァンタイザー」新聞ニハ「ストラザース」氏ノ議論ヲ掲ゲテ、日本ノ食糧問題ヲ揭ゲテ「吾々ニ的確ナル證明ヲ與ヘラレテ居ル」此演說ハ東洋協會ニ一書ヲ送り又、又慶應義塾ニ於テ此問題ニ付テ最近ニ演說ガアッタデアリマス、其要旨ハ日本ノ土地ニシテ耕作ニ適スル土地ハ一割六分ノ一、日本ノ人口五千五百萬ノ中二千五百萬乃至三千萬ノ農民デアル、馬ノ飼育シタルガ、其他ニ行ッテ見ルモノハ價值ハ馬ノ馬糞ヨリ廉イ、而モ人ノ勞働價值ハ馬ヨリモ尙ホ廉シト斷言セラレテ居ル、人口及生産費等ノ向上シタルアル日本ハ、現在ニ於テ其土地ノ力ヲ以テ人口ヲ養フヲ得ズト書イテ居ル、更ニ日本ノ人口ハ米國ノ人口ノ半ニ當リ、一方耕地ハ桑園其他食糧品非食糧品ヲ栽培スル土地ヲ合スルモ、米國ニ於ケル耕地ノ二十分ノ一ニシカ當リテ居ナイ、是ハ其通リデアリマセヌカ、世界ニ於テ日本ノ如ク田畑ヲ耕スニ多數ノ人ヲ用ユル處ハナイ、又日本ノヤウニ耕地ノ區別ノ極メテ狹隘ノ處ハナイ、又家畜ヲ飼育センカ、見込少ナシ、家畜ノ飼育ハ人類ノ食糧ノ剩餘ヲ以テ之ニ充ツベキモノデアリニ拘ラズ、日本ニ於テハ其剩餘ノ食糧ト云フモノガナイ、例ヘバ豚ヲ一頭飼ヒマスニハ五百封度ノ穀類ヲ與ヘナケレバ、豚ノ生肉百封度ヲ得ルコトガ出來ナイ、此經濟的ナル豚ノ飼育ニ於テモ、日本ニ於テハ不適當デアルト云フコトノ論斷ヲ下サレテ居ルノデアル、然ラバ此食糧ノ供給問題ト云フコトハ、軍國ニ於テモ平時ニ於テモ是ハ大問題デアリマス、此大問題ヲ解決シナイノニ、軍事工業動員法案ヲ立テ、糧秣等ヲ勅令若クハ此法律ヲ以テ支配スルコト云フコトハ如何ナルデアリマスカ、此點ニ就キマシテハ最も詳細ナル所ノ政府ノ所見ヲ承リクイト思フノデアリマス、二問ノ四項ニ就キマシテ、此原料生産ノ政策ハ唯今申シタ通り、本法ヲ一朝有事ノ時ニ施行セントスルニハ、其本ヲ究メズシテ末ヲ求ムルモノデハナイカ、政府ノ考ハ如何、物價調節令ノ如キ目下委員會ニ建議案ガ出テ居リマスカレドモ、物價調節令ノ如キハ私ノ見地カラ致シマスルト、其末デアリマシテ、其本デハナイト思フノデアリマス、第三問、第三問ノ一、物資ノ動員ニ就テ、戰時ニ於テ有ラユル軍需品原料ノ賣買、使用、消費、輸出入ノ制限、禁止、及其收用ノ方法ハドウスル積リデアアルカ、此法案ノ物資ノ動員ヲ熟

研究調査ヲ致シマスレバ、而モ有ラユル物資ヲ皆ナ此工業動員法若クハ勅令ニ依ッテ、總テ軍國ノ用ニ供シ、國家ガ皆使フコトノ出來ル法律ニナッテ居リマスガ、然ラバ此使用消費等ノ制限ニ就テハ、如何ナルコトヲ爲サル積リテアルカ、今日物價ヲ調節スルト云フコトニ就テモ、原料ノ賣買使用消費ト云フコトニハ、制限ヲ爲サナケレバ今日ノ物價ヲ平ラニスルコトハ出來ナイノデアル、彼ノ英吉利ノ如キ、佛蘭西ノ如キ、亞米利加ノ如キ、又敵國ノ獨逸ノ如キハ、此軍事産業動員令ヲ出スト同時ニ、直ニ使用消費ノ制限令ガ出テ居ル、食物ノ制限令マデ出テ居ル、日本ニ於テハ、此法律ヲ出ス時分ニハ、食物ノ制限令ヲ出ス積リテアルカ、出サズ積リテアルカ、是ハ陸海軍當局者デモ宜イガ承ハリタイ、食物ノ制限ハ日本ニ於テハ出來ナイト云フ論者ガ澤山アリマスガ、本員ノ考フル所ニ於テハ、日本ニ於テ食料ノ制限ハ現在ニ於テ從來ニ於テヤッテ居ルト思フ、例ヘバ海陸軍隊ニ於キマシテモ、米ト麥トヲ混セマシテモ一定ノ量ヲ給シテ居ル、又監獄署アリテモ食物ノ制限ヲヤッテ居ル、學校ノ寄宿舎又ハ大工場ノ寄宿舎ニ於テモ、食物ノ制限ハ現ニ實行シテ居ル、然ルニ日本ノ今日ノヤウニ、此使用消費ノ制限ヲ一寸モ御構ヒナク、サウシテ外國米ノ關稅ヲ引下ゲルトカ、若クハ朝鮮臺灣ノ米ノ移入稅ヲ撤廢スルト云フ位デハ、物價ノ調節食糧ノ調節ハ困難デアラウト思フ、況ヤ軍需工業動員法ヲ實施スル場合ニ於テ、此目的ヲ達スルコトハ出來マイト思フガ、當局者ハ此食料被服其他ノ使用消費ノ制限令ヲ、之ニ伴ッテ出ス積リテアルカ、出サズ積リテアルカ、此點ハ最モ肝要ノ點デアリマスカラ、明細ナル御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、又第二項ハ、此方法ノ如何ニ依テハ國內ノ人心ヲ振興スルコトモ出來レバ、又戰時ニ於ケル軍事公債募集ニモ喜シク應ジサセラルコトモ出來ル、又農業商業工業ニモ安シクテ從フコトガ出來ルノデアアルガ、若シ政府ガ此方法ヲ誤ラシメタニハ、必ズ此目的ヲ達スルコトガ不可能デハナイカト思フノデアリマス、是ハ大切ノ問題デアリマス、之ヲドウスル積リテアルカ、更ニ第三項、物資ノ動員ニ關シ、一般生産業ヲ減退セザルヤ如何、此食糧被服總テノ物資ノ動員ヲ行フ場合ニハ、果シテ一般ノ從來ノ生産業ヲ減退セシムル虞ハナイカ、ドウカ、本員ノ考フル所ニ依リマスレバ、日本ハ小農組織デアル、又耕作ヲスルノ最モ澤山ノ人ノ勞力ヲ要スル國デアリマス、若シ壯丁ガ此戰時ニ徵發セラレタ場合ニハ、此生産業ト云フモノガ減退スルト云フ考ハナイカドウカ、此點ヲ伺ッテ置キタイ、又第四項トシテ、本法ヲ施行セントスル戰時ノ場合ニハ、唯今申シタ通り壯丁ハ義務奉公——其多クハ戰線ニ立ツコトニナル、戰線ニ立ツコトニナッタナラバ、之ニ代ッテ働ク者ハ何人デアアルカ、此物資動員ヲ行フト同時ニ、婦人老人青年ナド云フ者ハ、此壯丁ニ代ッテ働カセル積リテアルカ、又是等ノ働カセル方法ニ就テノ政府ノ策案ハ如何デアアルカ、之ヲ伺ッテ置キタイ、第五、物資ノ動員ニ付テ、一般經濟界ノ安固ヲ保チ、製造會社ノ從前ノ利益ノ保障ヲ得セシムル事ガ出來ルカドウカ、是ハ大切ナ問題デアリマス、從來ノ工業會社ノ利益ガ、其通り總令三萬五千萬減ルノハ已マ得ズトシタ所ガ、其會社ノ從前ノ利益配當ガ保障シテ行カレルカ行カレナイカト云フコトハ、是ハ戰爭ニ伴フ經濟界ノ安定スル爲メ大問題デアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ハドウシテ見テ居ルデアアルカ、明カニ答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ戰時中本法施行ノ場合ニハ、從來ノ職工ノ賃銀ハ如何ナル方法ヲ以テ支給シ待遇ヲスルデアアルカ、此法律ヲ見マスルト、政府ガ會社ヲ管理シ若クハ借リテ——收容シテ兵役ニ非ザル所ノ——徵兵令ニ拘ラズ此兵役ニ當ッタ所ノ壯丁ヲ收容シテ、働カセルト云フコトガ書イテアリマスガ、然ラバ從前ノ職工ノ賃銀ハ半額ニスルデアアルカ、三分ノ一ニスルデアアルカ、兵

役ニ當ッタ者ハ徵兵令ニ准ジテ之ヲヤルトシタ所ガ、從來ノ職工ノ賃銀ハドウスル積リテアルカ、此點ニ付テハ最モ大切デアリマスカラ、明答ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、次ハ第四項ノ一項、人員ノ動員デアリマス、人員ノ動員ニ付キマシテ、此動員法ニ依リマス、兵卒ト同ジク此兵役ニアル者ヲ召集シテ勤勞セシムル事ニナリマスガ、職工ニハ相當ノ練習ガナケレバ其用ヲ爲サナイ、大工ヲ直グニ繼續シテモ用ヲ爲サナイ、鍛冶屋ヲ直グニ靴職工ニシテモイケンナイ、然ラバ此人員ノ動員ニ付キマシテハ、果シテ政府ハ豫期ノ通り、サア戰爭ガ始ッタカラト云フ鐵道ノ輸送トカ、荷物ヲ運搬スルトカ車ヲ押ストカ云フコトナラバ間ニ合フカ知レヌケレドモ、此工場ニ入レテ職工ノ用ニ間ニ合ウカ如何ト云フコトハ、最モ本員等ノ氣遣フ所デアリマスガ、政府ノ見込ハ果シテ如何デアリマスガ、之ヲ詳細ニ承リタイ、ソレカラ第二項ニ、平時ニ政府ノ管理スル工場若クハ事業上ノ人員總數ハ何程デアアルカ、是ハ海軍陸軍ノ砲兵工廠、其他政府全體ノ工場若クハ事業上ニ於テノ人員ノ總數、及賃銀ノ總額ヲ承リタイ、之ヲ分別シマシテ申上ゲマスレバ、兵器ヲ製造スル者何人、彈藥ヲ製造スル者何人、製鐵ニ從事スル者何人、被服ヲ製造スル者何人、靴ヲ造ル者何人、遞信省ニ屬スル所ノ職工ハ何人、戰艦製造ニ從事スル所ノ職工ハ何人、而シテ現在ニ於テハ一日ニ於テ此兵器及彈藥ハドウ位ノ比例ヲ製造スル力ヲ有シテ居ルカ、戰時ニハ之ヲ何十倍ニスル御見込デアアルカ、此邊モ詳細ノ數字ヲ承リタイ、亭ニ私ハ——司法大臣ガ居リマセヌガ、此監獄ニ於ケル所ノ作業改良ニ付テ、政府ノ所見ヲ承ッテ置キタイ、監獄ニ居ル所ノ既決囚人ハ多ク時ハ七萬、少クモ五萬、此五七萬ノ監獄囚人ハ、今日監獄內ニ於テ作業ヲヤッテ居リマスガ、日本ノ監獄ニ於キマシテハ、英國獨逸米國佛蘭西ノ如ク、其監獄費ノ四割乃至五割ノ働カスル作業ハ出來テ居リマセヌ、僅ニ二割カ二割五分ニ當ルノ仕事シカ出來テ居リマセヌガ、政府ハ此監獄內ニ於ケル所ノ作業ニ、政府ノ現在ヤッテ居ル職工ノ仕事ヲ移シテ、監獄內ニ或ハ動力ナリ機械ナリ、總テノ技術ヲ入レテ、監獄ニ於テ此高イ所ノ給料ヲ拂フ政府ノ仕事ヲヤラセルト云フ政策ヲ有シテ居ルカ、如何、被服製造ノ如キ、靴ヲ製造スル如キ、又細カイ兵器ヲ製造スルガ如キ仕事ハ、最モ監獄內ノ仕事トシテ適當デアル、然ルニ今日監獄ニ於テハ、紙ヲ漉キ繩ヲ編ヒ草鞋ヲ作り、社會ノ進歩トハ沒交渉デ、幾ラカハ良クナリマシタケレドモ、監獄內ノ作業ト云フモノハ、殆ド算盤ヲ見テ居ナイ、勿論監獄內ノ仕事デアリマスカラ、實ニ算盤ノ勘定許リカラ來ナイ、此作業ニハ囚人ニ對シテ相當ノ給與ガアルデアアルカ、此給與ヲ與ヘテ精神狀態ノ上カラ遷善改過ノ途ヲ取ルト云フコトモ、是ハ一法デアルガ、監獄內ニ於ケル所ノ作業ノ如キハドウスル積リテアルカ、當局大臣ハ御居デハアリマセヌガ、法制局長官ガ御居デヤウデアリマスカラ、是モ明確ニ御答辯ニ預リタイト思フ、第五、兵器軍需品ノ或部分ノ製造ヲ民間ノ各會社ニ移シテ、政府監督ノ下ニ納付セシメ、又外國政府ノ注文ニ應ジシムル事ヲ許ス方針ナリヤ、如何、兵器ノ民間製造ヲ許スト否ト云フコトハ、最モ此事業界ニ大關係ヲ有スルデアリマスカラ、政府ハ現在及將來ニ於テ、兵器軍需品ノ或部分ヲ、民間ノ製造會社ニサセル積リテアルカ、サセナイ積リテアルカ、又外國政府ノ注文ニ應ジテ之ヲ賣ラセル積リテアルカ、賣ラセナイ積リテアルカ、是モ亦明確ニ御說明ヲ得タイ、此第五項ノ二項トシテ、羅紗製造事業ノ如キハ、我民間ニ移ス方ガ國家ノ爲ニ有利デアッテ、便利デハナイカト思フ、政府ノ所見ハ果シテ如何、第三項三千住製絨所ノ賣拂處分ノ問題ノ如ハ、屢々問題トナッタデアリマスガ、現在ハドウナッテ居ルカ、又將來ハドウスル積リテアルカ、是モ承ッテ置キタイ、第四項ハ泰平組合ノ事デアリマス、泰平組合ノ如キハ何等兵

器製造ヲスルノデモナイ、軍需品ノ製造ヲスルノデモナイ、然ルニ何等軍需品ノ製造ニ多
大ノ貢獻ヲシテ居ルモノデモナイ所ノ、少數ノ富豪ノ組合ニ長ク此利益ヲ壟斷セシメテ
居ルコトハ、政府ハ今日以後ニ於テ之ヲ廢止スル積リテアリマスルカ、繼續スル積リテア
ルカ、實際ニ兵器及軍需品ヲ製造スル會社ニ、此特權保護獎勵ノ途ヲ付與シテ、外
國政府ニ之ヲ賣ラセルト云フ途ヲ執ルハ、國內ニ於テ國防充實ノ點ニ於テモ、裨益
スル所ガ多クダラウト思フ、然ルニ此泰平組合ノ兵器賣買ニ付キマシテハ、永久ニ之ヲ
廢止シナイデ、繼續シテ置ク積リテアリマスルカ、是ハ陸軍大臣ノ御答辯デ宜シウ御坐イ
マスカラ、明確ナル答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、第六問、軍需工業動員法ヲ活用
スルニ、平時ニ於テハ如何ナル機關ヲ設置シ、戰時ニ於テハ如何ナル責任ヲ執ラル、積
リテアリマスルカ、是ハ一昨日國民黨及憲政會ノ質問者カラ、質問ガアリマシタガ、戰時ニ
ハ軍需大臣ヲ置ク積リテアル、軍需省ヲ置ク積リテアルト云フ陸軍大臣ノ御答デアリマ
シタガ、平時ニ於テハ是ハ如何ナル人ガ、如何ナル者ガ此機關ヲ設置シテ、此衛ニ當ラ
ル、ノデアリマスルカ、平時及戰時ノ區別ヲ立テ、此責任ニ當ル人ヲ承リタイト思フ、第
二項ハ此廣汎ナル關係ヲ有スル各種各樣ノ施設ハ、到底尋常一様ノ事デハ出來ナイノ
デアリマス、故ニ此立案ヲスル時ニハ、何所ガ主ニナツテヤッタノデアリマス、責任者ハ内閣總理
大臣デアリマセウガ、内閣總理大臣ノ御出デニナラヌ所ヲ見ルト、此法律ヲ主トシテ編成シ
テ、此案ヲ作ッタノ何省何大臣デアリマス、之ヲ主管スルモノハマダ分ラヌトシタ所ガ、此法
律ヲ司配スル者ハ陸軍大臣デアリマス、海軍大臣デアリマス、内閣總理大臣デアリマス、若クハ
總理大臣自ラ之ヲ提案シタノデアリマス、是モ同ヒタノデアリマス、次ハ第三項、此目的
ヲ達スルニハ化學工業ハ何物ニ依テ目的ヲ達スル積リテアルカ、科學學問ノ發明、總テ
ノ工業ハ如何ナルモノニ依テ此目的ヲ達スル積リテアルカ、是モ承リタイト、第四項ハ生産
原料ノ増進ヲ圖ルニハ、如何ナル方針ヲ實行シテ行クカト云フコトモ、是ハ最モ必要ナ
事柄デアリマスルカ、是モ承リタイト、第五項、機械使用動力使用ノ方法ヲドウ云フ風ニ
シテヤルカ、例ヘバ水力電氣會社若クハ機械製造會社、其他ノ使用スル方法ハ從來サ
ウ剩シタモノヲ有シテ居ナイ、之ニ向テ此工業動員ヲ徵發スル場合ニハ、ドウ云フ風ニ
シテ此機械ノ使用動力ノ使用ヲスルノデアリマスルカ、豫メ此使用方法ニ付テハ重大ナ關
係ヲ有ツノデアリマスルカ承テ置キタイト、第六項、全體ノ職工ノ脈絡統一ヲ圖ルニハド
ウ云フ名案ガアリマスルカ、此大ナル工業動員ヲスルニハ、全體ノ職工ノ脈絡統一ヲ付ケ
テ行クニハドウ云フ名案ヲ以テ、ドウ云フ方法デヤルカト云フコトヲ御示シテ願ヒタイト、第
七項、此法律ヲ強テ實行スル場合ニハ、一般經濟上ニ恐慌ヲ波及シナイカドウデア
ルカ、此恐慌ヲ波及サセナイトスルニハ、如何ナル良計ガアルカ、是モ承リテ置キタイト、第八
項、本法ヲ提出スルニ方デ、政府ハ普ク全國ノ工業者ノ意見ヲ徵シタノデアリマス
カ、アリマセウカ、斯ノ如キ重大ナル所ノ案件、法律ヲ出スニハ、英國ニ於テモ、佛蘭
西ニ於テモ、亞米利加ニ於テモ、又獨逸邊リニ致シマシテモ、各知識階級實業階級工
場主等ヲ呼ンデ、サウシテ明細ナル調査ト意見ヲ徵シテ、此戰時ノ産業動員ヲ行ハレテ
居ル、是ハ戰時ノ産業動員デナイ、永久ニ豫備ノ軍需工業動員デカラ、開カナイト
云ヘバツレマデアルカ、斯ノ如キ大問題ヲ決スルノニ、工業者實際家ノ意見モ徵サナイ
デ、此法律ヲ規定スルト云フコトハ、政府ハ此目的ヲ達スルコトガ是デ出來ルト思ハレマ
スカ、又ツレトモ本法ヲ提出スルニ當テ、工業者ノ意見等ヲ徵シタモノガアッタナラバ詳
細ニ承リタイト、第九項、本法ヲ何故ニ此帝國議會ノ開會ノ初ニ提出シナイノデアリマス
貴衆兩院議員ハ此軍備國防計畫ト共ニ、斯ウ云フ案ガ出マシタナラバ、議會ノ初メニ

當テテ之ヲ慎重ニ審議ヲシテ、長時日ヲ要シテ調ベマシタナラバ、此案モ立派ニナリ、又
國民ノ希望ニ副フヤウニ、實際ニ活用スルヤウニナッタデアラウ、今ヤ議會ノ終リニ垂マ
ル場合、僅カニ二週間ヲ剩ス今日、此重大ノ法律案ヲ出スト云フコトハ、政府ハ眞面
目ニ此案ヲ此議會デ通過ス積リテアリマスルカ、此案ニ付テ確信ヲ有シテ居ルノデアリマス、甚
ダ帝國議會ニ對シテ、斯ノ如キ此議會ノ終リガケニヒョウリ秘密主義ヲ出スト云フコ
トハ、極メテ不親切デナイカト本員ハ思フノデアリマス、此邊ノ經過ヲ承テ置ク必要ガ
アリマス、第七問、損害補償ト利益ノ保護及獎勵ノ方法、此一項ハ損害ノ補償ハ物
資ノ動員ニ關シテ生ズルモノデアリマシテ、政府ハ戰時ニ際シ軍需品ノ生産修理又ハ貯
藏ノ爲必要アル時ハ土地並家屋倉庫其ノ他ノ工作物及其ノ附屬設備ノ全部又ハ一
部ヲ管理シ使用シ又ハ收用スルコトヲ得「トアレドモ單ニ損害ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
政府ノ之ヲ補償ス」トハ如何ナル意義デアリマスルカ、勅令ノ定ムル所ニ依テ單ニ之ヲ補償
スルト云フ意義ハ、ドウ云フ意義デアリマスルカ、之ニ付テ詳細ノ説明ヲ望ムモノデアリマ
ス、第二項利益ノ保護、政府ハ軍事上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條各
號ニ掲クル工場若ハ事業場ヲ有スル者又ハ前條ニ掲クル者ニシテ一定ノ資格アルモノ
對シ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ獎勵金ヲ下付スルコトヲ得「トアリマ
スガ、從來一割ナリ二割ノ純利益ノ有ル工場會社ノ此利益ヲ保證シテ、既得ノ權利收
益ヲ害セストノ意義デアリマスルカ、若クハ此利益ノ保證ハ從來ノ利益ニ構ハズ、幾分か
利益ヲ保證スルノデアリマスルカ、是等ノ點ニ付キマシテモ明確ナル説明ヲ求メルモノデアリ
マス、第三項、獎勵金下付ノ意義ハ、此法律ヲ通覽致シマスト極メテ曖昧デアリマス、
政府ヨリ事業ノ監督命令ヲ受クルニ依リ之ヲ受ケルノカ、將又新事業ヲ開始シテ補給
ヲ受クル必要ヨリ獎勵金ヲ下付セラル、モノデアリカ此邊モ明カニ説明ヲ得タイモノデア
リマス、第八問、第八問ハ秘密洩洩ト罰則デアリマス、第一項工業工場ノ生命ハ如何
ナル會社ニアリマシテモ、亦個人ニ於キマシテモ、特殊ノ秘密ガアルノデアリマス、然ルニ本
法施行ノ場合ハ、果シテ各工業ノ秘密洩洩ト窃取ヲ能ク防止スルコトガ出來マスルカ、是
ハ私ハ甚ダ疑ハシイト思フノデアリマス、若シ此秘密ノ洩洩窃取ヲ防グ方法ガアレバ、之ニ付
キマシテ明答ヲ得テ置キタイトデアリマス、第二項、軍需工業動員法ヲ實行スル場合ハ、
之ヲ拒ミ之ニ服セザルヤウナ非國民ハ日本帝國ニハ本員ハ無イト確信スル、併ナガラ當
該官吏又ハ政府ニ於テ收容スル職工等ニ於テハ、工場ノ秘密ヲ洩洩シ若クハ窃用スル位
ノ者ハ無シトシナイ、故ニ政府ハ是等ニ對シテ嚴重ナル罰則ヲ設ケル意思アリヤ如何、又
之ニ依ツテ生ズル損害賠償ハ如何ニスルモノデアリマス、寧ロ之ヲ拒ミ此收用ニ應ゼザル
國民、會社ハ無イカ、官吏若クハ政府ガ收用シタ職工ノ中カラ、會社内ノ秘密及ヒ總テ
ノ物ヲ盜ム者ガナイ譯ハナイト思フ、此場合ヲ罰スルニハ同ジ罰則ヲ準用スト之ニハ書
イテアリマスガ、更ニ之ヲ嚴重ナル取締ヲスル意思ガ有ルカ無イカ、又之ニ依ツテ秘密ヲ
洩洩シテ秘密ヲ公ニシテ仕舞フテ、專賣特許ナリ特種ノ製造物ヲ他ニ遺ルト云フ損害
ノ時、何ヲ以テ償フ積リテアルカ、是亦御尋シテ置クノデアリマス、第九問、政府ハ平時ニ
於テモ戰時ニ於テモ、勞働能率ヲ國民全體ニ増加スル方針ヲシテ、是ガ調査ヲナシ、是
ガ機關ヲ設ケタノデアリマスルカ否ヤ、又此勞働調査ニ付テハ、政府ハ現在ニ於テ調ベツ、アル
ノデアリマス、將來勞働能率増加ニ付テハ、方針ハドウスル積リテアルカ、是亦御説明ニ預
リタイト、二項、現行ノ工場法ノ規定ハ生産發達ノ方針ニ付テ支障ナキヤ如何、現在ニ
行ハレテ居ル工場法ハ、現在ニ於テモ其明文通リニ行テ居ナイノデアリマス、若シ此工業
動員ガ行ハレル場合ニハ、現在ノ工場法ノ規定ハ工業動員ノ精神ニ背反セザルヤ否

ヤ、之ニ付キマシテハ現ニ請願モ出テ居リマスルシ、又當業者カラ猶豫出願等モ當局ニ出テ居ルノアリマスルガ、是等ノ工場法ノ規定及工業動員法ノ精神ニ背反シナイカ否ヤト云フ事ヲ、詳シク承テ置キモ、最後ニ第十問、軍需工業動員法ハ國家ノ現狀ニ鑑ミ必要重大ナル法案ナルモ、餘リニ軍國主義ニ偏重シ、所謂俗ニ謂フ士族ノ商法ニ傾イテ居ナイカ、貴方ガタハ軍事ニ掛ケテハ甚ダ詳シケレドモ、生産業ヤ商賣ヤ製造工業ニ付テハ、或ハ製鐵其他兵器ヲ作ル方ニハ御堪能デアリマセウガ、一般ノ産業ニ付テハ所謂俗ニ謂フ士族ノ商法ト云フ事ニナルノデアアル、内閣諸公多シト雖モ、能ク下情ニ通ジ居ル者ハ極メテ少ナクハナイカ、此軍需工業動員法掌所ノ人ノ如キハ、我帝國ニ於テモ最モ明晰ナ頭ヲ有シ、數字ニ明シテ人ノ使ヒ方ヲ能ク知リ、非常ニ國務大臣以上ノ力量ヲ識總テ有ル者ニ非ザレバ其任ニ堪ヘナイト思フ、然ルニ碌々タル俗吏輩ガ斯ノ如キ事ヲ掌ツテ、サウシテ此軍需動員法ヲ活用シヤウト云フ事ハ如何ナモノデアアルカ、誠ニ氣遣フ者デアアル、又平時戰時ヲ問ハズ、生産業ニ經驗ノ無イ所ノ官吏等ガ安リニ干渉シ、其運用如何ニ依テハ極メテ危險デアアル、此危險ノ結果ハ一般經濟界ヲ攪亂シ、一般生産力ヲ阻害滅退セシムル憂ナシトセズ、政府ノ所見果シテ如何、第二項、此戰時狀態ニ於テ天下ノ人心ハ甚ダ奮興ヲ見ナイ、士氣ノ消沈ハ殆ド其極ニ達シテ居ルヤウニ私ハ見ル、軍人ニシテ戰ガ出來ナイトカ、軍需品ノ出來ル見込ガナイトカ、苦ミヲ嫌ヒ死ヲ厭フノ聲ハ滔々シテ全般ニ漲ジテ居ルデアリカ、彼ノ日清ノ役、日露役當時ノ氣分ハ果シテ今日ト比ベテ孰レノ所ニ在ルカ、國民ノ敵愾心ハ何レノ所ニ見出ス事ガ出來ルカ、成金ナル者ヲ見レバ、悉ク政府事業ニ關係スル所ノ寄生蟲デアリカ、又近來犯罪事件ニ坐スル者ハ、硬イ所ノ鋼鐵ニ蟲ガ附イテ、其犯罪ニ連坐スル所ノ者ハ親任官又ハ高等官ヲ初メ、百數十人ノ官業從事者タル官吏デアリカ、實ニ此官業ニ關係スル所ノ有様ヲ見レバ、成金タル寄生蟲ニ非ザレバ此官業ニ從事スル所ノ者ハ、皆不正手段ヲ行フテ縲紲ノ辱ヲ受ケテ、首ヲ縊ルヤウナ輩ガ多イデアリカ、軍需工業動員法ノ活用ノ如キハ、法律規定ヨリモ人心ノ奮興士氣ノ振作ガ最大最重要ナル要素デアリカト私ハ考ヘル、政府ハ今日ノ腐敗墮落ノ實際狀態ヲ如何ニ觀察スルカ、斯ノ如ク墮落腐敗ノ極ニ達シタノハ、前ノ内閣——大隈内閣稅政ノ置土産タル事ハ明カナ事デアアルガ、併ナガラ現内閣諸公モ決シテ責任ヲシナイ、斯ノ如キ場合デアリマスカラ、内閣諸公ハ如何ニ之ヲ觀察シ、如何ニ之ヲ振肅セントスルモデアアルカ、此法案ヲ行フニ付テ、今日ハ内閣諸公、陸海軍大臣、法制局長官ノ外御出席ガナイト云フ事ハ、政府自ラ此案ヲ輕ンズルノデハナイカト思フ、併ナガラ本員ノ質問ニ對シマシテハ、第十箇條四十二項ニ涉リテ居リマスルカラ、之ニ對シテ明細ナル所ノ書面、若クハ説明ヲ得タイノデアリマス、若シ私ノ説明ノ趣旨ガ分ラナレバ、茲ニ一ツ書ニ書イテアル質問ノ要旨ヲ御貸シ申シテモ宜シイデアリマスガ、明細ナル御辯明ヲ得タイト思フデアリマス

〔拍手起ル〕

〔國務大臣大島健一君登壇〕

○國務大臣(大島健一君) 武藤君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、但シ武藤君ノ御質問ハ唯今仰シヤタ如ク、私が一寸記憶シテ書イタモノデモ、美濃紙ノ野紙ニ枚ニ互ルヤウナ澤山ナモノデアリマス、又其内ニハ總理其他ノ國務大臣ヨリ答ヲ御希望ニナリ、又答ヘルノガ至當ト認メマスモノモアルノデ、此工業動員法ニ直接ノ關係ヲ持チマス點ニ付テ、概要ノ御答ヲ致シタイト思ヒマス、第一ニ私ハ九箇條マデ書キマシタモノハ、要スルニ

原料ト云フモノニ歸スルヤウデ御坐イマス、原料ノ事ヲ極メズニ工業動員法ト云フ事ヲ此處ニ極メルト云フコトハ、順序ヲ誤マデ居リハセヌカト、斯ウ云フ事ニ概要此九箇條ガ結論サレラウト思ヒマス、ソレニハ食料其他總テノ原料ニ互ッテ御議論ガアリマシタガ、是等ハ無論戰時ニ夫々之ニ對スル規定處置ヲ致サナレバナラヌモノデ、又平時ヨリ其ノ考ハシテ居ルデアリマス、此工業動員法ハ昨日モ申シタ如ク、是レ一本ヲ以テ戰時ノ總テヲ律スルモノデアリマセヌ、又此工業動員法ノ初メノ所、即チ一條ヨリ第六條ニ至ル迄ハ戰時ノ規定デアリマスノデ、御議論中ニ平時ニ何カ是ガ關係アリ、即チ平時ニ幾分カ實行セラルルカノヤウニ御解釋ニナデ居リハセヌカト思フ點ガアリマスカラ、御注意迄ニ申上ゲテ置キマスガ、六條迄ハ戰場規定ノ根本法デアリマス、是ト同ジモノガ各種ノ原料ニ互ッテ——獨リ原料ノミナラズ人員其他萬事ニ互ッテ、此規定ハ出來ルモノデアラウト思ヒマス、此原料ノ規定ガ無イカラ、工業動員ノ此規定ハ假想デアルト云フ御意ハ成立タヌコトデアラウト思フ、ソレカラ次ニ又四五箇條ノ御話ガアリマシタガ、此四五箇條ハ之ヲ約メマスルト、職工ト云フコトニナリ、職工ノ教育動員給與ト申シマスガ、給料ナドノコトデアリマス、此工業動員法致シマシテモ、凡ソ各工場ニ有シテ居ル所ノ機械ニハ、官有ノ戰時モ動イデ居リ、戰時モ動イデ居ルデアリマス、人ヲ増ス程度ハエライ大キイモノデアアルマイト思ヒマスルケレドモ、其準備ハ無論致サナレバナリマセヌ、其中ニ此兵役ニ在ル者ノ召集ヲシタ御話ガ御坐イマシタ、此給料ハドウスルカト云フコトデアリマシタガ、是ハ他ノ職工一般ノ取扱ヲスルモノデアリマス、唯、此兵士ヲ採ツテハ此工業ノ成立、即チ兵器ヲ造ラウト云フ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フヤウナ場合デ、極ク有數ナ場合ト思ヒマスルガ、其場合ニ於ケル職工ハ、普通其工場使ッテ居ル職工ト同ジニスルノ御坐イマシタ、ソレカラ又海陸工場ノ職工數、戰時ノ是レノ増加、各種ノ御希望ガ御坐イマシタガ、動員ニ關シテ居ル事柄デ、詰リ其職工數其セハ左程ニハアリマセヌガ、之ヲ以テ製造力ヲト知スルコトノ出來ルモノデアリマスカラ、秘密ニ致シテ居リマス、其中監獄ノ者ヲ云云フヤウナコト、之モ今日矢張私ノ方デモ仕事ヲ命ジテ居ルモノガアリマス、是ハ他ノ省ニ關係シテ居リマスルガ、他ノ省ニ於テモ無論相當ノ利用ヲ致シテ居ラウト思ヒマス、此動員法デモ考ヘマスルト、此等モ亦戰時ニ應スル上ニハ多少ノ考ヲスルト云フコトハ、爲政者ノ責任ヲラウト思ヒマス、ソレカラ兵器軍需品ノ民營ト云フ事ニ付テ、民營ニスルト云フ方針ナリヤ、又羅紗製造所ハ賣ルカドウカ、拂下ケルカドウカ、泰平組合ハドウカト云フヤウナコトデ御坐イマシタ、是ハ是迄ニモ隨分御説明ヲシテ居リマスノデ、政府ハ其製造所中民營ニ屬シテ適當ト思フモノモ無イコトモアリマセヌ、其時機ニハ相當ナ處置ハスル積リテ居リマス、泰平組合ハ各種ノ議論ガアリマシタケレドモ、アレハ一ノ商社デアリマシテ、此商社ニ唯、政府ト政府ト問テ賣買ヲシタ兵器ノ取扱ヲシテ、其手數料ヲヤッタト云フコトガ問題デアリマス、若シアレバ政府ガ關係セズニ其會社ガ支那ナリ暹羅ナリ南米ナリカラ注文ヲ受ケテ來テ、日本ニ持ッテ來テ頼ンデ造ッテ賣ッテ持ッテ行ッテ、元ノ所ニ納メルト云フノナラ、何等議論ハ無イデアリマス、サウ云フ意義ニ於テハ、アレノ存續ハ第一妨グベキモノデモナシ、又時ニモ之ヲ用ヒル利益モ御坐イマスノデ、アレヲドウシヤウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマセヌ、此重大ナル法案ガ今日提出サレルト云フコトハ甚ダ遲カッタデアリカ、斯ウ云フ御質疑デアリマシテ、私共モ左様感シテ居ルノデ、此提出ノ理由ヲ申上ゲル時ニモ、此遲延ハ止ムヲ得ズ此ニ至ッタデアリマシテ、其遲延シタコトハ、御斷リヲシテ置イタ次第デアリマス、ソレカラ此補償並ニ平時ニ於ケ

ル利益ノ保證獎勵金、戰時ノ補償ハ一昨日モ高木君カラ御議論ガ出テ居リマシタ、相當ノ補償ヲシ、ソレノ意ニ滿タスモノハ之ヲ法廷ニ訴ヘテ、十分意志ノ貫徹ヲ圖ルト云フコトハ、何レ取計ヲ積リテアリマスガ、抑、是ハ戰時ニ於テ初メテ現ハレルノデアリマスカラ、平時カラ細カキ事ヲ規定シテ置ク譯ニハ行キマセヌノデ、總テ他ノモノ、利害問題ト權衡ヲ得ル程度ニ於テ、總テ戰時ハヤテ行カンケレバナリマセヌカラ、此管理使用收用ノ場合ノ補償ト云フコトハ、全ク戰時ノ外ハアリマセヌカラシテ、其時ニ於テ均衡ヲ得ル方法ヲ定メテ、ソレヲ實行シテ行ク外ハアルマイト思ヒマス、ソレカラ平時ノ方ハドウ云フモノニヤルカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、是モ餘程考ヘンケレバナラヌ、餘程慎重ニ攻究シタ上デナケレバ實行ハ出來マセヌガ、日本ニ無イ所ノ原料、又工場ニ依ッテハ僅カナ設備ヲサシテ置イテ、戰時非常ナ用ヲ爲スト云フヤウナ場合ニハ、其理由ヲ具シテ豫算ノ協賛ヲ經テ後ニ實行ヲ致ス積リテ居リマス、澤山ノ問題デアリマスガ、概要取纏メマシテソレ丈御答ヲ致シテ置キマス、尙ホ二三他カラ御答ヲ致シマスカモ知レマセヌ

○議長(大岡育造君) 鈴木錠藏君

○政府委員(有松英義君) 議長

○議長(大岡育造君) 法制局長官

(政府委員有松英義君登壇)

○政府委員(有松英義君) 大體條ヲ逐ウテ陸軍大臣ヨリ答ヘラレマシタ通りデアリマスガ、尙ホ監獄ノ作業ニ付テ私ヨリ説明ヲスルヤウニト云フ質問者ノ御要求デアリマシタ、御承知ノ通り監獄ノ作業ハ、主タル目的ハ經濟ニアルノデアリマセヌ、刑ノ執行ノ目的ヲ達スルコトヲ以テ、主タル目的ト致シテ居ルノデアリマス、故ニ經濟上カラ考ヘマシタナラバ、多少ノ利益ヲ得コトハアリマシテモ、刑ノ執行ノ目的ニ適フコトヲ以テ第一ト致シテ居リマス、ノデアリマスガ故ニ、軍事ニ關スル事業ヲ監獄ニヤラセマシテ、刑ノ執行ノ目的ト相背馳セザル場合ニ於テハ、差支ハ無イコト、存シマスルナレドモ、他ノ工場ヲ管理シテ事業ヲ行ハシムルト同一ニ、監獄ヲ論ズル譯ニハ參ラナイト存シマス、素ヨリ非常ノ場合ニ於テハ非常ノ處置ヲ執ルコトハアリマスルナレドモ、大體右申上ゲマシタヤウナ事ヲ以テ、趣旨ト致ス外ハ無イト考ヘマス、尙又他ノ事柄ニ付キマシテ、官吏ノ秘密ヲ漏洩致シ、或ハ竊用致シマシタル場合、或ハ官吏ノ職務ヲ直接ノ職務ノ關係ニアラズシテ職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者ト云フ第十六條第二項ノ規定ニ付キマシテ御尋ニ對シマシテハ、唯今質問者ヨリ承リマシタ通り、工業上ノ秘密ハ最も尊重ヲ致サナケレバナリマセヌガ故ニ、斯様ノ規定ヲ設ケタノデ御坐イマシテ、本來ハ刑法ノ例ニ依リマシテモ、辯護士、盜竊、藥劑師、醫師、其他ノ者ガ職務上知リ得タル秘密ヲ他ニ漏ラス、或ハ他ノ場合デ申上ゲマスルナラバ、營業稅法ニ於テ收稅吏ガ知リ得タル職務ヲ他ニ漏洩致シタル場合ニ對スル制裁ハ、何レモ此處ニ規定致シテ居ルヨリハ非常ニ輕イノデアリマス、工業動員ニ關シマシテハ最も此秘密ヲ尊重致スノ趣旨ニ依リマシテ、刑法ニ規定シテアルヨリハ、又營業稅法ニ規定シテアルヨリハ、特ニ重キ制裁ヲ加ヘテ取締ラムトシテ居ルノ御坐イマス、此他ニ於テ如何ナル取締ヲ爲スカト申スコトハ、官吏デアリマスルナラバ官吏服務規律ニ規定ガ御坐イマシテ、服務上夫ノ監督ヲ致シ、間違タナラバ懲戒處分ヲ爲ス、斯ウ云フコトニ相成ッデ居リマス、是レ以外ニ別段ノ取締ノ方法ハアリマセヌノデアリマス、併ナガラ服務規律ト云ヒ、此第十六條ト云ヒ、之ヲ嚴正ニ適用致シマシテ、平素ヨリ監督ヲ十分ニ行ヒマシタナラバ、取締ハ付ク見込デアリマス、若シ又其爲ニ損害ヲ生ジタ時ニ

其賠償ハ如何ニスルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ一般ノ民法ノ原則ニ依リマシテ、或ハ處罰サレマシタル場合ニ於テハ、私訴ヲ起シマス、又ハ普通ノ民事訴訟ヲ起シマスナリ致ス外ハ、方法ハ法律上無イノデアリマス、是ハ如何ナル場合ニ於テモ、救濟法ハ斯ノ如クナルノデアリマシテ、單リ此事ニ關シテノミ、右ノ方法アルノミト申ス次第デアリマセヌ、モウ一箇條ハ本法ハ工場法ノ趣旨ト抵觸ハシナイカト云フ御尋デアリマシタナレドモ、工場法トハ何等關係ハ無イト存シマス、工場法ハ職工ノ保護ヲ行フガ爲ニ夫ノ規定ヲ設ケマシタノデアリマス、例ヘバ勞動時間ノ制限、勞動者年齡ノ制限、或ハ勞動者ニ給與致シマスル規定、解雇ノ場合ニ於ケル保護ノ規定等ヲ列ネデアリマス、御坐イマシテ、總令工業動員法ヲ施行ニ相成リマスルモ、工場法ニ依テノ勞動者ノ保護ハ致サネバナラスノデアリマス、是モ非常ナル場合ニ於キマシテ、或ハ工場法ノ施行ヲ全部若クハ一部停止スルヤウナ必要ヲ見ルカモ知レマセヌ、豫メ左様ナコトヲ此法律ニ規定致シテ置クコトハ、甚ダ穩當ヲ缺キマスルカラ、萬一ノ場合ハ萬一ノ變ニ處スベキコト、致シマシテ、本法ニハ何等規定ヲ設ケマセヌノデアリマス、本法ト工場法トノ關係ハ右ノ通りデアリマス、先ヅ私カラ御答致シマス、陸軍大臣ノ答辯以外ニ於キマシテ、右ノ三點ト考ヘマス、其他ニ於キマシテ序ナガラ申上ゲテ置キマスルコトハ、或ハ職工ノ關係デアルトカ、若クハ賃銀ノ關係デアルトカ、或ハ他ノ工場ニ及ボス影響デアルトカ、種々様々數十項ニ涉ル御質問モアリマシタナレドモ、是ハ今日ヨリ豫メ一定ノ推測ヲ致スコトハ出來マセヌノデアリマス、戰時ノ狀態如何ニ依リ、又工業法適用ノ如何ニ依リマシテ、總テ其場合ノ實際ニ處シテ、本法ノ適用ノ範圍其他ノ事ヲ解決致スノデアリマシテ、隨テ是ガ影響モ其時ノ狀況ニ依テ異ルノデアリマス、其際ニ至リマシテ臨機ノ處置ヲ執ル外ハアリマセヌノデアリマス、今日ヨリ職工ノ數ハ如何ニスルカ、或ハ賃銀ハ如何ニスルカト云フコトハ、固ヨリ豫測ハ出來マセヌノデ、是ハ平時ニ於テモ將來ノ事ハ豫測出來マヒスノデアリマス、況ヤ工業動員法ノ實施ヲ必要ト致スカ如キ、事變ニ際シテ之ヲ今日カラ豫測致スコトハ、何分ニモ人間ノ力デ能ハヌコト、存シマス、其他ニデアリマスカモ知レマセヌガ、能ク記憶致シテ居リマセヌカラ、後トハ御要求ニ依テ御答ヲ致スコトニ致シマス

○議長(大岡育造君) 鈴木錠藏君

(鈴木錠藏君登壇)

(拍手起ル)

○鈴木錠藏君 本員ハ此法案提出ノ動機ガ、貴衆兩院ノ希望ニ副ハムガ爲ニ出デタルヤ、又ハ政府自身ノ發意ニ出デタルカハ問ヒマセヌガ、國防上時宜ニ適シタル所ノ法案トシテ、大ニ贊成ヲ表スルノ御坐イマス、吾々ハ國防充實ノ爲ニ多大ノ増稅迄モ致シマシタガ、之ニ伴フ軍需品供給ト云フコトニ付テ、憂慮シテ居リマシタ所ガ、此法案ニ依ッテ杞憂ノ一端ガ除カレルト云フコトヲ思ヘバ、本懷ニ堪ヘマセヌ、併ナガラ此法案ヲ通覽致シマスルニ、如何ニモ一夜造リテアツテ、翻譯其儘デアツテ、殊ニ新シイ試ミテ御坐イマスカラシテ、若シ是ガ運用ヲ誤リマシタナラバ、我產業界ニ及ボス所ノ弊害ハ尠カラザルコトヲラウト考ヘマス、私ハ此案ニ付テ幾多ノ質問ハ御坐イマスガ、イロハ四十八箇條ニ竝ベマシテ質問致シマシテモ、是ガ當局者ノ默殺ニ遇ヒマシタナラバ何ニモナラヌ、故ニ私ハ簡潔ニ次ノ七箇條ニ付テ質問致サウト思ヒマス、其條項ガ或ハ前者ノ質問ト重複スル事ガ御坐イマスカモ知リマセヌガ、ソレハ政府當局ノ答ガ甚ダ不満足デアルカラデアルト御容赦ヲ願ヒタイ、第一問ハ本案ニ依リ軍需品トシテ幾多ノ項目ガ掲ゲラレテ居リマスガ、是ハ主ニ機械工業ヲ指シタモノデアリマシテ、化學工業ニ付キマシテハ餘リ

多クヲ期待シテ居ラスヤウ御坐イマス、併ナガラ今回ノ戰爭ニ付テ、化學工業が彼ノ爆
發物、燃燒液、毒瓦斯、其他化學的製造方面ヲ負擔シテ、多大ノ貢獻ヲシテ居ル
云フコトハ明カナコト御坐イマス、政府ハ此方面ニ於キマシテ、餘リ多ク民業ヲ煩
ハス所ノ御心持が無イデアリマスカ、第二ハ吾々ハ常ニ兵器民營ノ必要ヲ叫ビ、是
ニ對シテハ相當ノ保護獎勵ノ途ヲ開クベシト主張スル者御坐イマスガ、吾々ノ主張ス
ル所ノ兵器民營ト本案トノ關係ハドウ御坐イマスガ、本案ノ第十條ニハ「政府ハ軍事
上必要アルトキハ一定ノ資格アルモノニ對シテ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證
シ又ハ獎勵金ヲ下付ス」トアリマス、如何ニモ此條文ハ附タリニテ、有ツテモ無クテモ宜イ
ウニ見エマス、是ハ恰モ貴衆兩院ニ於テ、兵器民營ノ聲ガ八釜數イカラ、責塞ギニ出シ
タト云フ觀ガアリマス、政府ハ果シテ徹底的ニ兵器民營ヲ獎勵スル考御坐イマスガ、
然ラバ其豫算ノ程度ハ如何ナルモノデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒタイ、第三、工業動員法
ニ依リ民間工業ヲ徵發スルニ方リテ、最も必要ナハ之ヲ指導スル技術者デアリマス、
故ニ平素ニ於テ此技術者ノ養成ト云フコトニ付テハ、最も注意ヲ拂ハナケレバナラス、然
ルニ陸軍ニ於キマシテハ、技術ニ巧ナル者ハ指揮官トシテハドウシテモ拙デアルト云フ理
由カラ、折角熟練シ掛タ技術者ヲ半途ニシテ軍隊ニ引戻スト云フコトデアリマス、即チ
技術者ガ腰掛主義デ、技術ノ獨立ト云フコトヲ保障シナイ、要スルニ陸軍當局者ハ技
術者ト云フモノヲ輕視シテ居ルノダラウト思フ、故ニ私ハ此際技術者ノ昇進ノ途ヲ開イ
テ、即チ他ノ兵科歩騎砲工ノ將校ト同一ニ、前途希望ヲ有スルヤウニシタイト考ヘマス、
此點ニ付テ陸軍ノ御見込ハ如何デスカ、第四、政府ハ何時ニテモ工場検査ノ權ヲ有
シテ、之ヲ拒ム者ニハ相當ノ處罰ヲ與ヘ、又當該官吏ニテ事業上ノ秘密ヲ漏洩シ、又
ハ竊用シタル者ニ對シ、相當ノ制裁ヲ與フル規定ガアリマスカ、是ガ民間工業ノ最も虞
ル、所デス、武藤君モ此點ニ付テ質問ガアリマシテ、此點ニ付テ有松政府委員ノ御答ガ
アリマシタガ、是ハ幾度デモ質問シテ宜イ事デアル、中ニ一遍ノ政府委員ノ答辯ニ安
心シテ居ルコトハ出來ナイノデアリマス、此事業上ノ秘密ト云フモノハ工業ノ生命ヲ御
坐イマス、又特許法ニ依リマシテ、軍事上ノ必要ナレバ其特許ヲ制限シ、又ハ收用
シ得ル規定ガアリマシテ、是ハ補償ノ方法モアリマスケレドモ、諸君、中ニ此特許ト云
フモノハ、條文ノ一片ヲ讀シテ位デ其内容ガ中ニ竊用出來ルモノデハナイ、若シ是ガ容
易ク竊用出來ルモノナラバ、亞米利加ガ二千萬弗ヲ出シテ「ハーバー」法ヲ研究シハシナ
イ、政府モ自分ノ特許局ニアル特許アルカラ二十萬圓モ支出シテ、窒素ノ研究モシナ
イデ濟ムノデアルガ、是ガ中ニ特許ト云フモノハ、條文通りニ行カナイト云フ事デアル、
工業家ハ即チ是ガ附ケ目デアッテ、是ガ自家防衛デアリ、又要塞デアルノデアル、然ルニ
當該官吏ガ何時ニテモ工場内ニ這入ッテ、秘密ヲ見ルコトガ出來ルヤウニナッタラバ、
工業ノ金科玉條トスル所ノ秘密ト云フモノハ、易ヤト暴露セラレテ仕舞フ、是ハ甚ダ
迷惑至極デアル、此點ニ付テハ當該官吏ニ相當ノ制裁法モアリマスケレドモ、即チ後ノ
祭デ、幾ラ其當該官吏ヲ處罰シタ所デ、工業家ハツレガ爲ニ補償ヲ得ル譯ニ行カナイ、
是等ニ對シテ嚴肅ナル防禦ナリヲ講ゼラレタイガ、如何ナ御考デアリマスカ、第五ハ戰時
ニ際シ兵役ニ在ル職工ニ對シテハ、徵兵令ニ拘ラズ軍事輸送機關又ハ工場ニ從事セ
シムルコトヲ得トアリマスケレドモ、兵役ニ在ラザル職工ニ對スル取締法ト云フモノガアリ
マスカ、今日ノ工場法ハ工場主ニ對スル義務ノミガ規定サレテアリマシテ、職工ニ對スル
制裁ト云フモノハ一モ設ケテナイ、職工ノ去就ト云フモノハ自由自在デアル、ツレガ爲ニ
工場主ガ折角養成シタ職工モ、任意ニ解職スルコトガ出來ル、又他ノ誘拐ニ依テ奪ヒ

去ラレコトヲ防グコトモ出來ナイノデアリマス、故ニ有事ノ日ニ於テ工場及機械ノ動員
ハ出來マシテモ、肝腎ノ職工ノ動員ト云フコトヲ完備スル譯ニ行カス、即チ是ハ片輪ノ
動員デアル、諸君、一昨年以來頻ヤトシテ起リマスル所ノ各工場ノ「ストライキ」ト云
フモノハ、其原因ハ幾多アリマセウガ、此工場法ガ工場主ノ義務ノミヲ規定シテ、職工ノ取
締ニ付テハ何等制裁ガアリマセウカラシテ起ル事モ尠ナク思ヒマス、酷ニ言ヘバ工場法ニ
依テハ「ストライキ」ヲ獎勵シテ居ルト云フテモ宜イダラウト思フ、故ニ此際工場法ヲ改メテ
職工ノ雇入雇止ニ對シテ職工手帳ト云フモノヲ渡シ、是ハ即チ海員ニ對シテ海員手帳ヲ
渡スコトヲ海員法ガ極メテ居リマスカ、同ジヤウナ方法ニ依テ取締ヲ附ケタラ如何ト思ヒマ
ス、第六ハ尺度問題、即チ「ゲージ」問題デアリマス、我が邦位尺度ノ亂雜ナル國ハナイ
デアル、或ハ碼ト云ヒ、或ハ呎ト云ヒ、或ハ米突ト云ヒ、又ハ舊來ノ尺度ヲ用ヒル實ニ
千差萬別ヲ統一スル所ガナイ、諸君、此兵器ノ製造ト云フコトニ付テハ、最も均一ト云
フコトガ必要デアル、陸軍ニ於テハ此兵器製造ニ於テ、尺度ノ未ダ定マツテ居ラヌト云フ
コトニ付テハ、最も不便ヲ感シテ居ラレヤウニ考ヘル、農商務省ニ於テハ此點ニ付テ多
年調査サレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスカ、未ダ此解決法ガナイヤウニ思ハレマス、
今日之ヲ好機會ト致シテ、陸海軍農商務鐵道院ノ當局者ト協議シテ、至急尺度問題
ヲ解決サレテハ如何デアリマスカ、諸君、獨逸ノ公國ニ在ル所ノ「ベンチ」即チ腰掛ハ、一
朝有事ノ日ニハ貨車ノ中ニ入レ、直グニツレガ客車トナルト云フコトヲ聞イテ居リマ
スガ、最近ニ亞米利加カラ歸ッタ人ノ話ニハ、自動車ノ幅ト鐵道ノ幅ト同一ニシテ「タイ
ヤ」ヲ取リマス、直グニ鐵道ノ上ヲ自動車ガ走ルヤウニナツテ居ルト云フコトヲ聞キマシ
タガ、詰リ此「ゲージ」ト云フモノハ、成ルベク均一ニシナケレバ軍事上ノ目的ヲ達スルコトハ
出來ナイト考ヘルノデアリマス、第七ハ官民ノ合同調査會デアリマス、今日迄政府ノ仕
事ト云フモノハ、免角政府限リテ成ベク民間ノ人ヲ入レナイト云フヤウナ方法デアリマ
スケレドモ、此法令ノ關係スル所ハ非常ニ宏大デアリマシテ、工業經濟ニ及ボス所ノ關係モ
非常ニ廣クアリマスカ、又是ガ初メテ試ミデアリマシテ、是ガ運用ヲ誤リマスケレバ、弊害モ
前申ス通デアリマスカ、是非政府ハ此際ニ官民合同ノ調査會ヲ開イテ、是ガ運用ヲシ
テ完備アラシメンコトヲ希望シマス、是等ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタイト考ヘマス

○議長（大岡有造君） 大島陸軍大臣

○國務大臣（大島健一君） 鈴木君ノ御質問中、若干ニ御答ヲ致シマス、鈴木君ノ
第一ノ御質問ニハ、此法案ノ考ヘテ居ル所ハ、主トシテ機械工業ニ在ッテ、化學工業ヲ
見落シテ居ルヤウダト云フ御質問ノヤウニ思ヒマス、決シテ本案ノ精神ハ鈴木君ノ御覽
ニナツテ居ルヤウダナイノデアリマス、殊ニ今日ノ火藥爆發若クハ其原料等化學工業ニ負
フ所ハ甚大デアリマス、故ニ彼ノ條文ヲ其心シテ御覽下サレバ、是レノ含マレテ居ルコト
ガ分ラウト思ヒマス、ツレカラ第二ニ世間ニ兵器民營ト云フコトヲ頻リニ唱道サレル、本
法ト民營トノ關係ハドウカラ、又本法中利益ノ保證並ニ獎勵金ノ事等ガアッテ、多分民
營獎勵ノ爲メデアラウ其豫算ハドウナツテ居ルカ、斯ウ云フ事ノヤウデアリマス、是モ屬
各種ノ機會ガ申述ベタ如ク、兵器ノ民間ニ於テ製造シ得ルモノハ、成ベク民間ノ事業
ニ移シタイト云フコトハ考ヘテ居ル、之ヲ方針トシテ居リマス、其製造能力ガ出來、適
當ノ機會ニ於テハ實施致シタイト考ヘテ居リマス、ツレカラ本法トノ關係ハ、本法ハ平
時ニ於ケル民間工業ノ獎勵ノ爲ニ出來タノデアリマセウガ、本法ノ戰時ニ臨ム精神ヲ
遂行スル上ニハ平時ニ於テ兵器製造ノ業務モ民間ニ出來得ル丈ハ民間ニヤラシメ置ク
事ガ利益デアリマスカ、其關係ニ於テ、即チ本法ト關係致シテ、戰時ノ目的ヲ達スル

爲ニ、先程申シマシタ通り、帝國ニ無イ所ノ原料ノ始メテノ生産、或ハ無イ所ノ機械、或ハ一ツノ機械ヲ足シテ置ケバ、此工場ニ於テハ斯ル大キナル仕事ガ出來ルト云フヤツナ場合ニハ、利益ノ保護或ハ獎勵金等ヲ與ヘテ、民間ニ於ケル工業、即チ兵器許リデナイ、軍需品ニモ關係アル所ノ工業ノ獎勵ト云フコトガ、本法ノ精神デアリマス、ソレハ先程申上ケタ如ク、其費用ハ事ヲ定メテ研究シテ、始メテ豫算ヲ請求シテ實行スルデアリマス、第三ニハ此工業ニハ技術者ガ根本デアル、然ルニ陸軍ニハ此技術者ガ技術方面ニ働クノト、戰艦ノ方面ニ働クノト混合シテアル爲ニ、技術ニ精熟シタ者ガ途中カラ又隊ニ付クト云フヤウナコトガアル、其制度ハ宜シクナイト思フカラ、適當ナ考慮ヲシテ宜カラウト云フ御話ノヤウデアリマス、吾々モ其考ヲ以テ相當ノ研究モ致シテ居リマス、又平時人ヲ働カス上ニモ其考ヲ懷イテ居リマス、但シ動員シタ場合ニハ、今日使テ居ル人ハ足リナイデアリマス、恰モ動員時ニ必要ナ人ヲ作ッテ置ク爲ニ、既ニ或程度マデ達シタ人ヲ隊ニ遣ッテ、或ハ他ノ所ノ仕事ヲサシテ置イテ、戰時工廠其他ノ動員ヲシタ時ニハ戻スト云フコトハ、是ハヤラナケレバナラヌデアリマス、今ノ御趣意ノ點ハ能ク考ヘテ居ルコトデアリマス、ソレカラ最後ノ官民共同ノ調査會、是等モ平時此工業動員ノ準備ヲスルニ必要ナモノト思ヒマス、況ヤ全國ノ工業動員ヲ行ツタ場合ニハ、到底中央ノ一機關デ以テ是ガ行ケル譯デナイデアリマスカラ、何レ地方ニ官民合同ノ中間ノ指導機關ガ要ル事デアラウト思ヒマス、平戰兩時共ニ夫等ノ考慮ハ致ス積リデアリマス、是丈御答致シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 有松政府委員

○政府委員(有松英義君) 唯今陸軍大臣ヨリ述べラレタル殘リヲ御答ヲ致シマス、前ニ既ニ御答ヲ致シマシタ事項ニ關シマスガ、第七條以下ノ實行ニ付キマシテ、事業上ノ秘密ヲ漏ラス、若クハ盜竊者ノ制裁ガ本法末條ニ規定シテアルナレドモ、制裁ハ事後ニ互ルコトデアル、事前ニ於テ嚴肅ナル防禦方法ヲ講ジナケレバナラヌガ、ソレハ如何デアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、此事タルヤ法文ニ現ハスコトハ稍、困難デアリマス爲ニ、何等規定ヲ設ケテ居リマセヌデアリマス、併ナガラ實行上ニ付テハ、官紀ノ上ニ於テ十分取締ヲ致スコトハ勿論デアリマス、殊ニ事業上ノ秘密ニ互ルガ如キ重大ナル事ニ付キマシテハ、最モ嚴肅ナル監督ヲ致サネバナラヌコト、存ジマス、而シテ此七條乃至第九條ニ至ル事柄ニ付キマシテハ、或ハ事業上ノ秘密ニ互ルコトガ無イトモ申セマセナレドモ、元來七條乃至九條ノ目的タルヤ、營業者ノ秘密ヲ知ルニ存シマセヌデア、要スルニ戰時ノ準備ト致シマシテ、如何ナル工場ニ於テハ戰時ノ需用ニ應ジ得ル力ヲドノ位持ッテ居ルカ、或ハ或工場ノ軍需品ノ製作ニ代ヘテ使用シ得ル場合ニ、ドノ位ノ力ガアルカ、若クハ輸送機關ニ於テハドノ位ノ能力ガアルカ、又軍需ニ充ツベキ品物ヲ平素幾許貯藏シテ居ル状態デアラウト云フヤウナコトヲ、調べテ置キマスノガ趣旨デアリマス、即チ戰時ノ急ニ應ズル準備ト致シマシテ、右申上ケタルヤウナ調査ヲ致ス爲ニ、當該官吏ニ相當ノ職權ヲ有セシムルト云フデアリマス、唯今申述ベマシタル中ニモ、營業者ノカフコトハ、實際必要ガ甚ダ少ナイデアリマス、唯今申述ベマシタル中ニモ、營業者ノ秘密ト致シテ居ル事柄モアリマセウ、是ハ已ムヲ得マセナレドモ、概シテ營業者ノ秘密トシテ居ル事項ヲ調査スルノガ目的ハ無イデアリマス、適ニ秘密ニ互ル事ガ有ルカモ知レマセヌ、故ニ之ニ對スル制裁ヲ末條ニ於テ、而モ苦シキ罰則ヲ設ケテ居リマスル次第デアリマス、尙ホ此上ニモ官吏服務規律ニモ規定ガ有リマスルデアリマスカラ、嚴

重ノ監督ヲ致ス積リテ御坐イマス、ソレカラ職工ノ同盟罷工、其他ノ事ニ對スル取締如何ト云フ御尋デアリマスガ、是モ本法施行ノ後ニハ民間ノ工場ヲ收用使用スルト申スコトハ、寧ロ例外ニナリマスルノデ、普通ハ政府ガ管理ヲ致セバ目的ヲ達スルノデアリマス、管理致シマスルト申スノハ、民間工業ノ工業ノ現狀ヲ其儘政府ニ於テ管理致スデアリマスノデ、職工諸共ニ政府ガ管理ヲ致ス結果ニナルデアリマス、併ナガラ唯今鈴木君ノ御心配ニナリマスガ如キ場合モ無イトハ申シマセヌ、其時ニハ忽チニシテ事業ノ停滯ヲ來シ、差支ガ起ルノデ御坐イマス、之ニ對シマシテハ政府ハ兵役ニ在ル者ヲ徵兵令ニ拘ラズ、別ニ勅令ヲ以テ規定ヲ致ス手續ニ依リマシテ徵集シテ、其事業ニ當ラシムルコトヲ得、斯ウ云フ事ニ相成ッテ居リマスル故ニ、民間工業ニ現ニ雇入レテ居リマスル職工、竝ニ兵役ニ在ル者ヲ徵集致シマシテ、從事セシムル人員ト相待ッテ事ニ妨ケナク實行ヲ期スル積リテ御坐イマス、尙ホ其他ノ事竝ニ唯今申上ケマシタ事業上ノ秘密ニ互ル事ニ付キマシテモ、政府ガ報告ヲ取ル、調査ヲスルト云フ程度範圍等ニ付キマシテハ、唯今ノ見込デハ鈴木君ノ御述べニナリマスル如キ、工業調査會ト云フヤウナモノヲ、何レ設置致サネバナラヌデアラウト存ジマス、其工業調査會ト申スカ、名稱ハ未定デアリマスルガ、左様ナル機關ヲ設ケマスルナラバ、ソレニハ民間ノ學識經驗有ル人ヲモ加ヘルヲ最モ必要ト考ヘテ居ルデアリマス、尙ホ機關以外ニ於キマシテ、民間ノ經驗者等ニ意見有ル場合ニ、其意見ヲモ徵シマシテ、其機關ニ於テ參考トセシメテ、以テ圓滑ニ法ノ實行ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマスノデ御坐イマスカラ、七條乃至九條ノ實行ノ如キモ、尙ホ詳細ニ之ガ細則ヲ設ケマシテ、成ベク民間工業者ニ迷惑ノ無イヤウニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、其他賠償ノ事デアリマセウガ、總テ民間工業者ニ成ルベク迷惑ノ掛ラナイヤウニ致スニハ、唯今ノヤウニ何レ機關ヲ設ケマシテ、能ク審査ヲ遂ゲナケレバナラヌ事デアラウト、今日カラ豫想ヲ致シテ居ル次第御坐イマス

○議長(大岡育造君) 高木正年君

○高木正年君 極メテ簡單御坐イマスカラ當席カラ……

○議長(大岡育造君) 宜シウ御坐イマス

○高木正年君 色々御質問ガ有リマシテ、幾分カ私共此法案ニ就テ了解スル事ヲ得マシタ事ハ、洵ニ欣ブ所デアリマスガ、唯、一ツ政府ニ確メテ置キタイ事ガ有ルデアリマス、此工業動員法ハ初メテ實施サレル法案デアッテ、實施ノ上ニ付テ起ル所ノ種々ナル疑問ハデス、如何ニ之ヲ應答シテモ容易ニ了解スルモノデナイ、要ハ運用ノ上ニ有リマスケレドモ、此法案ヲ實施スル上ニ付テ勢ヒツコニ來ルベキ、或事柄ニ付テノ救済ガ法案ノ上ニ明記シテナイ、ソレハ何デアルカト言ハ、此法案ガ官權萬能デアッテ、此法案ノ儘ニ一實施サレル上ニ於テ、此法案ノ儘ニ議會ヲ通過シタナラバ、如何ナル狀態ノ結果ニ陷ルカ、測リ知ラレナイデアリマス、私ガ殊ニ法案ノ上ニ缺點ト認メルノ何カト言フト、當該官吏ガ行フタ所ノ處分ニ對スル救済ノ方法ガ、規定シテナイ事デアリマス、尤モ損害賠償等ニ付テハ、命令ニ於テ之ヲ定ムルト云フヤウナ事ニナッテハアリマスケレドモ、損害賠償等ニ付テハ、命令ニ於テ之ヲ定ムルト云フヤウナ事ニナッテハアリマスケレドモ、全ク異ナル場合ニ於テ救済ヲ要スル必要ガアル、唯今申シタ通り當該官吏ノ處分ヲ不當トシ、或ハ法文ノ解釋上政府ノ處置ヲ不當トシ、救済ヲ求メル場合、例ガ書イテナイ、他ノ法文ニハ何レモ斯ノ如キ場合ノ救済ニ資スル爲メニ、訴願若クハ行政訴訟ヲ爲スノ規定ヲ書イタル、然ルニ此工業動員法ニハ一モ斯カル規定ヲ掲ゲテナイ、是ハ決シテ命令等ニ委スベキ事柄デナク、勢ヒ法律ノ上ニ具體ニシテ置カネバナラヌ、即チ謂

官報號外

大正七年三月八日

衆議院議事速記第二十二號

軍需工業動員法案

第一讀會ノ續

三九

ハ、法律ノ體ヲ成サナイ法案アルト言ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ノ所信及ビ果シテ此法案ヲ以テ斯カル場合ニモ猶ホ救済シ得ラル、モノト、政府ハ考ヘテ居ラル、ノ御坐イマス、此點ニ付キマシテ明答ヲ請ヒタイ(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 有松政府委員

(政府委員有松英義君登壇)

○政府委員(有松英義君) 違法處分ニ對スル救済ニ付キマシテハ、本案ニハ行政訴訟ノ規定ヲ設ケテ居リマセヌ、是ハ或ハ行政訴訟ヲ許ス方ガ適當アルカモ知レヌ、其邊ハ篤ト御審査ヲ願ヒマスナレドモ、唯今ノ考デハ戰時非常ナ場合ニ處シマシテハ、或ハ行政訴訟等ヲ許スコトノ出來ナイ場合モ有ルカモ知レヌト云フヤウナ考ヲ有シテ居リマスガ故ニ、此案ニ其事ヲ規定致サズニ提出致シテ居ルノ御坐イマス、又施行命令ヲ以テ、勅令ヲ以テ規定致スコトハ出來ルノデアリマスカラ、其邊ハ篤ト又考慮ヲ遂ゲタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○高木正年君 唯今ノ答辯ニ依リマスルト、必ズシモ救済ノ方法ヲ講ズル必要ガ無イトハ言ハレテ居ラヌデアリマス、其邊ニ付テ今一ツ御答ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 唯今御聽キノ通り、尙ホ考慮スル必要ハアルト答ヘタヤウニ此處デハ聽キマシタ、日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○岩崎勳君 本案ノ委員ノ數ハ特ニ三十六名トシ、議長ニ於テ指名セラレムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議無ケレバ動議ノ如ク決シマス——日程第二、朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第三 朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案 第一讀會

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

第一條 朝鮮人ノ舊韓國政府、統監府又ハ其ノ所屬官署ニ在官又ハ在職シタル月數及明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル在職月數ハ本法ノ定ムル所ニ依リ官吏恩給法、官吏遺族扶助法、明治四十五年法律第十一號ノ在官年數又ハ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ勤續年數ニ通算ス

第二條 左ニ掲グル月數ハ之ヲ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ノ在官年數ニ通算ス但シ年齡二十歳ニ滿タル者ノ在官在職月數ハ此ノ限ニ在ラス

一 舊韓國政府、統監府又ハ其ノ所屬官署ノ文官判任以上ノ者ノ明治三十九年二月一日以後ノ在官月數

二 明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル者ノ其ノ待遇ヲ受ケタル在職月數

第三條 左ニ掲グル月數ハ之ヲ明治四十五年法律第十一號ノ學校職員ノ在官年數ニ通算ス但シ退職給與金ニ關シテハ明治四十四年十一月一日前ヨリ勤續シタル者ノ勤續月數ニ限リ之ヲ通算ス

一 舊韓國政府ノ文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ從事スル者ノ明治三十九年二月一日以後ノ在官月數

二 明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル者ニシテ教育又ハ教育事務ニ從事シタルモノノ其ノ待遇ヲ受ケタル在職月數

第四條 左ニ掲グル月數ハ之ヲ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ巡查ノ勤續年數ニ通算ス但シ一時金ニ關シテハ明治四十三年八月二十九日前ヨリ勤續シタル者ノ勤續月數ニ限リ之ヲ通算ス

一 舊韓國政府ノ權任又ハ巡檢ノ明治三十九年二月一日以後ノ在職月數

二 舊韓國政府又ハ統監府ノ巡查ノ在職月數

第五條 舊韓國政府又ハ統監府ノ看守ノ在職月數ハ之ヲ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ看守ノ勤續年數ニ通算ス但シ一時金ニ關シテハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

附則

第六條 前四條ノ規定ニ依リ在官在職月數ヲ通算スヘキ官職ニ在リタル者其ノ通算スヘキ在官又ハ在職中懲戒處分ニ依リ免官免職セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官失職シタルトキハ其ノ免官免職又ハ失官失職前ノ在官在職月數ニ付本法ヲ適用セヌ

○議長(大岡育造君) 有松政府委員

(政府委員有松英義君登壇)

○政府委員有松英義君 本案ハ極メテ簡單ナモノデアリマシテ、朝鮮人ヲ總督府ノ官吏ニ致シテアリマスル者ガ、若干アリマスノ御坐イマス、唯今ノ所デハ朝鮮併合ノ日ヨリ其後ヲ以テ日本ノ官吏ト見テ居リマスルガ故ニ、官吏恩給法官吏遺族扶助料、學校職員退隱料、或ハ巡查看守退隱料及遺族扶助料等ノ適用ガ、總テ併合以後ノ在職年數ヲ算ヘルコトニ相成テ居ルノ御坐イマス、然ル處其以前ニ於キマシテモ、統監府設置ノ以後ハ、帝國官吏ノ嚴肅ナル監督ヲ受ケテ居リマシテ、直接ニ統監府所屬ノ官吏タルト、又朝鮮官吏ノ官吏タルト問ハズ、共ニ日本官吏同様ノモノト看做シ得ルノデアリマス、其間ノ年數ヲ恩給ノ年數ニ通算致サナイコトハ、甚ダ酷デアリマスルノミナラズ、朝鮮統治上ニ於テモ甚ダ宜シキヲ得ナイト考ヘマシテ、此法律ニ依リマシテ、朝鮮人ノ現在官吏ヲ致シテ居リマスル者ハ、統監府設置ノ日以後、恩給法ノ年數ニ總テ通算ヲ致シタイト申スノガ本案提出ノ理由デアリマス、宜シク御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○岩崎勲君 本案委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレムコトヲ望ミマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイモノト認メマス、即チ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第五、第七ハ之ヲ一括シテ議題ニ致シタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ一括シテ議題トナシ、一ハ政府案、一ハ議員提出案、共ニ各別ニ説明ヲ求メマス——水野政府委員

第五 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

衆議院議員選舉法中改正法律案

別表

東京府	東京市	十五人
八王子市	伊豆七島トモ部	一人
京都府	京都市	八人
大阪府	大阪市	四一人
堺郡	堺市	五人
神奈川縣	横濱市	七十一人
横須賀郡	横須賀市	三人
兵庫縣	神戸市	五一人
姫路市	姫路市	三一人
尼崎市	尼崎市	十一人
長崎縣	長崎市	十二人
佐世保市	佐世保市	一一人
對馬郡	對馬市	六一人
新潟縣	新潟市	一一人
長岡市	長岡市	一一人

[illegible]

長野縣	長野市	十一	八
松本郡	市	一	八
宮城縣	仙台市	六	八
福島縣	郡	一	八
若松市	市	一	八
福島縣	郡	一	八
巖手縣	盛岡市	九	八
盛岡郡	市	一	八
青森縣	青森市	六	八
弘前市	市	一	八
山形縣	山形市	五	八
山形郡	市	一	八
米澤市	市	一	八
秋田縣	秋田市	六	八
秋田郡	市	一	八
福井縣	福井市	六	八
福井郡	市	一	八
石川縣	金澤市	四	八
石川郡	市	一	八
富山縣	富山市	五	八
富山郡	市	一	八
高岡市	市	一	八
鳥取縣	鳥取市	五	八
鳥取郡	市	一	八
島根縣	島根市	三	八
島根郡	市	一	八

松江市	市	一	八
松江縣	松江市	一	八
岡山縣	岡山市	八	八
岡山郡	市	一	八
廣島縣	廣島市	一	八
廣島郡	市	一	八
尾道市	市	一	八
吳市	市	一	八
福山市	市	一	八
山口縣	山口市	十	八
山口郡	市	一	八
下關市	市	七	八
和歌山縣	和歌山市	五	八
和歌山郡	市	一	八
德島縣	德島市	五	八
德島郡	市	一	八
香川縣	高松市	五	八
香川郡	市	一	八
丸龜市	市	一	八
愛媛縣	松山市	八	八
愛媛郡	市	一	八
高知縣	高知市	五	八
高知郡	市	一	八
福岡縣	福岡市	一	八
福岡郡	市	一	八
久留米市	市	一	八
門司市	市	一	八
小倉市	市	一	八
若松市	市	一	八
八幡市	市	一	八
大牟田市	市	一	八

大分縣 十一人

大分市 六人

佐賀縣 五人

熊本縣 九人

宮崎縣 四九人

鹿兒島縣 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

北海島 一八人

第七 衆議院議員選舉法中改正法律案(元田肇君外 六名提出) 第一讀會

衆議院議員選舉法中改正法律案

第五條 削除

第六條 郡市長ハ選舉長トナリ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス

一選舉區ニシテ數郡市ニ涉ルトキハ地方長官ハ關係市郡長ノ一人ヲシテ

選舉長ヲラシムヘシ

第八條第三號中「十圓」ヲ「五圓」ニ改ム

第十一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及舊刑法ノ重罪ノ刑

ニ處セラレタル者但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

四 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ

又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第四十二條 投票管理者ハ一名又ハ數名ノ投票立會人ト共ニ投票ノ翌日迄

ニ投票函投票録及選舉人名簿ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第四十四條中「選舉長」ヲ「地方長官」ニ改ム

第六章 選舉會

第五十一條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ

選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第五十二條 選舉長ハ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第五十三條 選舉長ハ投票立會人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ

選任シ選舉會ニ立會ハシムヘシ但シ一選舉區タル市ニ於テハ投票立會人

ヲ以テ選舉立會人トス

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第五十四條 選舉長ハ一選舉區タル市ニ於テハ投票ノ翌日其ノ他ノ郡市ニ

於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投

票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第五十五條中「開票管理」者ヲ「選舉長」ニ「開票立會人」ヲ「選舉立會人」ニ改メ

第二項ヲ左ノ如ク改ム

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ各投票所ノ投票ヲ各別ニ點檢スヘシ

第五十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條及第五十九條中「開票管理」者ヲ「選舉長」ニ「開票立會人」ヲ「選舉

立會人」ニ改ム

第六十條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人

ト共ニ署名シ投票錄ト併セテ議員ノ任期間中ヲ保存スヘシ

第六十一條 削除

第六十二條中「開票」ヲ「選舉會」ニ改ム

第六十三條中「開票所」ヲ「選舉會場」ニ改ム

本表ハ十年間之ヲ更正セス其ノ期間經過後更正スル場合ニ於テモ議員ノ
數ハ四百五十人ヲ超ユルコトヲ得ス
附則
本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

第七章 削除

第六十四條 削除

第六十五條 削除

第六十六條 削除

第六十七條 削除

第六十八條 削除

第六十九條 削除

第七十條第二項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

當選人ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同キトキハ年齡ニ依リ年齡同キトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ定ム

判決ニ依リ當選無効トナリタルトキハ選舉長ハ前二項ノ例ニ依リ更ニ當選人ヲ定ムヘシ

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ氏名、得票數及選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數其ノ他選舉ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ直ニ當選人ニ其ノ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選人ナキトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十二條第一項中「選舉長」ヲ「地方長官」ニ改ム

第七十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

當選人其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シ又ハ當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ但シ第七十條第二項ニ依リ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シ又ハ死亡シタルトキハ選舉長ハ次ノ順位者ヲ當選人ト定ムヘシ

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタル者アルトキハ地方長官ハ第一項ノ例ニ依リ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第七十八條第一項ヲ削リ第二項ヲ左ノ如ク改ム

議員ニ關員ヲ生シタルトキハ地方長官ハ內務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行ハシムヘシ

第八十六條中「十圓以上」ヲ削リ

第八十七條 左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ金錢、物品、手形其ノ他財産上ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハズ人ヲ響應接待シ又ハ響應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉會場若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辦シ及其ノ代辦ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ選舉人ニ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者

投票ヲ得セシメ又ハ投票ヲ妨クルノ目的ヲ以テ前項各號ニ該當スル所爲ヲ爲シタル者亦同シ前二項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價ヲ追徴ス

第八十八條中「二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辦シ及其ノ代辦ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ選舉人ニ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者

投票ヲ得セシメ又ハ投票ヲ妨クルノ目的ヲ以テ前項各號ニ該當スル所爲ヲ爲シタル者亦同シ前二項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價ヲ追徴ス

第八十八條中「二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第八十九條中「二年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第九十九條中「五圓以上」ヲ削ル

第百條中「第九十二條第二項」ヲ削ル

第百六條第一項中「掌ル」ヲ「掌リ町村役場トアルハ戸長役場又ハ之ニ準スヘ

キモノニ該當ス」ニ改ム

同條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

郡長ヲ置カサル地ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ北海道廳支廳

長、島司又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ掌リ郡役所トアルハ北海道廳支廳、島廳

又ハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

東京市、京都市、大阪市ノ區及北海道、沖繩縣ノ區ニ於テハ本法中市トア

ルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

第百七條中「開票管理者」ヲ削ル

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道廳根室支廳管内千島ニ屬スル

諸郡及東京府小笠原島ニ付テハ勅令ヲ以テ施行ノ期日ヲ定ム

別表

東京府

議員總數

二十四人

第一區

麴谷町區

一

人

第二區

赤坂區

一

人

第三區

芝橋區

一

人

第四區

京橋區

一

人

第五區

日本橋區

一

人

第六區

本所區

三

人

第七區

淺草區

二

人

第八區

神田區

二

人

第九區

下谷區

二

人

第十區

本郷區

一

人

第十一區

小石川區

一

人

第十二區

牛込區

一

人

第十三區

八王子市

一

人

第十四區

豐多摩郡

一

人

第十五區

北豐島郡

一

人

第十六區

南足立郡

一

人

第十七區

荏原郡

一

人

京都市

議員總數

九人

第十八區

南多摩郡

一

人

第十九區

西多摩郡

一

人

第二十區

北多摩郡

一

人

第一區

上京區

二

人

第二區

下京區

二

人

第三區

愛宕郡

一

人

第四區

葛野郡

一

人

第五區

伊訓郡

一

人

第六區

紀伊郡

一

人

第七區

宇治郡

一

人

第八區

久喜郡

一

人

第九區

相模郡

一

人

第十區

船井郡

一

人

第十一區

北桑田郡

一

人

第十二區

天田郡

一

人

第十三區

加賀郡

一

人

第十四區

與謝郡

一

人

第十五區

中野郡

一

人

第十六區

熊野郡

一

人

第十七區

竹野郡

一

人

第十八區

大坂府

一

人

議員總數

十八人

第一區

西區

三

人

第二區

東區

二

人

第三區

北區

二

人

第四區

南區

一

人

第五區

堺市

一

人

第六區

西成區

二

人

第七區

北河內郡

一

人

第八區

三島郡

一

人

第九區

豐能郡

一

人

第十區

中河內郡

一

人

第十一區

南河內郡

一

人

第十二區

泉北郡

一

人

第十三區

泉南郡

一

人

第十四區

大坂府

一

人

第十五區

議員總數

十八人

第十六區

西區

三

人

第十七區

東區

二

人

第十八區

北區

二

人

第十九區

南區

一

人

第二十區

堺市

一

人

第二十一區

西成區

二

人

第二十二區

北河內郡

一

人

第二十三區

三島郡

一

人

第二十四區

豐能郡

一

人

第二十五區

中河內郡

一

人

第二十六區

南河內郡

一

人

第二十七區

泉北郡

一

人

第二十八區

泉南郡

一

人

第二十九區

大坂府

一

人

第三十區

議員總數

十八人

第三十一區

西區

三

人

第三十二區

東區

二

人

第三十三區

北區

二

人

第三十四區

南區

一

人

第三十五區

堺市

一

人

第三十六區

西成區

二

人

第三十七區

北河內郡

一

人

第三十八區

三島郡

一

人

第三十九區

豐能郡

一

人

第四十區

中河內郡

一

人

第四十一區

南河內郡

一

人

第四十二區

泉北郡

一

人

第四十三區

泉南郡

一

人

第四十四區

大坂府

一

人

第四十五區

議員總數

十八人

第四十六區

西區

三

人

第四十七區

東區

二

[illegible]

第十三區	津名郡	一	人
長崎縣	九人		
議員總數	九人		
第一區	長崎市	一	人
第二區	佐世保市	一	人
第三區	西彼杵郡	一	人
第四區	東彼杵郡	一	人
第五區	北高來郡	二	人
第六區	南高來郡	一	人
第七區	北松浦郡	一	人
第八區	南松浦郡	一	人
對馬	對馬郡	一	人
新瀨縣	十六人		
議員總數	十六人		
第一區	新瀨市	一	人
第二區	長岡市	一	人
第三區	高田市	一	人
第四區	西蒲原郡	一	人
第五區	北蒲原郡	二	人
第六區	東蒲原郡	一	人
第七區	中蒲原郡	二	人
第八區	南蒲原郡	二	人
第九區	古志郡	一	人
第十區	三島郡	二	人
第十一區	北魚沼郡	一	人
第十二區	南魚沼郡	一	人
第十三區	東魚沼郡	一	人
第十四區	中魚沼郡	二	人
第十五區	西頸城郡	一	人
第十六區	佐頸城郡	一	人
議員總數	十人		
第一區	北足立郡	二	人
第二區	入間郡	二	人
第三區	比企郡	二	人
第四區	大里郡	二	人

沃城縣議員總數				千葉縣議員總數										群馬縣議員總數																			
第 四 區	第 三 區	第 二 區	第 一 區	第 九 區	第 八 區	第 七 區	第 六 區	第 五 區	第 四 區	第 三 區	第 二 區	第 一 區	第 六 區	第 五 區	第 四 區	第 三 區	第 二 區	第 一 區	第 六 區	第 五 區	第 四 區	第 三 區	第 二 區	第 一 區	第 六 區	第 五 區	第 四 區						
水戸市十人				千葉市十人										前橋市九人																			
多賀郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
久慈郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
那珂郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
東茨城郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
安房郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
君津郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
夷隅郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
長生郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
山武郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
海城郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
香取郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
東葛飾郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
印旛郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
多野郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
北甘樂郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
勢多郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
利根郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
佐波郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
碓氷郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
群馬郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
邑樂郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
山田郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
新田郡				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
高崎市				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
前橋市				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
九人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
八人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			
一人				千葉市										前橋市				秩父郡				北葛飾郡				北埼玉郡				南埼玉郡			

第五區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	栃木縣議員總數	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	奈良縣議員總數	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第三重縣議員總數	第一區	第二區	第三區	第四區										
鹿島郡	行方郡	新治郡	眞壁郡	西茨城郡	結城郡	筑波郡	稻敷郡	北相馬郡	猿島郡	宇都宮市	河內郡	芳賀郡	下都賀郡	上都賀郡	安蘇郡	足利郡	鹽谷郡	那須郡	奈良市	添上郡	山崎郡	生駒郡	磯城郡	北葛城郡	南葛城郡	高市郡	宇智郡	吉野郡	津市	四日市市	宇治山田市	安濃郡	一志郡	鈴鹿郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

第五區	河藝重郡	一	人
第六區	員辨名郡	一	人
第七區	飯氣南郡	一	人
第八區	多會氣郡	二	人
第九區	志摩會氣郡	一	人
愛知縣議員總數	十六人		
第一區	名古屋市	三	人
第二區	名古屋市	一	人
第三區	名古屋市	一	人
第四區	名古屋市	一	人
第五區	名古屋市	一	人
第六區	名古屋市	一	人
第七區	名古屋市	一	人
第八區	名古屋市	一	人
第九區	名古屋市	一	人
第十區	名古屋市	一	人
第十一區	名古屋市	二	人
第十二區	名古屋市	一	人
第十三區	名古屋市	一	人
靜岡縣議員總數	十二人		
第一區	靜岡市	一	人
第二區	靜岡市	一	人
第三區	靜岡市	一	人
第四區	靜岡市	一	人

第五區	駿志東郡	一	人
第六區	志原郡	一	人
第七區	小笠原郡	一	人
第八區	磐田郡	一	人
第九區	周智郡	一	人
第十區	濱名郡	二	人
第十一區	引佐郡	一	人
山梨縣議員總數	五人		
第一區	甲府市	一	人
第二區	甲府市	二	人
第三區	甲府市	一	人
第四區	甲府市	一	人
滋賀縣議員總數	六人		
第一區	大津市	一	人
第二區	大津市	一	人
第三區	大津市	一	人
第四區	大津市	一	人
第五區	大津市	一	人
第六區	大津市	一	人
岐阜縣議員總數	九人		
第一區	岐阜市	一	人
第二區	岐阜市	一	人

第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區	宮城縣議員總數	第一區	第二區
羽津島	海老津	養老郡	不破郡	安八郡	揖斐郡	本巢郡	武儀郡	加茂郡	土岐郡	惠那郡	大野郡	益城郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
長野縣議員總數 十二人	長野市	松本市	上水內郡	下水內郡	高井郡	下高井郡	更級郡	埴科郡	小縣郡	東筑摩郡	西筑摩郡	南安曇郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	巖手縣議員總數	第一區	第二區	第三區
刈田郡	伊具郡	瓦理郡	黑川郡	加美郡	志田郡	遠田郡	玉造郡	栗原郡	登米郡	本吉郡	桃生郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
福島縣議員總數 十一人	福島市	若松市	信夫郡	伊達郡	安達郡	安積郡	田村郡	石川郡	岩瀨郡	白河郡	白河郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

第四區	下閉伊郡	一	人
第五區	和賀郡	一	人
第六區	江刺郡	一	人
第七區	氣仙郡	一	人
青森縣議員總數	七		
第一區	青森市	一	人
第二區	弘前市	一	人
第三區	南津輕郡	一	人
第四區	上北郡	一	人
第五區	三戸郡	一	人
第六區	中津輕郡	二	人
山形縣議員總數	八		
第一區	山形市	一	人
第二區	米澤市	一	人
第三區	南村山郡	二	人
第四區	西村山郡	一	人
第五區	東置賜郡	二	人
第六區	西置賜郡	一	人
第七區	東田川郡	二	人
第八區	最上郡	一	人
秋田縣議員總數	八		
第一區	秋田市	一	人
第二區	南秋田郡	一	人
第三區	山形郡	一	人
第四區	北秋田郡	一	人

第五區	河邊郡	一	人
第六區	仙北郡	一	人
第七區	平鹿郡	一	人
第八區	雄勝郡	一	人
福井縣議員總數	五		
第一區	福井市	一	人
第二區	足羽郡	一	人
第三區	吉田郡	一	人
第四區	坂井郡	一	人
第五區	丹生郡	一	人
第六區	今立郡	一	人
第七區	敦賀郡	一	人
第八區	遠敷郡	一	人
石川縣議員總數	六		
第一區	金澤市	一	人
第二區	石川郡	一	人
第三區	能美郡	一	人
第四區	河北郡	二	人
第五區	河内郡	一	人
第六區	羽咋郡	二	人
第七區	鹿島郡	一	人
第八區	鳳至郡	一	人
富山縣議員總數	七		
第一區	富山市	一	人
第二區	高岡市	一	人
第三區	上川郡	二	人
第四區	中新川郡	二	人
第五區	婦負郡	二	人
第六區	東礪波郡	二	人
第七區	西礪波郡	二	人
第八區	氷見郡	一	人

島根縣		議員總數		第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	岡山縣		議員總數		第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八
島根縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	岡山縣		議員總數		十	八	八	八	八	八

廣島縣		議員總數		第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區	第十三區	山口縣		議員總數		第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	山口縣		議員總數		八	八	八	八	八	八	八	八
廣島																													

和歌山縣			德島縣			香川縣			愛媛縣		
議員總數			議員總數			議員總數			議員總數		
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區
和歌山市	海草郡	那賀郡	伊都郡	有田郡	日高郡	西牟婁郡	東牟婁郡	德島市	勝浦郡	那賀郡	海部郡
一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
高知縣			福岡縣			福岡縣			福岡縣		
議員總數			議員總數			議員總數			議員總數		
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區
高知市	土佐郡	吾川郡	長岡郡	香美郡	安藝郡	高岡郡	幡多郡	福留市	久留米市	門司市	小倉市
一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

和歌山縣			德島縣			香川縣			愛媛縣		
議員總數			議員總數			議員總數			議員總數		
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區
和歌山市	海草郡	那賀郡	伊都郡	有田郡	日高郡	西牟婁郡	東牟婁郡	德島市	勝浦郡	那賀郡	海部郡
一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
高知縣			福岡縣			福岡縣			福岡縣		
議員總數			議員總數			議員總數			議員總數		
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區
高知市	土佐郡	吾川郡	長岡郡	香美郡	安藝郡	高岡郡	幡多郡	福留市	久留米市	門司市	小倉市
一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

大分縣		第十八區	企田郡	一	八
議員總數		八			
第一區	大分市	一			
第二區	大分市	一			
第三區	北海郡	一			
第四區	大野郡	一			
第五區	玖珠郡	一			
第六區	西國郡	一			
第七區	速見郡	二			
佐賀縣					
議員總數		六			
第一區	佐賀市	一			
第二區	佐賀市	一			
第三區	神埼郡	一			
第四區	小島郡	二			
第五區	西松浦郡	一			
熊本縣					
議員總數		十			
第一區	熊本市	一			
第二區	熊本市	一			
第三區	玉名郡	一			
第四區	鹿本郡	二			
第五區	宇土郡	二			

宮崎縣		第六區	八代郡	二	八
議員總數		四			
第一區	宮崎郡	二			
第二區	南那珂郡	一			
第三區	西臼杵郡	一			
鹿兒島縣					
議員總數		十			
第一區	鹿兒島市	一			
第二區	鹿兒島市	一			
第三區	川邊郡	一			
第四區	日置郡	一			
第五區	薩摩郡	二			
第六區	熊毛郡	一			
第七區	始末郡	二			
第八區	大島郡	一			
沖繩縣					
議員總數		四			
第一區	那霸市	一			
第二區	宮古郡	一			
第三區	首里郡	一			
第四區	國頭郡	一			
北海道廳					
議員總數		十六			
第一區	札幌市	一			
第二區	小樽區	一			

第三區	函館區	一	人
第四區	旭川區	一	人
第五區	室蘭區	一	人
第六區	札幌支廳管内	一	人
第七區	空知支廳管内	二	人
第八區	上川支廳管内	一	人
第九區	室蘭支廳管内 浦河支廳管内	一	人
第十區	根室支廳管内 河西支廳管内 釧路支廳管内	一	人
第十一區	宗谷支廳管内 留萌支廳管内	一	人
第十二區	網走支廳管内 函館支廳管内	一	人
第十三區	檜山支廳管内 後志支廳管内	一	人
第十四區	本表ハ少クトモ十年間ハ之ヲ更正セス	二	人

〔政府委員法學博士水野鍊太郎君登壇〕

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 本案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、衆議院議員選舉法中ノ別表ハ、明治三十五年ノ改正以來既ニ十有餘年ヲ經過致シテ居ルノデアリマス、而シテ此間ニ市區ノ獨立シタルモノモ數多イノデアリマス、又人口モ多大ノ増加ヲナシテ居ルノデアリマス、是等ノ狀況ニ稽ヘマシテ、政府ハ別表ヲ改正スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、而シテ選舉法ノ本法ニ就キマシテハ、尙調査ヲ要スル點ガアリマシタガ爲メニ、今期議會ニ之ヲ提出スルコトヲ得ナイノデアリマス、唯、別表ニ就キマシテハ先年特設セラレマシタ選舉法調査委員會ニ於キマシテモ、既ニ決定セラレテ居ル點ガアリマシタカラシテ、此別表ニ就キマシテハ幸ニ成案ヲ得タノデアリマス、仍テ今回ハ別表中ノ改正案ノミヲ提出スルコトニ致シタ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ望ミマス

○齋藤隆夫君 議長

○議長(大岡育造君) 齋藤隆夫君、今ノ質問デアリマスカ

○齋藤隆夫君 サウデアリマス

○議長(大岡育造君) 各別ノ説明ヲ求メテ、而シテ通告順ニ從テ質問ハ許可致シマス

○齋藤隆夫君 通告ガアリマスカ

○議長(大岡育造君) アリマス、松田源治君

(松田源治君登壇)

(拍手起ル)

○松田源治君 本員ハ衆議院議員選舉法中改正案ヲ提出致シマシタ、其理由ヲ説

明致スノデアリマス、衆議院議員選舉法中改正法案ハ、先日憲政會カラモ提出サレマシタ、又國民黨カラモ提出サレテ居ルノデアリマス、今日我黨ノ改正案ヲ是ヨリ説明セントスルノデアリマス、而シテ政府モ衆議院議員選舉法中改正法律案ヲ提出ヲ今日爲サレマシタケレドモ、唯、別表ノ改正ノミデアッテ、即チ人口ノ増加ニ基キ議員ノ増加ノミデアルト云フコトハ、本員頗ル遺憾ニ感ズルノデアアル、即チ他ノ根本的ノ改正ニ及バナイノハ、其調査ノ暇ガナイト云フ事ガ口實デアリマスケレドモ、本員ハ頗ル遺憾ニ感ズル次第デアリマス、我黨ノ改正ノ要點ハ五ツアル、第一ハ從來ノ大選舉區ヲ改正致シマシテ小選舉區ト爲セシコト、第二ハ選舉權ヲ擴張セシコト、第三ハ投票ヲ選舉會場ニ於テ混同セズシテ、各投票所各別ニ選舉長ガ之ヲ點檢スルト云フ事デアリマス、ソレカラ第四ガ罰則ノ改正デアリマス、是ガ別レニツニナリマス、一ツハ八十七條ノ改正、一ツハ官吏ノ不當不法行爲ニ對スル處罰ノ規定ヲ置イタノデアリマス、第五ハ人口ノ増加ニ基キ議員定數ノ増加デアリマス、其他ハ小選舉區制ニシタル當然ノ改正トシテ條文ヲ整理シテ居リマス、ソレカラ此衆議院議員選舉法ハ、刑法改正前ニ制定セラレタル法律ナルニ依リ、刑名刑期等ニ就テ、現行ノ刑法ト權衡ヲ取ルノ必要ガアリマスカラ、其整理ヲ致シタノデアアル、第一ニ何故ニ大選舉區ヲ變ジテ小選舉區ト爲セシカ、此點ヲ説明致サウト思フノデアリマス、諸君、小選舉區ヲ變ジテ大選舉區ニ致シタルコトハ、重大ナル理由ハ二ツアッタノデアアル、一ハ小選舉區ナレバ大人物ハ選出スルコトガ出來ナイ、即チ人才ヲ選出スルコトガ出來ナイ、故ニ大選舉トスルト云フ事ガ一ツノ目的デアッタ、一ツハ小選舉區ハ少數代表ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、依テ之ヲ大選舉區ニシテ、少數代表ノ目的ヲ達セシムルト云フコトガ、是ガ往年小選舉區ヲ大選舉區ニ變ヘタル所ノ主ナル理由デアリマス、併シ大選舉區ヲ運用致シマシテ既ニ十七年、此所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノミナラズ、幾多ノ弊害ヲ生ジテ居ルノ御坐イマス、即チ第一ノ大選舉區ナレバ大人物ガ出ル、小選舉區ナレバ大人物ガ出ナイト云フコトハ、事實ノ上カラ間違エテ居ルト云フコトガ、立證サレテ居ルノデアリマス、小選舉區ノ時代ニモ大人物ガ出テ居ル、大選舉區ノ時代ニモ出テ居ル、大選舉區ノ時代ニモ所謂大人物、名士ハ落選シテ居リマス、小選舉區ノ時代ニモ、所謂大人物名士ハ落選シテ居ルノデアリマス、即チ大選舉區選出サレヤウナ大人物ナレバ、小選舉區デハ無論出ラレルノデアアル、之ヲ事實ノ上ニ於テ、此問題ハ大選舉區デアッテモ、小選舉區デアッテモ、同一デアルト云フコトガ證明サレタノデアリマス、第二ハ大選舉區ハ少數代表ノ制度デアアル、本員モ不完全ナラカシ少數代表ノ制度ト認メマス、併シ完全ナル少數代表ノ制度デアハアリマス、而シテ之ヲ事實ニ徴スルニ小選舉區モ矢張完全ナル少數代表ノ制度デアリマス、少數代表ハ矢張代表サレテ居ル、是モ事實ニ於テ證明サレテ居ル、小選舉區ノ時代ニ於テハ、却テ小黨ガ分裂シテ居ル、多種多様ノ人間ガ議會ニ議席ヲ占メテ居ル、時代ハ違ヒマシテモ事實ハサウナッテ居ル、今日モ市部ニ於テハ小選舉區デアリマス、市ハ多種多様ノ人間ガ出テ居ル、少數黨モ多數黨モ各黨各派ノ人ガ出テ居ル所ヲ見マシテモ、大選舉區ハ少數代表ノ制度デアアル、小選舉區ハ絕對ニ少數代表ノ制度デアナイト云フコトハ言ヘナイト思フ、或場合ニ於テ政黨ハ偏在シテ居ル處モアリマス、或縣ニ於テハ散在シテ居ル處モアリマス、或郡ニ於テハ憲政會ガ多數デアアル、或郡ニ於テハ友會ガ多數デアアル、或郡ニ於テハ國民黨ガ多數デアルト云フテ、小選舉區、下ニ於テモ、不

完全ナガラ今日ノ大選舉區ト同シク、少數ノ代表ト云フモノガ出來テ居ルト云フコトハ、理論ノ上ニ於テモ、事實ノ上ニ於テモ、私ハ明カナ事ト思フノデアリマス、而シテ大選舉區ハ多數ヲ多數ニ比例シテ選出スルコトガ出來ナイ、少數ヲ少數ニ比例シテ選出スルコトノ出來ナイ所ノ惡制度デアル、諸君モ御承知デアリマセウ、或縣デ十八選出サレル大選舉區ニ於テ、政友會ガ六人、憲政會ガ四人ト云フ地盤ノ場合ニ、憲政會ガ規律統一節制ガアツテ、政友會ガ規律統一節制ガ無カッタ時分ニハ、政友會ニ於テ當選シタル第一順位、第二順位、第三順位ノ人ガ多數ノ投票ヲ取レバ六人出ラレル所ノ者ハ二人ハ落選シ、或ハ三人落選スルヤウニナル、而シテ節制アリ、規律アリ、統一アリタル少數黨ハ四人出セル所ガ却テ六人出ラレルト云フコトニナッテ居ルノデアアル、故ニ縣ノ投票ヲ見レバ六人出シタ方ト、四人出シタ方ト投票總數ニ於テ餘リ違ヒハ無クトモ、一方ハ六人出シタニ拘ラズ、一方ハ四人出シカ出セナイ、四人出シカ出セナイノニ、六人出シタト云フ結果ガ生ジマシテ、全國ニ於テ投票ハ勝ッテ居ッテモ、當選ノ人ハ却テ勝ッテナイト云フヤウナ奇現象ヲ生ズルデアリマセウカ、又少數黨ノ場合ニモサウデアアル、少數黨ガ三人出セル地盤ヲ有ッテ居ルノニ、此少數黨ガ統一、規律、節制ガ紊レテ居レバ、或ハ一人出シカ出セウ、二人ハ落選スルト云フヤウナ結果ヲ生ズルデアリマス、仍テ各國ニ於キマシテ、比例代表ノ制度ガ研究サレテ居ルノデアリマス、賢明ナル諸君ノ前ニ於キマシテ、外國ノ例ヲ引クコトハ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、矢張此選舉區ノ制度ハ外國カラ來テ居ルノデアリマス、暫クノ間清聴ヲ汚スノデアリマス、即チ大選舉區デハ多數ニ比例シテ、多數ヲ出スコトガ出來ズ、少數ニ比例シテ少數ヲ出スコトガ出來ナイト云フ缺點ガアル爲ニ、之ヲ改正シテ比例代表ノ制度ヲ採用シヤウト云フ議論ガ熾シニナッテ來テ居ルノデアリマス、即チ佛蘭西ニ於テモ之ヲ採用シカ、タノデアリマスケレドモ、議會ニ於テ敗レテ今日迄採用ガ出來テ居ナイ、英國等ニ於キマシテモ、千九百八年ニ「ローヤル、コンミッティー」ヲ設ケマシテ、勅令ニ依ル委員ヲ設ケマシテ、此制度ヲ慎重ニ研究セシメマシタケレドモ、此比例代表ノ制度ハ單純明確ト云フ所ノ、選舉ニ於テ最モ尊ベキ點ガ單純明確デナクテ、却テ混雜ヲ生ズルカラ、英國ノ下院ノ總選舉ニハ直チニ應用スルコトガ出來ナイト云フ結論ニナッテ居ルノデアリマス、即チ比例代表ノ制度ハ、諸君モ御承知ノ通り投票スルニ付テ、投票用紙ニ「一二三四五六七」ト云フヤウナ番號ヲ書イテ、投票讓渡ノ法ヲ指定シテ、其投票讓渡ニ付テハ選舉長ガ之ヲ計算シテ、其投票讓渡ノ順位ニ於テ幸不幸ガ出來ルノデアリマシテ、頗ル混雜シタル制度デアリマス、政黨ノ發達シタル國ニ於テモ、容易ニ是ハ採用スルコトガ出來ナイノデアアル、況ヤ日本ノ如キ政黨ガ發達シナイ處ニ、政黨ヲ基礎トスル所ノ比例代表ノ制度ヲ設ケタ時分ニ於テハ、投票ヲ讓渡スル所ノ方法計算ノ方法等ニ一大混雜ヲ生ジマシテ、單純明確ト云フ選舉ニ最モ尊ベキ點ガ即チ比例代表ノ制度ニ於テ期スルコト出來ズ、即チ所期セル理想ノ結果ヲ生ズルコトガ出來ナイコトハ當然ノコトデアアルノデアリマス、即チ小國ノ白耳義トカ、瑞西トカ云フ處ハ比例代表ヲ採ッテ居リマス、英領ノ「タスマニア」ト云フ處ニ於テモ、比例代表ノ制度ヲ採ッテ居リマス、愛蘭ノ自治案ガ行ハレバ、愛蘭ノ國會ニハ此比例代表ノ制度ヲ採リマスケレドモ、未ダ大國ニ於テ比例代表ノ制度ヲ採ッテ居ル國ハ、今日ハ一箇所モナイノデアリマス、且ツ各國ノ制度ヲ見マシテ、大選舉區單記ト云フ國ハアリマセウ、日本ノミデアリマス、佛蘭西ノ如キハ諸君モ御承

知ノ通り、千八百八十五年ニ小選舉區ヲ變ジテ大選舉區トシマシタ、併シ直ニ其弊害ガ起ッタモノデアルカラ、其弊害ニ堪ヘズシテ、五年モ經タナイ内、千八百八十九年ニハ之ヲ小選舉區ニ變更シテ、現今ハ小選舉區デアリマス、其他何處デモ大國ハ小選舉區デアリマス、小選舉區ヲ採ルカ、或ハ比例代表ヲ採ルカト云フ此二ツノミデアアル、大選舉區單記ト云フ制度ハ日本一國シカ無イノデアリマス、併シ外國ニ無クテモ日本ニアッテ差支アリマセウケレドモ、此立憲國ニ於テ選舉ノ制度ノ如キハ、外國ノ制度モ參考ニ供スルコトガ出來ルト本員ハ考ヘルノデアリマス、即チ大選舉區ト云フモノハ種々ノ弊害ニ堪ヘナイノデアアル、故ニ各國ノ如ク比例代表ノ制度ニ直スカ、或ハ小選舉區ニ變ヘルカ、此二ツシカナイ、然ルニ比例代表ノ制度ハ、其制度ガ混雜ヲ來シテ、到底所期ノ目的ヲ日本ニ於テハ達スルコトガ出來ナイ以上ハ、各國ニ共通ナル小選舉區制度ニ更ヘルト云フコトハ當然ナル結論ト本員ハ考ヘルノデアリマス（拍手起ル）ツレカラ大選舉區ハ一般ニ選舉費用ガ澤山掛リマス、小選舉區デモ選舉費用ガ澤山掛ルコトモアリマス、併シ原則トシテ論ズレバ、大選舉區ト云フモノハ小選舉區ニ比シテ選舉費用ガ澤山掛カルト云フコトハ當然デアラウト思フ、選舉費用ヲ少ナクスルト云フコトハ、立憲政治ニ於テ最モ私ハ考ヘナケレバナラスコト、思フノデアアル、故ニ費用ノ點ニ於テモ大選舉區ヲ變ジテ、小選舉區トスルコトハ適當デアラウト思フ、ツレカラ小選舉區ニナレバ、選舉民ト候補者ト密著ナル關係ガ生ズル、故ニ選舉民ハ議員候補者ノ人格、閱歷、經驗等ヲ信賴シテ、能ク候補者ノ人物ヲ承知シテ投票ヲ入レルノデアリマス、大選舉區ハ之ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ小選舉區ナラバ世ノ空論ノ政治家、煽動ノ政治家ヲ容易ニ選出スルト云フコトハナイノデアリマス、此點ニ於テ小選舉區ハ大選舉區ニ優ッテ居ルノデアリマス、ツレカラ小選舉區ニナレバ政見ヲ選舉民ニ徹底セシムルコトガ出來マス、何回モ演說スル事ガ出來ルノデアアル、依テ私ハドウ云フ政見ヲ以テ議會ニ立ツト云フコトヲ、選舉區民ニ徹底シ、明カニスルコトガ出來ル、大選舉區デハ是ハ容易ニ出來ナイノデアアル、政見ヲ選舉區民ニ徹底セシムルト云フコトハ、立憲政治ニ於テ私ハ最モ望ムベキコト、思ヒマス、之ガ爲ニ立憲政治ガ發達シマシテ、選舉區民ヲシテ政治上ノ訓練ヲセシメマスカラ、政見ノ徹底ト云フコトハ、立憲政治ニ於テ最モ尊ベキコト、考ヘルノデアリマス、是ガ小選舉區ノ又利益アル點デアリマス、ツレカラ大選舉區ニ致シマスレバ、同士相爭ヒ同士相侵シ、一黨派ノ人デ以テ選舉競爭ヲ致シ、同士ノ點ヲ侵シ、同士ノ點ヲ取ル、是デ立憲政治ガドウシテ圓滿ニ發達致シマスカ、政黨政治ガドウシテ圓滿ニ發達致シマスカ、同士間ニ競爭シテ同士間ニ陷穽シテ、是デ立憲政治ノ發達ヲ期スルト云フコトハ餘程ハ六ヶ數イコトデアアラウト、本員ハ斷定致スノデアリマス、小選舉區ニナレバ此點モ無クナルノデアアル、即チ政黨政治ヲ發達シテ、地盤ヲ鞏固ニシテ、憲法政治ノ圓滿ノ發達ヲ期スルト云フコトハ、私ハ小選舉區ニ限ルト思フ、又國民ヲシテ如何ニ代表セシムルカト云フコトモ、是ハ考ヘナケレバナラスコトデアリマス、併シ政府ヲシテ如何ニ政治セシムルカト云フコトハ、立憲政治デハ考ヘナケレバナラスコトデアリマス、即チ立憲國ニ於ケル政府ハ、基礎ノ鞏固ナル多數ノ政黨ニ依テ維持サレテ居ル政府デナケレバ、徹底的ニ強硬ナル政策ヲ斷行スルコトガ出來ナイト云フコトハ、理論ニ於テハ無論ノ話、事實ニ於テモ明カニ例證サレテ居ル點デアルト思フノデアリマス（拍手起ル）又補缺選舉ノ如キ事ニ至ッテハ、是ハ諸君

ニ於テモ論ハアリマス、大選舉區ニ於テハ全縣ヲ隱カシ無益ナル所ノ競争ヲ爲シ、一縣ヲ混亂ニ陷ラシメテ、實ニ補缺選舉ニ於テハ其弊ニ堪ヘナイデアリマス、此ノ如ク大選舉區ハ、大選舉區ニ改正シテ時分ニ所期シタル所ノ目的ヲ達スルコトが出来ズシテ、幾多ノ弊害ヲ生ジタデアリマス、依テ我黨ハ大選舉區ヲ、變ジテ小選舉區ニ改正シテ、小選舉區ヲ併シ以前ノ小選舉區ト違ヒマス、以前ニ於テハ被選舉人ガ選舉人ト同ジク種々ノ制限ガアリマス、其小選舉區ノ土地ニ住居シテ居ラナケレバナラス、或ハ納税シナケレバナラス、斯ウ云フ制限ガアリマシタケレドモ、今日ハ東京ニ住居シテ居ラウガ、納税セザルモノデアラウガ、被選舉人ハ無制限デアリマスカラシテ、尙更以前ノ小選舉區ヨリモ其效果ガ舉ルデアラウト私ハ考ヘルデアリマス、是ガ大選舉區ヲ變ジテ小選舉區ト爲シタル所ノ大要デアリマス、第二ハ選舉權ノ擴張デアリマス、是ハ國民黨ノ諸君カラモ提案ニナリマシテ、選舉人ノ納税額ヲ三圓ト低下致シマシタ、是モ一ツノ理想デアリマセウ、敬意ヲ表シマス、又憲政黨ノ諸君カラモ我黨ト同ジク納税資格ヲ五圓ニ低下致シタルデアアル、我黨モ矢張納税資格十圓ヲ五圓ニ低下致シタルデアアル、選舉權ノ擴張ト云フコトハ、衆議院各派各黨ノ一致ノ希望デアアル、是ハ當然ノ事デアリマス、立憲政治ニ於キマシテハ、國民ノ多數ト共ニ總テノ政治ヲ爲スト云フコトハ、是ハ動カスベカラザル鐵則ナリト本員ハ斷言致スデアリマス、併シ我黨カラ出シタル所ノ案ハ國民黨カラ出シタル中學校以上ノ卒業生ニ選舉權ヲ與ヘル、憲政黨デモ其案ガ出テ居タヤウデアアル、是ハ我黨ノ案ニハアリマセウ、中學校以上ノ卒業生ニ選舉權ヲ與ヘルト云フ提案モ、確カニ一種ノ理想デアリマス、本員ハ敢テ絕對ニ反對スル譯デハナイ、併シ日本ノ法制ノ立テ方ヲ見マスレバ、納税資格即チ納税義務ト參政權ト云フモノハ相對シテ居ル、憲法ニ於テモ精神ハサウ見エス、又市町村ノ公民權モ納税ノ資格ガ根本ニナッテ居リマス、地租ヲ納メ又ハ直接國稅ヲ一圓納メル者、郡會議員ノ選舉權ニ於キマシテモ、直接國稅ガ三圓デアアル、縣會議員ノ選舉權ニ於キマシテモ直接國稅二圓デアリマス、即チ納税ノ義務ト參政權ハ相對シテ居ルデアアル、斯ル法制ノ根本的ニ整理シテ、而シテ後ニ是ハ解決スベキモノデハナカラウカト思フ、又歐羅巴等ニ於キマシテモ、英國ノ如キハ普通選舉ニ近イケレドモ、矢張財產上ノ制限ガアルデアリマス、而シテ教育階級ニハ今日選舉權ヲ與ヘテ居リマセウ、或ル小國ニ於テハ教育階級ノ人ニ選舉權ヲ與ヘテ居ルケレドモ、此場合ハ教育階級即チ中學校ヲ卒業シタ爲ニ一票ヲ持ツ、稅ヲ納メル爲ニ一票ヲ持ツ、此二ツノ資格ヲ合併シテ居ル者ニハ一票ヲ與ヘテ居ル、是デナケレバ理論ガ貫徹致シマセウ、斯ル疑問モアリマスカラ、其解決ハ法制ノ整理ト共ニ後年ニ讓ルコトヲ我黨ハ適當ナリト考ヘタデアリマス、其次ガ即チ先程申シタヤウニ、各投票所ノ投票ヲ選舉會ニ於テ選舉長ガ各別ニ點檢スル、一體記名投票ガ宜シイカ、無記名投票ガ宜シイカト云フコトハ、是ハ大變ナ問題デアリマス、一利一害デアアル、併シ日本ノ法制ハ今日ハ無記名制デアリマス、併シ無記名制ニモ隨分弊害ガアル、責任ヲ重シナナイ、政治道德ヲ重シナナイト云フ弊害ガアリマスカラ、此弊害ヲ幾分ニモ矯正スルコトが出来レバ本員ハ満足致スデアアル、故ニ縣會議員ノ選舉ト同ジク、各投票所ノ投票ヲ選舉會場ニ於テ混同セシテ各別ニ點檢スルコトニナレバ、無記名制ニ伴フ弊害ガ幾分矯正セラル、コト、思フ、本員ハ此提案ヲ爲シタル所以デアリマス（拍手起ル）ツレカラ次ガ罰則八十七條ノ改正デアリマス、是ハ重要ナル改正デアリマス、現行ノハ

十七條程曖昧ニシテ不完全ナル文字ヲ用ヒテ居ルモノハアリマセウ、申セバ悉ク司法官ノ認定ト云フモノ宜シイデアアル、或ハ選舉ノ前後ヲ問ハズ、選舉ニ關シテ其他ノ利益、其他ノ利害關係ヲ裁判官ノ見ヤウニ據レバ、選舉ニ關シテ或事ヲスレバ、如何ナル事デモ處罰スルコトが出来ル、斯ウ云フ曖昧ナル所ノ文字ヲ臚列シテ居ルデアリマス、八十七條ノ第一號ハ諸君モ御承知ノ通り、選舉ニ關シテ金錢物品手形其他ノ利益ヲ供與シ、其約束等ヲ爲ス場合デアリマス、ツレカラ第二號ハ饗應、接待、旅費、宿泊料ノ代辦、車馬ノ供給、第三號ハ選舉人及選舉人ニ關係アル社寺、學校、組合、市町村ノ用水、小作債權、寄附等ノ利害關係ヲ利用シテ之ヲ誘導スル場合、斯ウ云フデアアル、然ルニ選舉ニ關シト云フコトニナッテ居リマスカラ、投票ノ自由公正ヲ害セナイ場合デモ、今日罰シテ居ルデアアル、選舉ニ於テハ投票ノ自由公正ヲ害シナケレバ、處罰スル必要ハナイデアリマス、依テ吾々ハ選舉ニ關シト云フコトヲ、投票ヲ得ルノ目的、投票ヲ得セシムルノ目的、又ハ投票ヲ妨ゲルノ目的ニ限定致シタルデアリマス、是以外ニ不正ノ場合ヲ罰スル必要ハナイ、投票ヲ得セシムルノ目的、投票ヲ得ルノ目的、投票ヲ妨ケルノ目的ニ限定スレバ、選舉ノ前後ヲ問ハズト云フコトハ、無論削除シナケレバナラス、直接間接ト云フ事モ隨分曖昧ナ規定デアアル、故ニ「直接間接」ト云フ文字ヲ削リマシタ、間接ト云フト教唆罪ニナルカラ、教唆罪ニテ罰シ其他ハ罰スル必要ハアリマセウ、其他「金錢物品手形其他」ト云フ事ハ前文ヲ承ケテ財產上ノ利益ニ限ラレタモノト本員ハ確信スルデアリマスカレドモ、司法裁判所ニ於テハ是ト異リタル解釋ヲ爲シテ居ル、故ニ「其他ノ利益」ト云フノ「其他財產上ノ利益」トスル限定致シマシタ、ツレカラ第三號ニ「用水小作寄附債權其他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其誘導ニ應シタル者」トアリマス、此「其他利害關係」ト云フ事ハ、隨分曖昧ナル文字デアリマシテ、之ヲ比附援引スレバ如何ナル場合デモ罰スルコトが出来ルデアリマス、例ヘバ自己ノ義務アル債務ヲ履行シテ罰セラレタ人モアル、故ニ斯ル曖昧ナル「其ノ他利害ノ關係」ト云フ司法官ノ認定ニ依テ、如何ナル場合ニ於テモ罰セラレルヤウナ事ハ、之ヲ削除スル必要ガアルトシマシテ、八十七條ノ規定ヲ極局限的ニシテ投票ノ自由公正ヲ紊リ、投票ノ自由公正ヲ害セナイ以上ハ、罰スル必要ガナイト云フコトニシタルデアリマス、是ガ八十七條ノ改正ノ眼目デアリマス、諸君、司法部ト立法部ト共ニ相對シテ獨立シテ居ラナケレバナラスデアリマス、吾々議員ハ立法部デアリマセウ、立法部ヲ形造ル一員デアリマス、併シ立法部ヲ形造ル一員ニ向ッテ、此選舉法八十七條ニ曖昧ナル不完全ナル文字ガアリ、司法官ノ認定ニ委ヌル爲ニ、間接ニハ立法部ノ獨立ヲ害スルヤウナリハセヌカト云フコトヲ本員ハ惧ル、ノデアリマス、故ニ司法部ト立法部ト互ニ相對抗シテ獨立セシムル爲ニ、八十七條ハ極局限的ニシテ其文字ヲ明カニシ、司法部カラ侵スベカラザル範圍ヲ此ニ確定シテ置ク必要ガアル爲メニ、此改正ヲ爲シタル所以デアリマス、次ハ官吏ノ不當不法行為ニ對スル處罰規定デアリマス、立憲政治ガ稍、進歩シタル今日官吏ノ干渉ニ對シテ處罰規定ヲ設クルト云フコトハ本員ハ、立憲國ニ於テ頗ル遺憾ニ感ズル次第デアリマス、併シ大正四年ノ選舉ヲ見レバ、未ダ日本ニ於テハ官權萬能デアアル、官吏ノ不當不法ノ處置ニ向ッテ、刑罰ノ規定ヲ以テ臨マナケレバ、選舉界ト云フモノガ種々ノ弊害ヲ生ズルコトヲ本員ハ實驗致シマシタ、故ニ「二」ノ條文ヲ規定シタルデアアル、一ハ官吏吏員ガ議員候補者ノ表示ヲ求メタル時分ニハ、一年以下ノ禁

錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス、警察官等が個々別々ニ訪問シテ、オ前ハ誰ニ入レル
カト云フ事ヲ聞クコトガ、是ガ選舉干渉ノ端緒ナル、而シテ投票ノ自由公正ヲ案ルモ
ノデアリマス、故ニ官吏公吏ガ選舉人ニ就テ其投票セントスル、或ハ其投票シタル議員
候補者ノ表示ヲ求メタル場合ニハ、之ヲ處罰スル規定ヲ設ケルノガ私ハ當然ノ事ナル
ト考ヘマス、又一ハ憲政會ノ提出サレタ案ト大同小異デアリマス「選舉事務ニ關係アル
官吏、吏員故ナクシテ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シ
若クハ偏頗ノ措置ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス」斯ウ云フ概括的ノ規定ヲ設
ケマシテ、選舉界ニ於テ最モ弊害アル所ノ官吏吏員ノ干渉ノ弊ヲ根絶スル事ニ、吾々ハ
大ニ努メナケレバナラヌト斷定致スデアリマス（拍手起ル）次ニ改正ヲ加ヘタ點ニ對シ
テハ、是ハ説明スルノ必要ハアリマセヌ、是ハ議員ノ増加即チ人口ノ増加ニ基ク議員ノ
増加デアリマス、我黨ニ於テハ全部デ以テ四百四十四名、現行ノ議員定數ニ比較シテ
六十三名ノ増加デアリマス、是ガ我黨ヨリ提出シタル所ノ衆議院議員選舉法改正案
ノ理由ノ大要デアリマス、諸君、立憲政治ハ議院政治ナケレバナラヌ、政黨政治デナ
ケレバナラヌト云フコトハ、本員茲ニ喋々ノ辯ヲ要シマセヌ、即チ立憲政治ヲ完全ニシ、
政黨ノ基礎ヲ鞏固ニシテ、政黨ノ發達ヲ期スルコト云フ事ガ、是ガ議院政治ノ要諦ナリ
ト考ヘルデアリマス（拍手起ル）之ヲ期スルニ付テハ種々原因モアリマセウ、併シ衆議院
議員選舉法ヲ改正スルコト云フ事ガ、其主タル原因デアルト私ハ考ヘルデアリマス（拍
手起ル）本期ノ議會ニ於テ、各黨各派ノ諸君ガ熱心ニ此衆議院議員選舉法ヲ改正ヲ爲
サントスルコトハ、本員ノ頗ル同意スル所デアリマシテ、本期ノ議會ニ於テ、衆議院議員
選舉法改正案ノ成案ヲ得テ、是非貴衆兩院ヲ通過セシメタイコトハ、本員ノ滿腔ノ
熱誠ヲ以テ希望スル所デアリマス、ドウカ本員ハ本案ノ慎重審査ヲ希望シテ此壇ヲ降ル
所以デアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 萩亮君

（萩亮君登壇）

（拍手起ル）

○萩亮君 諸君、本員ハ政府ノ提案ニ係ル衆議院議員選舉法中改正案ニ付テ、二
三ノ質疑ヲ試ミントスル者ナル、第一ニ此選舉法ハ各黨各派カラ出テ居リマスルガ、
吾々モ贊成ノ一人トシテ既ニ提案シテ居ルデアリマスルガ、本員論旨ヲ進ムル點ニ於テ、
或ハ多少其提案ニ觸ル、點ガアルカモ知レマセヌ、此點ハ一應御斷リヲ致シテ置キマス、
政府ノ提出セラレマシタ改正案ナルモノハ、單ニ別表ニ止マルデアリマス、ソレデ本員ガ
質問ヲ政府ニ試ミントスル點ハ、專ラ此別表ノミニ止メント欲スルデアアル、併ナガラ其
前ニ唯、要點ヲ摘シテ政府ノ所見ヲ叩イテ置キマス、政府ガ選舉法ヲ改正スルニ當
テ、此選舉法ノ内容ニ少シモ立入ルコトナク、單ニ別表ノミヲ改正セラルト云フノハ、
ドウ云フ御精神デアルデアアルカ、政府ハ現今ノ選舉法ヲ以テ完全無缺ナリトセラル、
デアアルカ、此點ニ付テ二三伺ヒマス、選舉權ノ擴張ニ付テハ殆ド我國ノ輿論デアアル、然
ルニ此點ニ付テ政府ガ毫末モ思慮シナイト云フノハ、抑々如何ナル考デアアルカ、之ヲ一點
伺テ置キマス、第二ニ政府ハ現行ノ選舉法手續ト云フモノハ、少シモ缺點ノナイモノト
信ゼラル、デアアルカ、現ニ近ク千葉縣ノ安房郡ニ於テ、一村ノ過失ノ爲ニ一郡ノ選舉
ヲヤリ直シテ、大騒動ヲ致シタコトガ目前ニ横ハッテ居ルデアアル、斯カル事例ヲ見ナガラ

之ヲ看過セラル、ト云フノハ、吾々ハドウシテモ政府ノ意ノ在所ヲ知ルニ苦ムデアアル、
殊ニ我黨ガ提案ニ係ル町村別ニ開票スルガ如キ事ハ、免ニモ角ニモ政府ガ努メテ之ヲ
修正シテ提案セラレナケレバナラヌ焦眉ノ急デアルト信ジテ居ルデアアル、然ルニ毫モ此等
ノ點ニ指ヲ染メラレヌト云フノハ、甚ダ其意ヲ得ナイデアリマス、其他選舉ノ取締或ハ
罰則ノ改正等ノ如キ、唯今我黨ノ松田源治君ヨリ説明セラレマシタル所ニ依テモ、ドウシ
テモ是ハ直シタ方ガ適當デアルト云フコトハ、万人ノ疑ハヌ所デアアル、聞ク所ニ依レバ政
府ハ現ニ貴族院ニ貴族院令ノ改正案ト云フモノヲ提案セラレタト云フコトデアアル、此貴
族院令ノ改正案ナルモノハ、詰リ議員ノ増加デアアル、ソコ衆議院ニモ此別表ヲ改正シ
テ、貴族院同様ニ増員ヲシナケレバ其權衡ヲ得ナイ、斯ウ云フヤウ御見地カラ、單ニ
貴族院ノ御附合ニ、此選舉法ノ別表改正案ト云フモノヲ御提出ニナツタノデハナイカト
疑フデアアル、若シ斯ノ如キモノデアルトシマスレバ、政府ノ提案セラレタル選舉法ノ改正
案ト云フモノハ、實ニ本員ハ其誠意ヲ缺クモノデハナイカト存ズルデアリマス、此點ヲ御
尋致シテ置キマス、ソレカラ第二ニ是ガ本員ノ質問セントスル主要ノ點デアアル、ソレハ選舉
權ノ普及公平、斯ウ云フ問題デアリマス、此選舉權ノ普及及詰リ普通選舉ト云フコトハ、
要スルニ此選舉法ノ終局ノ目的デアアル、語ヲ換ヘテ言ヘバ、理想的ノ目的デアラウト吾々
ハ信ジテ居ル、併ナガラ此點ニ付テハ要スルニ選舉資格ト云フ問題ニナルデアリマス、
併シ此選舉資格ノ事ニ就テハ、固ヨリ一朝ニシテ總テ之ヲ普通選舉ニスルト云フコト
ハ、我國ノ國情又今日ノ狀態ニ於テ、是ハ許サベキ事デアリマス、漸ク以テ其目
的ヲ達セシムル法案ヲ提出セラル、ト云フノガ相當デアラウト信ジマス、此點ニ付テ
吾々ハ既ニ提案シテ居ルデアアルカラ深ク論ジマセヌ、次ニ本員ノ言ハント欲スル所ハ、選
舉區制デアアル、併ナガラ大選舉區トカ、小選舉區トカ、サウ云フ意味合デアリマセヌ、
是ハ既ニ吾々ハ信ズル所ニ依テ提案シテ居ルデアアル、政府若クハ他ノ黨派ノ諸君ト見
解ヲ異ニシテ居ルデアリマスカラ、自カラ此等ノ點ニ付テハ審議セラル、諸君ガアラウト
存ジマス、本員ガ區制ト申シマスノハ、現今ノ選舉法ハ郡部ト市部トニ之ヲ別ツデア
アル、本員ガ問ハントスル所ハ此點デアアル、元來我國ノ現行ノ選舉法改正セラレマ
シタ場合ニ當ツテ、當時市部ト郡部ト別ラタ所以ノモノハ、恐ラク當時商工業者ヲ
代表スル議員ガ甚ダ少ナイ、獨リ郡部ト別ラタ所以ノモノハ、恐ラク當時商工業者ヲ
ルカラ、ドウシテモ商工業者ヲ代表セシムル途ヲ開カナケレバナラヌ、是ガ主ナル目的
デアラウト私ハ想像シテ居ルデアアル、ソレデ此點ニ付キマシテ衆議院要覽ト云フ配付
セラレマシタ本ニ據テ調べテ見マス、明治二十三年ニ初メテ實行セラレマシタ此選舉
法當時、其當時ノ議員ハ二百九十九人デアアル、其中ニ純粹ノ農民黨所謂農ト云フ職業ヲ
持テ居ル議員ガ百二十九人アッタデアアル、サウシテ商ト云フモノハ僅カ二十九人、全ク
權衡ヲ失シテ居タデアアルカラ、第七回ノ總選舉ヨリ實行セラレタノガ、即チ現今ノ選舉
法デアアル、其場合ニ方ツテ市ノ獨立ト云フ事ヲ認メテ、茲ニ商工業ノ代表者ヲ出サウト
云フコトニセラレタノハ、當時ノ措置トシテハ寔ニ適當ナ事デアルト本員ハ信ジテ居ル、然
ルニ其後我國ノ狀態モ非常ニ變遷ヲ經マシテ、商工業ガ長足ノ進歩ヲナシテ居ルノデ
アル

○萩亮君 現今ノ狀態ヲ見マスルト、三百八十一名ノ人員中僅カニ此農ト云フモ

ノハ八十一名シカナイノデアル、郡部ヨリ選出セラレタル議員諸君デモ、多クハ銀行員トカ、會社員トカ、取締役ト云フヤウナ肩書ヲ持テ居ラル、人ガ殆ド多ク、今日ハ主客顛倒シテ商工業者ガ非常ニ多數ニナツテ居ルノデアル、斯カル場合ニ僅ニ二萬ノ市ヲ獨立選舉區トシテ、之ヲ承認スル必要ガ何處ニアルノデアルカ、郡部ハ十三萬ヲ持タナケレバ、一人ノ代議士ヲ選出スル事ガ出來ヌノデアル、然ルニ獨リ小サナ市ハ三萬アレバ既ニ代議士ヲ選出シ得ル權能ヲ持テ居ルノデアル、選舉權ト云フ事ニ付テハ、普通選舉タルベシ、階級ヲ附ケルノハイカニト云フ事ニ付テハ、世論ノ囂々トシテ之ヲ唱ヘテ居ルノデアリマスガ、其與ヘラレタル選舉權ヲ最モ公平ニ、最モ同シ效力ニ使用スルコト云フ點ニ付テハ、餘リ其議論ヲ聽カヌデアリマス、私ノ言フ事ハ分リ氣ネルカモ知レマセウガ、市ノ選舉權ハ、選舉人ガ一人デ有スル選舉權ハ、郡部ノ四人乃至四人半ニ當ルノデアル、同一ノ選舉權ヲ持テ居リナガラ、郡部ノ有權者ト云フモノハ、市ノ四分ノ一ニ及バナイノデアル、斯ノ如キ點ニ於テ非常ニ此選舉權ノ效力ノ上ニ於テ、非常ナ不公平ヲ生ジテ居ルノデハナイカ、ソコデ政府ハ此點ニ付テ考慮ヲ費サレタノデアアルカドウカ、之ヲ御聞キシタノデアリマス、ソレデ尙ホ其點ニ付テ申上ゲマスルガ、第三ト牽聯シテ申シマスルガ、政府ハ別表ニ「本表ハ十年間ヲ之更正セス」ト云フ下ニ將來十年ノ期間ガ經過シテ改正スル場合ニ當ツデモ、議員ノ數ハ四百五十名ヲ超ユルコトガ出來ヌト云フ規定ヲシテ居ラレル、是ハ一體斯ウ云フ立法例ト云フモノガ、世ノ中ニアルモノデアアルカドウカ本員ハ知リマセウガ、是ハ容易ナラヌ規定デアアル、十年後ニナリマスルコト云フト、我國民モ一年間ニ六七十万宛増加シテ行クト云フコトニナルト云フト、此人口ハ非常ニ増加スル又市ニ於テハ獨立市ガ二十ヤ二十出來ララウト考ヘル、サウスルト云フト、此場合ニ於テ選舉權ヲ如何ニ按排セラレル精神デアアルカ、僅ニモウ此政府ノ提案ガ通過スルシマスレバ、餘ス所ノ人員ハ僅ニ十二名デアアル、此十二名ヲ其獨立市或ハ郡部ノ人口ノ増加シタモノニ付テ、如何ナル按排ヲセラル、御用意デアアルノデアアルカ、之ヲ伺ヒタイノデアアル、ソレデ本員ノ考ヘル所ニハ、今回ノ選舉ニ當ツテ、是ハ宜シク此點ニ考慮ヲ致スベキ問題デアハナイカト考ヘルデアリマス、今回ヨリ或ハ今後ノ獨立市ニハ五萬以上デナイトイカヌ、或ハ七萬以上デナケレバ許サヌト云フヤウナ、一方ノ制限ヲ加ヘルト同時ニ、從來許シテ居ルノ、之ヲ私ハ無理ニ剝奪シヤウト云フノデアアリマセウ、併ナガラ既ニ郡部ト市部トハ非常ナ權衡ヲ失シテ居ルノデアアルカラ、今日ノ改正ノ場合ニ當ツテ、此十年後ニ非常ナ混雜ヲ生セヌヤウニ用意ヲセラルト云フコトガ、詰リ爲政家ノ努ムベキ道デアナイカト考ヘマス、依テ是ヲ質問ヲ致シマシテ、本壇ヲ降リマス(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 高木正年君

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 議長

○副議長(濱田國松君) 高木正年君

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 議長

(政府委員法學博士水野鍊太郎君登壇)
○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 萩君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、萩君ノ御質問ノ要點ハ、先ツ第一ニ此度政府ハ別表ノ「改正ヲ提出シタルデアアルガ、本法ニ於テハ何等ノ變更ヲ加ヘテ居ラナイ、現ニ必要トシテ居ル選舉權ノ問題ノ如キ、選舉區ノ問題ノ如キ、若クハ取締ニ關スル罰則ノ規定ノ如キ、今日之ガ改正ノ必要ヲ認メ

テ居ルノデアハナイカ、ソレニモ拘ハラズ是等ニ少シモ手ヲ觸レズシテ、別表ノミヲ改正シタルノハ如何ナル理由デアアルカ、斯ウ云フノガ第一點ノ御問デアリマス、寔ニ御尤ナ御問デアリマシテ、選舉法ヲ改正スル以上ハ、選舉區ノ問題、選舉權ノ問題ニ觸レザルト云フコトハ、是ハ寔ニ遺憾トスル所デアアルノデアリマス、併ナガラ選舉權ノモノハ申ス迄モナク、憲法附屬ノ法律デアリマシテ、是ガ改廢ニ付キマシテハ、慎重ノ調査研究ヲ爲サネナラヌト云フコトハ、是ハ言フ迄モナイ事ナデアリマス、殊ニ此選舉區制ノ問題竝ニ選舉權ノ問題ニ付キマシテハ、是亦特ニ注意ヲ要スルコトナデアリマス、其規定ノ如何ニ依リマシテハ、議員ノ選舉竝ニ選舉界ノ狀態ニ至大ナル影響ヲ來スノデアリマスルカシテ、此事ニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ、亦議會ト致シマシテモ、慎重ノ調査ヲ爲サネナラヌノデアリマス、而シテ此事ニ付キマシテハ申ス迄モナク、多年ノ研究ヲ爲シテ居ルデアリマス、併ナガラ現政府ト致シマシテ、選舉法ヲ改正スルニ至リマシテハ、隨分慎重ノ調査ヲシタルデアリマス、併ナガラ選舉權ヲ如何ナル程度マデ擴張スベキヤ、又擴張スルコトガ今日ノ時勢ニ必要ナルヤ、選舉區ノ問題ハ大小何レヲ採ルベキカ、將タ折衷シテ中選舉區制ナルモノヲ採ルベキカト云フヤウナ事ニ付キマシテハ、是ハ種々ノ議論モアリ、種々ノ政究ヲ要スル事モアリ、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、本議會ニ成案ヲ得ルニ至ラナカッタノデアリマス、此點ハ甚ダ遺憾ト思フガ、事實サウ云フ次第デアリマシタカラシテ、此選舉法ノ内容ニ付キマシテ、改正ヲ爲スコトヲ得ナカッタノ遺憾デアリマスルガ、サウ云フ次第デアッタノデアリマス、尙ホ罰則其他ノ規定ニ付キマシテモ、是ハ改正スルコトヲ要スル點ガ多クアリト信ズルノデアリマス、併ナガラ是等モ亦選舉區ノ事ト選舉權ノ事ト關スルニアラザレバ、是ガ改廢ヲ企テルコトガ出來マセウカラ、此等ノ事ハ他日ニ讓リマシテ、今回ハ之ヲ提出スルコトニナラナカッタノデアリマス、申ス迄モナク選舉法ノ改正ハ、議會開設以來僅ニ一回ノ改正ヲ經タノミデアリマス、而シテ此度若シ之ヲ改正スルコト申シマスレバ、第二回ニナルノデアリマス、此改正ニ付キマシテハ、御互ニ慎重ナ研究ヲ遂ゲタイ、斯ウ云フ趣旨ヲ以チマシテ、政府ト致シマシテハ此本法ノ改廢ニ付キマシテハ、確定シタル成案ヲ得ルニ至ラナカッタノデアリマス、然ルニ此別表ニ付キマシテハ、是ハ殆ド研究ヲ盡シタルデアリマス、既ニ選舉法調査會ニ於キマシテモ、別表ノ改正案ニ付テハ何等ノ異議ガ無カッタノデアリマス、ソレカラ別表ノ事ニ付キマシテハ、當テ本院ヲ通過シタコトモアルノデアリマス、此等ノ事情ト又市區ノ獨立シタルコト云フコトモ多數ノデアリマス、又人口ノ増加モ非常ニ殖エテ居ルノデアリマスカラ、是ハ選舉法ノ本案ニ立入ラズトモ少ナクモ、別表ヲ改正スルハ、現時ノ狀況ニ於テ必要ナリト認メマシタガ爲ニ、此點カラ申シマシテ別表ノ「改正案ヲ提出スルニ至ツタ次第デアリマス、第一御問ト致シマシテ、能ク明確ニハ分リマセウデシタケレドモ、選舉者ノ資格ノ事云々ト云フヤウナ御尋デアリマシテ、其中ニ普通選舉ト云フヤウナ御言葉ヲ御用ヒニナツテ居ッタノデアリマスガ、普通選舉ハドウ云フ風ニスルカト云フヤウナ御問カトモ考ヘタルデアリマスガ、是ハ重大ナ問題デアリマス、而シテ今日尙ホ普通選舉ヲ行フノ時機ニアラズト認メマス、ソレカラ次ニハ郡部市部ノ事ニ關シテ御問デアリマシテ、郡部ヨリ選出セラル、議員ハ人口十三萬ニ付テ一人ノ比例デアアル、然ルニ市區ハ二萬以上ニナレバ、獨立選舉區トナツテ一人ヲ選出スルコト云フ現行制度デアアル、其結果トシテ所謂農民代表者ノ數ガ少ナクシテ、商工業代表者ノ數ガ多ナルコト云フ實

情ヲ呈シテ居ル、是ハ不權衡デハナイカ、此點ニ對シテ政府ハ如何ナル所見ヲ持ッテ居ルカ、斯ウ云フ御問ト解 釋致シマシタ、此事ハ實ハ今日初メ起ル議論デハナイノデアリマス數年——十數年前ヨリ此議論ガ起リマシテ、御承知ノ如クニ我國ノ選舉法ハ、當初ニ於キマシテハ、郡部市部ノ區別ヲ認メテ居ラナカッタノデアリマス、然ルニ明治二十二年ニ提案セラレマシタ政府案ニ於キマシテ、所謂市部ノ獨立ヲ認メタノデアリマス、其趣旨ハ特ニ諸君ノ御承知ノ如ク、郡部市部ヲ分タザルニ於テハ、市部ヲ代表スル——言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、商工業ヲ代表スル議員ガ入レナイカラシテ、外國ノ例ニアルガ如ク、市部ノ獨立モ認メヤウデハナイカ、斯ウ云フ趣旨ニ於キマシテ、明治三十二年ノ提案——三十二年ヨリ施行セラレマシタ 現行法ニ於キマシテ、所謂市部郡部ノ區別ヲ爲スニ至ラナカッタノデアリマス、而シテ其當時ニ於テモ、此改正案ニ付テ各種ノ議論ガアツタ云フコトハ、皆様ノ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ市部ノ人口ニ付キマシテハ、三万以上ノ市カラ一人出スト云フ事ニ付キマシテ、ウレハ權衡ヲ得ナイ、少クモ五万以上デナケレバナラス、八万以上デナケレバナラスト言フ其間ニ於テ各種ノ議論ガアリ、而モ衆議院ト貴族院ト其見解ヲ異ニシタト云フ事モ、諸君御承知ノ通りデアリマス、而シテ兩院ノ決議ハドウナツタカト申シマス、結局ハ現行法ノ通り三万以上ノ市ハ獨立シテ一選舉區ヲ成ス、即チ其市部カラシテ一人ノ議員ヲ選出スルト云フ現行法ノ規定トナツタノデアリマス、斯ノ如キ沿革ヲ有シテ居ルノデアリマス、併ナガラ果シテ郡部市部ノ區別ヲ爲スガ適當デアルカ否ヤト云フコトハ、是ハ亦研究ヲ要スル事デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ今日迄ノ實行シタ結果ニ依リマスルト云フト、先ヅ政府ニ於キマシテハ、現時ノ趨勢ニ於キマシテハ、此制度ヲ以テ適當ナリト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此制度ガ永遠ニ眞理ノアル制度トハ考ヘマセヌガ、選舉ノ如キハ其時ノ狀態ト其時ノ經濟上ノ狀況トニ鑑ミテ、改廢ヲシナケレバナラスモノデアリマス、併ナガラ我今日ノ狀態ニ於キマシテハ、此制度ヲ適當ト考ヘテ居リマスカラシテ、明治三十三年以來ノ現行法ノ趣意ヲ踏襲シタ次第デアリマス、次ニハ此度ノ別表ノ中ニ議員ノ數ハ四百五十八人ヲ超エルコトヲ得スト云フ規定ガアル、此規定ニ付テ御尋デアル、斯ノ如キ立法例ガアルカ如何デアルカ四百五十八トスルニ付テ、將來人口ノ増加シタ場合ニ於テ、支障ヲ來スデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ立法デアリマスカラ、如何ナル立法モ出來ルノデアリマス、併シ此立法例タル決シテ今日初メ起リタ例デハナイノデアリマス、明治四十五年ニ衆議院議員選舉法ヲ提出シタ其案ニモ、四百五十八トアルノデアリマス、ソレハ人口十三萬二付テ一人、市區ハ總テ一人ヲ出スト云フヤウナ制度ヲ確立致シマスレバ、人口ノ増加ト云フモノハ、年々殖エルノデアリマスカラ、議員ノ數ハ底止スル所ヲ知ラナイ、或程度ヲ以テ議員數ト云フ事ヲ極メルト云フコトハ、是ハ必要ナ事デアラウス云フ事デアツタ、是ガ四百五十人ガ適當デアルカ、五百人ガ適當デアルカ、是ハ十分ナル政究ヲ要スル事デアリマシテ、即チ明治四十五年ニ提出致シマシタ時ニ於キマシテモ、亦今日ニ於キマシテモ、此程度ヲ以テ適當ナリト考ヘテ居ルノデアリマス、外國ノ選舉法ヲ見マシテモ、多クハ選舉法ニ其定員ヲ掲ゲデアリマス、其定員ハ人口ニ比例致シマシテ、種々ノ違ハアリマスレドモ、我國ノ現狀ニ於キマシテハ、此位ノ數ヲ以テ適當ナリト信ジテ居シタノデアリマス、但シ人口ガ増加致シマスト十三萬人ニ付キ一人、若クハ市區ヨリ一人ヲ出スト云フ其數ニハ變更ヲ加ヘナケレバナラス、デアリマスカラ 將來人口ガ非常ニ増シマ

シタ曉ニ於キマシテハ、人口十三萬ト云フ標準ヲ十四萬人トスルカ、十五萬人トスルカ乃至ハ市區ニ於テモ五万以上トスルカ、八万以上トスルカト云フ事ニ付テハ變更ヲ加ヘナケレバナラス事デアラウト思ヒマス、併ナガラ大體ノ數ト致シマシテハ、四百五十八ト云フ事ヲ以テ限定シテ、而モ之ヲ以テ議院建築、其他ノ參考資料トスル事ガ必要デアラウ、斯ウ云フ趣旨ヲ以テマシテ、四百五十八ト云フ事ニ、我國ノ議員數ヲ極メタノデアリマス、斯ウ云フ趣旨ヲ以テマシテ四百五十八ト致シタノデアリマス、是ハ必スシモ本年初メ出タ所ノ立法例デハ無イノデアリマス、大體是丈ノ御答ヲシテ置キマス

○高水正年君 議長

○副議長(濱田國松君) 高水正年君

(拍手起ル)

○高水正年君 極メテ短イ質問デアリマスガ、私ハ今日喉ヲ惡ルク致シテ居リマスノデ、議席カラデハ徹底致シマセヌ、爲ニ登壇ヲシタノデアリマスカラ、少シノ間御忍ビテ願ヒタウ御坐イマス(謹聽)ト呼フ者アリ)私ハ政府提出ノ選舉區ノ改正案ニ付キマシテ、本案審查ノ爲ニ政府ノ意ノ在ル所ヲ實シテ置キタイト思フノデアリマス、選舉法ノ改正ハ必ズ選舉ノ進歩ヲ意味スルト云フ事ガ、改正ノ第一要項ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、始メテ二十三年ニ國會ヲ開設セラレタ當時ニ當リマシテ、憲法附屬ノ法律トシテ、選舉法ノ制定セラレタ當時ニ在テハ、選舉權ノ資格ノ程度ニ付キマシテモ、未ダ我國ニ經驗ナキ事デアリマスカラ、努メテ消極ニ局限シテ、國民ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、當時ニ於テハ誠ニ無理カラヌ事ト私ハ思フノデアリマスガ、併ナガラ元來 明治天皇ガ憲法ヲ發布セラレ、國民ニ參政ノ權利ヲ與ヘ給ヒシ御趣意ノ上カラ申シマスレバ、當時制定セラレタル法律上ノ資格ナルモノニ付テハ、必ズシモ満足スベキ性質ノモノデナイト云フ事ハ、初カラ考ヘ居ラル、答デアラウト思フノデアリマス、尙ホ時ノ進ムニ從ヒ文化ノ及ボス程度ニ於テ、益々之ヲ進歩發達セシムルト云フ事ガ、憲法制定ノ當時ニ於テ業ニ已ニ此事ガ明カニ國民ニ示サレテ居ルト云フコトハ、憲法發布ノ御詔勅ヲ讀ンデ見テモ、又憲法發布ヲ生ミタリト稱セラル、所ノ五條ノ御誓文ノ一二ノ箇條ヲ讀ンデ見テモ、明カニ此事ハ了解サレルノデアリマス、是ヲ以テ第二次ノ選舉法ノ改正ニハ十五圓ヲ十圓ニ切下ゲ、殊ニ成ルベク國民ノ投票ヲシテ無効ノ投票タラシメザラムコトヲ欲スルガ爲メニ、小選舉區制ヲ改メテ大選區制ト更ヘルト云フガ如キ、確ニ一段ノ進歩ヲ爲シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ政府提出ノ選舉法ノ改正案ハ、國民ノ増加シタル其數ニ應ジテ代表者、即チ衆議院議員ノ定員ヲ増加シタルハ宜シウ御坐イマス、併ナガラ此増加シタト云フ事ガ、一方ニ於テ選舉權ヲ擴張シ、所謂選舉人ノ増加ニ伴ウテ議員數ノ増加スルト云フコトナラバ、洵ニ此間ニ於テ意味ガ能ク徹底セラル、ノデアリマス、所ガ今回ノ改正案ヲ見マス、從來三百八十一人ナリシ者ヲ四百三十八人ニ増加シテ居ル此間五十七人ノ増加ヲシテ居ルニ拘ラズ、此増加シタ所ノ所謂議員ハ何レノ階級ニ分配シテ代表者トナスカト云フト、要スルニ現行法ニ規定セラレタル所ノ直接國稅十圓以上ノ選舉人ニ、此増加人員ヲ割當テタト云フ結果ニナシテ居ルノデアリマスガ、國民ノ増加ニ依テ代表者ヲ増加スルナラバ、之ヲ國民ノ上ニ公平ニ分配シテ、其代表ヲ遺憾ナカラシムルト云フ事ガ、選舉法ノ改正ノ意味ニ於テ、選舉法ノ進歩ノ

上ニ於テ、是非共斯様ナ事ヲシナケレバナラヌデアル(拍手起ル)然ルニ毫モ選舉權ノ事ハ之ヲ攻究セズ、唯々人口増加ノ上ニ於テ、人員ヲ増加シ、而モ之ヲ益々偏頗ナル方法ニ依テ、現在ノ選舉有權者、即チ直接國稅十圓以上ノ人ニノミ此代表者ヲ増加スルト云フ事ハ、如何ニシテモ人員増加ノ意味ガ徹底シテ居ラヌト考ヘマス、唯今内務次官ハ前ノ御方ノ御質問ニ對シテ、答辯ノ傍々數千言ヲ費シテ、選舉法ノ改正ニ對スル政府ノ立場ヲ言明サレタデアリマス、併シ其言明ハ要スルニ政府ノ無責任ヲ表白シタモノト言ハサルヲ得ナイ、何故ニ選舉法ノ改正ヲシナイノカ、唯々選舉法ノ改正ハ重大デアル、重大デアルガ爲メニ國務ヲ怠ルト云フ事ハ、抑々責任ヲ知ル者ノ是ハ言フベキ事デアリマスルカ、唯々不幸ニシテ今日此言葉ヲ國務大臣ヨリ聽カザルノハ、私洵ニ千古ノ遺憾デアルデアリマス、斯様ヲ疑フ以テ此政府ノ改正案ヲ見テ居ルデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ如何ニ考ヘテ斯様ナル所ノ無意味ナル人員増加案ヲ出シテ、選舉法ノ改正ニ對シテ一時ヲ囁化シヤウトセラル、デアリマスルカ、之ニ付テ政府ノ明カナル御答ヲ請ヒタイ、第二ニ承ル所ニ依リマスレバ、此選舉區制ニ付テハ、樞密院ノ議ヲモ經テ御提出ニナツタサウデアリマス、貴族院令ト共ニ一既ニ樞密院ノ議ヲ經テ提出セラレタ以上ハ、政府ニ於テ飽迄モ此大選舉區制ヲ維持セラル、積リデアリマスルカ、此一點ニ付テ明カニ政府ノ御答ヲ要求シタイと思フデアリマス

(拍手起ル)

○副議長(濱田國松君) 水野政府委員

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君登壇)

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 高水正年君ノ御尋ハ、要スルニ萩亮君ノ御尋ノ一端ヲ御述ベニナツタ事ト思ヒマス、即チ此度政府ノ提出シタル別表ハ、議員ノ數ヲ増シテ其數ヲ如何ナル方面ニ配付スルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、選舉權ノ擴張ヲ圖ラズシテ別表ノミヲ提出シタル、即チ議員數ノミヲ増シタル事ト云フ事ハ、意味ヲ成サナイデアリマス、甚ダシキハ御言葉ニハ少シ過激ナ御言葉ガ有ツタガ、別表ヲ提出ヲ以テ政府ハ選舉法ノ改正ヲ囁著シ去ラントスルデアリカト云フヤウナ御言葉モ有ツタと思ヒマスガ、要スルニ議員數ノミヲ増シテ、選舉權ノ擴張ヲ圖ラザルト云フコトハ、選舉法改正ノ意味ヲ成サヌト斯ウ云フ意味ノ御尋ト考ヘマス、此事ハ萩亮君ニ對シテ御答ヲシタル同一ノ御答ヲ以テ足リト信ズルデアリマス、先程申シタル如ク、選舉區ノ異ナルハ極メテ重大ナル問題デアルカラ、政府ニ於テ慎重ノ調査ヲ爲シタル、而モ確定シタル案ヲ得ルニ至ラナカッタト云フ事ニ過ギナイデアリマス、然ラバ政府ハ怠慢デハナイカト斯ウ云フ御尋デアリマス、怠慢カモ知レナイ、併ナガラ是ハ御承知ノ如クニ重大ナル問題デアリマス、種々ノ議論ガ有ルデアリマス、ソレデアリマスカラ此問題ヲ解決スルニ付テハ、十分慎重ノ調査ヲ要スル、慎重ノ調査ヲ要スル結果トシテ、遂ニ成案ヲ得ルニ至ラナカッタ、是ハドウモ已ムヲ得ヌト思フ、サウ云フ御趣旨ト御解釋ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ノ御尋ハ能ク分リマセヌデシタガ、此提出案ガ樞密院ノ審查ヲ經タデアラウガ(一内閣ガ固執スルカドウカト云フノデス)ト呼フ者アリ(サウ云フ御尋デスカ、是ハ免ニ角政府ハ現狀ニ依テ別表ヲ提出シタルデアリマシテ、少ナクモ現時ニ於テハ現狀ニ據ルヲ適當ナリト認メル、斯ウ云フヤウニ御答スルヨリ外アリマセヌ

○副議長(濱田國松君) 植原悅二郎君

(植原悅二郎君登壇)

○植原悅二郎君 唯今議場ノ問題トナツテ居リマスル選舉法改正ニ付キマシテ、極ノ原則ニノミ於テ簡單ニ質問シテ置カウト思ヒマス、質問ハ政府案ニ對スル質問ト、政友會ニ對スル質問デアリマス、先づ第一ニ政府案ニ對スル質問ヲ試ミル積リデアリマス、段々前ノ質問者ニ依テ政府ノ御意圖モ分リマシタル、此提出ナレマシタ政府ノ案ヲ議スルニ付テ、尙ハハッキリ此際承テ置キタイ事ハ、政府ハ選舉權ノ擴張ヲ必要ト認メテ居ルカドウカ、此點ヲハッキリシテ置キタイ、又政府ガ選舉權ノ擴張ヲ必要ト見ルナラバ、ドノ程度迄現狀ノ狀態ニ照シテ選舉權ヲ擴張スル必要アリト御認メニナツテ居ルカドウカ、普通選舉ハ現狀ニ適セザルモノト云フテ、政府委員カラハハッキリシタ言明ガ有ツタ、ソレ程普通選舉ニ對シテハハッキリシタ言明ヲ爲サル、程、選舉權ノ問題ニ付テ御意見ガ有ルナラバ、全部ノ選舉法ヲ改正スル迄ニ調査ガ運シテ居ラナイニシテモ、現在ノ日本ノ國狀ニ照シテ、政府ノ御意見ハドノ程度迄選舉權ヲ擴張スル必要ガアルカ、全然ナイノデアルカ、之ヲ伺ッテ置キタイ、モウ一ツ政府ニ就テ伺ッテ置キタイ事ハ、現在ノ選舉界ノ狀態デ、最モ遺憾ナルコトハ選舉場裡ノ腐敗デアル、之ヲ矯正スルニ付テハ幾多ノ罰則モ必要デアリマセウガ、先達國ノ選舉界ノ腐敗ヲ矯正シタル所ノ狀態ヲ鑑ミテ見マシレバ、選舉界ノ腐敗ト云フ事ハ、ドウシテモ大々的選舉權ヲ擴張シテノミ實際ニ於テ得ラレルコトデ其他ノ事デハ如何ニ嚴重ナル罰則ヲ作ツテモ、根本的ニ選舉界ノ腐敗ヲ廓清スルコトノ出來ナイコトハ、歴史ノ上ニ明カナ事デアル、之ニ對シテ政府ハ現在ノ選舉界ノ腐敗ノ狀態ヲ矯正スル意思ガ有ルカ無イカ、若シ意思ガ有ルトスルナラバ、如何ナル方法ニ依テ之ヲ矯正スルコトガ出來ルモデアリカト云フ御意見ヲ有シテ居ラル、カ、之ヲ矯正スル一ノ途ハ選舉權ヲ大々的ニ擴張スルコト云フ事デアルト御考ニナツテ居ルカ如何、此一ツノ點ヲ政府委員カラ伺ッテ置キタイ、次ニ政友會ノ提出案ニ對シテ伺ヒタイ事ハ、選舉區制ノ問題デアリマス、政友會ノ提案ノ提出者モ、明治二十二年ノ選舉法ヲ現行ノ選舉法ニ改メタル理由ハ、大選舉區ニシテ大人物ヲ出スト云フ事ト、少數有權者ヲ代表セシムルト云フ、此一ツノ項目デアルト云フ事ハ御認メニナツテ居ル、而シテ現在ノ大選舉區制ニ依レバ、其豫期シタル事ガ實現サレテ居ラナイ、故ニ小選舉區ニスルデアル、斯ウ云フ御意見ノヤウニ承知シテ居ル、而シテ之ニ就テ色々ノ御説明ヲナサレマシタル、前ノ小選舉區制ノ時ニモ大人物ガ出テ居ル、今日大選舉區ノ時ニモ大人物ガ事實出テ居ル

(此時副議長濱田國松君退席議長大岡育造君復席)

○植原悅二郎君 故ニ大人物ニ於テハ相違ガナイト云フ御説明デ御坐イマシタケレドモ、前ノ選舉法ノ時代ニハ、多クハ地方ノ郡長ノ古手、或ハ農民ノ代表者デアッタト云フ事ハ、獨リ選舉權ノ選舉區制許リノ問題デナク、其他ノ事情ニ關聯シテ居ルコトニ違ヒアリマセヌケレドモ、現在ノ選舉法ガ實施サレテ以來、比較的ニ地方ノ縣會議員、或ハ郡長階級ノ人ヨリ比較的ニ良イ人物ガ選出サレラウニナツテ居ルト云フコトハ、現行ノ選舉法ノ實施前ノ實施後ノ議員ノ狀態ヲ觀察ナサレバ、ハッキリ判ルコトデアルト思ヒマス、又提出者ノ御意見ニ依リマスル、少數代表者ト云フコトハ、大選舉區制デアラナイト云フ御話デ、色々ノ例ヲ舉ゲラレマシタル、今假リニ此處ニ五ツノ小選舉區ガアル、其五ツノ小選舉區ノ中ニ悉ク負ケタ所ノ少數ノ投票ヲ集メテ、大選舉區制

ナラバ一名ヲ出スコトガ出來ル、又實際一名ガ事實出テ居ル實例ガ澤山アルノデアリマス、シテ見レバ現在ノ大選舉區制ハ、比較的小選舉區制ヨリハ大人物ヲ出スコトヲ得ルノミナラズ、少數ノ代表者ヲ出スコト云フ事モ事實ニ於テ爭ハレナイ事アル、之ニ對シテ少數ノ代表者ヲ出スコトハ、比例選舉云々ト云フ事モ御話ガ御坐イマシタガ、是ハ實行ノ出來ナイコトハ、提出者ノ御意見ト一致デアリマス、併ナガラ日本ノ今日ノ選舉ハ佛蘭西ニ於テモ小選舉區制ヲ行フデ居ル、英國ニ於テモ小選舉區制ヲ行フデ居ルカラ日本ノ選舉區モソレニシナケレバナラヌト云フ事實ハナイノデアル、日本ノ選舉ハ今日ニ於テ事實情實ニ因縁ニ迫リテ行ハレテ、政權或ハ主義ニ依テ大多數ハ行ハレテ居ラナイノデアル、之ヲ小選舉區制ニシテ尙更此弊害ガ増スノデアル、之ヲ増サヌト云フハキリシタ御取調ガアルカドウカ、小選舉區制ガ大選舉區制ニ優ルト云フ提議者ノ理由ハ悉ク事實ニ當ラザルモノ、而シテ更ニ事實ノ上カラモ、日本ノ今日ノ選舉狀態カラ考ヘテモ、亦原則ノ上カラ云フデモ行ケナイ所ノ小選舉區制ヲ、此時勢ニ伴フ選舉法ノ改正ノ必要ナル條項トシテ御提案ナサレタ理由ハ如何(何デカ分ラナイ、何ヲ言フデ居ル)ト呼フ者アリ)尙ホ次ニ第二ノ點トシテ御尋申シタイ事ハ、投票區域ノ各所ニ於テ開票スルト云フ事アル、是ハ無記名投票ノ外皮ヲ裝フテ、事實記名投票ヲ實現セシムルヤウナモノナル、提議者モ屬、選舉ハ自由ニ行ハレナケレバイケナイ、選舉民ノ意思ヲ自由ニ代表セシメナケレバイケナイ、政友會案ノ第八十九條ノ二、第八十九條ノ三ニハ選舉ノ自由、選舉民ノ意思ヲ自由ニ發表セシムル事ノ規定ヲ嚴密ニスル罰則ヲ御定メニナッデ居ル、然ルニ一ツノ投票區域ノ投票ヲ、其區域内ノ開票スレバ、豫メノ人ガ誰ニ投票シタイト云フ事ガ分ルノデ、投票ヲ買収スルニ、或ハ投票ヲ威嚇シテ投票セシムルニ最も有效ナル事デアッテ、選舉ノ腐敗ヲ増ス理由アル(違ヒマスツレハ)ト呼フ者アリ)之ニ對シテ若シ政友會ガ實際記名投票ガ有利ナリトスラバ、各選舉區デ開票スルト云フ事ヨリハ、記名投票ナクテ無記名投票ガ宜イト云フ事實ヲ、第八十九條ノ二、三ノ項ニ於テ御定メニナッテ置キナガラ、事實ニ於テ記名投票ニ等シキ御規定ヲ爲サレタノハ何故アルカ、モウ一ツ政友會ノ提議者ニ尋ネテ置キタイコトハ、別表ノ改正ニ就テ計算ノ基礎ハ何處アルカ、此三點ニ就テ明確ナル御答辯ヲ得テ置キタイと思フ

○議長(大岡育造君) 水野政府委員

(政府委員法學博士水野鍊太郎君登壇)

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 植原君ニ御答致シマス、植原君ハ第一ノ御質問ハ、政府ニ於テハ選舉權ノ擴張ノ必要ヲ認メテ居ルカドウカ、又必要アリトスレバ如何ナル程度迄ノ擴張ヲ必要ナリトスルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、選舉權ノ事ニ就キマシテハ、先程カラ度々申シマシタ如ク、是ハ其時ノ國民ノ教育ノ狀況、其他各般ノ狀況ヲ審查シテ之ヲ決シナケレバナラヌ、之ニ就テ政府ハ今政究中デアルカラ、唯今ノ如キ御尋ニ對シマシテハ、其必要アリヤ否ヤハ今政究中デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ第二ノ植原君ノ御意見デハ、選舉界ノ廓清ヲ爲サナケレバナラヌ、又此廓清ヲナスハ選舉權ノ擴張ニ依ルノ外ハナイ、選舉權ノ擴張ニ依ッテ、選舉界ハ大々的ニ肅清セラル、モノデアルト云フ御意見デアッテ、而シテ政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、政府ハ選舉界ノ廓清ハ、獨リ選舉權ノ擴張ノミヲ以テ行ハルベキモノデハナイト考ヘテ居リマス、或ハ政治教育ノ向上、政治道德ノ進歩、其他各般ノ狀況

ニ依テ、選舉界ト云フモノガ廓清セラル、ノデアリマスカラ、選舉權ノ擴張ノミヲ以テ選舉界ガ廓清セラベキモノニアラズト認メテ居リマス

○松田源治君 植原君ノ御質問ハ多クハ議論デアリマシテ、之ニ向テ答ヘル必要ハアリマセウガ、折角ノ御尋デアリマスカラ、敬意ヲ表シテ簡單ニ答辯致シマス、大選舉區ノ時代ニ大人物ガ出テ、小選舉區ノ時代ニハ大人物ガ出ナイト云フヤウナコトヲ植原君ハ申シテ居リマスガ、是ハ同一デアリマス、大臣ニナラレタ人ヤラ議長ニナラレタ人、其他ノ名士ハ多ク小選舉區カラ出テ居リマス、是ハ幸ヒ衆議院事務局カラ衆議員總選舉一覽ト云フ上下ノ本ガ出テ居リマス、之ニ第一回ノ選舉カラ第十二回ノ選舉迄如何ナル人ガ當選シ、如何ナル人ガ落選シタカ、委シク出テ居リマス、之ヲ一讀上ゲルト大變テ事デアリマスカラ、植原君ハ事務局ニ就テ此本ヲ請取ラレテ、小選舉區ニ於テハ如何ナル名士ガ落選シテ居ルカ、大選舉區ニ於テハ如何ナル名士ガ落選シテ居ルカト云フコトヲ比較御研究ナサタナラバ、能ク御分リニナル事と思ヒマス其他小選舉區ノ利益ハ私ノ申シタ通りデアリマスガ、モウ一箇條附加ヘマスレバ小選舉區デハ、無競争ノ選舉區ガ澤山出來ル、第六回ノ總選舉ノ時分ニハ、百十一區ニ無競争ノ選舉區ガ出來テ居リマス、是ガ大變重大ナル利益デアル、其他ノ利益ハ先程詳細説明致シマシタ通り、而シテ小選舉區モ大選舉區モ、所期ノ目的ヲ達スルト云フコトハ殆ト同一デアル、少數代表ニ就テモ同一デアル、大人物ニ就テモ小人物ニ就テモ同一デアルト云フコトハ、事實ニ於テ立證サレテ居リマス、事實ガ有力ナル雄辯ナリト本員ハ信ジマスカラ、此答辯ヲ以テ御満足アラフコトヲ希望致シマス、ソレカラ其次ノ投票所ニ就テ投票ヲ郡役所ニ持ッテ行ッテ、即チ選舉會場デ混同セシテ開クノハ、是ハ記名式デハナイ、無記名式ノ性質ガ十分保タレテ居リマス、無記名ノ弊害ヲ矯正スル爲ニ之ヲ設ケタノデアリマス、其以上ハ議論ニナリマスカラ答ヘル必要ハアリマセウ、ソレカラ第三ハ吾ガ小選舉區ニシタル人口ノ標準、是ハ大選舉區ト變リマセウ、十三万デアリマス、而シテ是ハ十二万デアルガ、行政區劃ガ小選舉區ニ必要デアリマスカラ、郡ニ依テ一郡ヲ一選舉區トシ、或ハ二郡ヲ一選舉區トシテ居ル所モアリマス、各村毎ニスルト大變都合ガ好イケレドモ、行政區劃ノ分割ヲスルコトガ困難デアリマス、故ニ八万デモ一人、二十一万迄ハ一人、二十一万以上ニナッダラ二人、併シ之ヲ全縣ニ合算シテ勘定スレバ矢張十三万、或ハ一區ト或ハ一區ト比較スルト云フト、是ハ人口ニ於テ不公平ガアリマスケレドモ、縣全體ヲ通算シテ勘定スレバ十三万ト云フコトハ少シモ違ヒハナイ、不公平ハアリマセウ、是ハ八万ノ處モ一人二十一万ノ處モ一人ト云フコトハ不公平デアリマスケレドモ、是ハ行政區劃ヲ分割スルコトガ出來ナイノデ、郡其モノヲ標準ニシ、或郡ノ人口ガ少チハ爲ニ、二郡ヲ合併シテ一選舉區トスルコトガアリマスカラシテ、一寸比較シテ見レバ不公平デアリマスケレドモ、縣全體ニ於テハ十三万平均ノ率デ出來テ居リマス、左様御承知アラフコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 今井嘉幸君

(法學博士今井嘉幸君登壇)

○法學博士今井嘉幸君 簡單ニ質問致シマス、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ、政友會ノ出シタ案モ、憲政會ノ出シタ案モ、而シテ國民黨ノ出シタ案モ、亦政府ノ出シタ案ノ案モ、皆揃ヒモ揃フテ愚案デアルト云フコトヲ感ズルノデアリマス、何故斯ク揃ヒモ揃フテ

愚案ヲ出シタカト云フコトニ就テ、非常ニ疑問ニ堪ヘナイ、色、討論ヲシテ居ル其有様ハ、五十歩ヲ以テ百歩ヲ笑フガ如キモノナル、富島君ノ言ヲ藉リテ言フナラバ、議場ノ神聖ヲ汚シマスカラシムセヌガ、要スルニ斯ウ云フヤウナ愚案ヲ出シタカト云フコトニ就テハ、本員ハ非常ニ遺憾ニ思フ(「愚案トハ何シカラン」ト呼フ者アリ)如何ナル點ニ於テ愚案ナルカト云フコトヲ是カラ申シマスカラシテ、願クハツレニ對スル所ノ御答辯ヲ得テ、若シ私ノ愚案ナルカト云フコトが間違ッテ居ッタナラバ、ツレニ對シテ御斷リヲ申上グマス、先ヅ第一ノ點ニ付キマシテハ、政府案モ各政黨ノ提案モ人員ヲ増加スルト云フコトニ就テ、本員ハ是非非常ノ愚案ナルト思フ、一體人間が集ッテ二百名以上ノ集團ヲ組織シタ場合ニ於テ、サウ云フ場合ニハ一ノ群衆心理ノ狀態トシテ、眞面目ノ議論ノ出來タト云フコトハ、歐羅巴諸國ノ學說ノ中ニ書イテアッタト本員ハ見タノデアリマス(「ツレガ惡イ」ト呼フ者アリ)而シテ本員が此議場ニ出テ來タ感想ニ於テモ、正ニ其感ヲ深カラシムル所ノモノガアルデアリマス、ツレハ此議場ニ於ケル所ノ議論ト云フモノハ、殆ド眞面目ニヤッテ居ラレナイヤウナ場合が多い、多クハ眞面目ノ議論ト云フモノハ、委員會ニ移ッテ居ルヤノ形式ガアルヤニ本員ハ感ズルデアル、是ハ他國ノ實例ニ於テハ、二百名以上ノ例ト云フモノハ、隨分アリマスケレドモ、他國ノ議會ニ於ケル所ノ狀態ヲ聞イテ見ルト、其議會ト云フモノハ非常ニ靜肅ナル、本院ノ如ク初メカラシテ簡單トカ、初メカラシテ馬鹿トカ云フヤウナ、サウ云フ彌次ヲ連發スル議會ト云フモノハ何處ニモアリハシナイ(「問題外」ト呼フ者アリ)強テ例ヲ求メレバ、是ハ早稲田大學ノ討論會ヲ學ブ所ノ支那ノ議會位ノモノデアル、サウ云フヤウナ譯デ、此多勢ノ人間ヲ一ツノ議場ニ集メルト云フト、益々眞面目ノ態度ト云フモノヲ失ッテ來ルト云フ傾向ガアル、今年迄モ既ニ斯ノ如シ、其上ニ五十名モ或ハ百名モト云フヤウナモノヲ直ニ殖シタナラバ、此議場ニ於テ眞面目ノ議論ト云フモノハ私ハ出來マイト思フ、或ハ一時ノ場當リ演說ヲスルト云フヤウナ事ニ終ッテ仕舞ヒハシナイカト思フ、唯、國會ニ於キマシテ、衆議院ガ人員ヲ増加シタ場合ニ於テ、非常ニ效力ノアル所ノ一ツノ利益ガアル、是ハ何デアルカト云フト、上院ニ對スル優越權ヲ有ッテ居ルト云フヤウナ結果ヲ生シテ來ル、是ハ法律上ニ於キマシテハ平等デアリマシテモ、下院ノ方ハ人員が多いガ爲ニ、其勢ニ壓セラレテ優越權ヲ有ッテ來ルト云フヤウナ結果ヲ生ズル事ガアルデアリマス、所ガ今回提出シタル案ハドウデアルカト云フト(「止メロ」ト呼フ者アリ)ドウデアルカト云フト貴族院ト妥協シテ、貴族院モ其人員ヲ殖ス、故ニ衆議院モ亦殖スト云フヤウニ兩方妥協シテ、サウシテヤッテ居ル所ノ案デアル、此點ニ於テ其效力ガ那邊ニシテ認メル事ガ出來ルカ、私ハ此人員ヲ増加スルト云フコトハ、此意味ニ於テ非常ニ愚案ナルト考ヘルガ、此點ニ對スル政府ノ御説明ヲ求メタイ、何故ナラバ政府ハ此愚案ノミヲ提出シタデアリマスカラ、政府ノ御説明ヲ求メタイ(「愚問々々」ト呼フ者アリ)ツレカラ第二ニ選舉權ノ擴張ノ範圍デアル、是ハ政友會ノ方ノ御答辯ヲ求メルデアル、尤モ政友會限リデハナクシテ、選舉權ノ範圍ニ付テハ、私ノ考カスレバ實ニ呆レザルヲ得ナイヤウナ擴張ホカシナイデアル、是ハ殆ド五十歩ヲ以テ百歩ヲ笑フ類デアルケレドモ、此點ニ對スル所ノ政友會ノ態度ガ、最モ選舉權ノ擴張ニ付テ各ナルモノガアルカラ、此點ニ付キマシテ政友會ノ考ヲ尋ネル次第デアル、一體今日世界ノ大勢ヲ見テ(「何が世界ノ大勢」ト呼フ者アリ)普通選舉ニナッテ居ナイ所ノ國ト云フモノハ殆ド無イデアル、唯一ツノ例ヲ求ムレバ、匈牙利ノミデ

アル、其他ハ普通選舉カ若クハ普通選舉ニ近イ所ノ制度ニナッテ居ルデアッテ、唯、匈牙利ノミガ普通選舉ニナッテ居ナイデアル、何故匈牙利ハ普通選舉ニナッテ居ナイカト云フト、匈牙利ニ於テハ匈牙利人が三分ノ一ヲ占メテ、他ノ人種ト云フモノガ三分ノ二ヲ占メテ居ル、其爲ニ匈牙利人が自己ノ勢力ヲ維持セムガ爲ニ、サウ云フヤウナ制限シタル所ノ選舉法ヲ設ケテ居ル、即チ匈牙利人が金持が多いデアル、金持が多い爲ニ此選舉權ト云フモノヲ納稅額ニ非常ニ制限シテ居ル結果、斯ウナッテ居ルデアル、若シ是ニ對シテ普通選舉ヲ布イタナラバ、其時ニハ今日ノ匈牙利人ト云フモノハ、權力ヲ失フテ仕舞フデアル、下度支那ニ於テ滿洲人が權力ヲ有シテ居ッタ奴ガ、是ニ對シテ立憲政治ヲ布クト云フ事ニナッテ來ルト、支那ノ民本主義ト云フ結果、滿洲人が勢力ヲ失フタノト同様ナ有様デアル、サウ云フヤウナ特別ナ事情ガアルカラシテ、匈牙利ニ於テハ今普通選舉ト云フモノガ行ハレテ居ナイデアル、今日此普通選舉ト云フモノヲ行ツタナラバ、我國ニ於ケル所ノ政治上ノ狀態ト云フモノハ一變スルデアル、今日ノ選舉法ト云フモノハ唯、我國ノ國族ヲ維持スル所ノ一、國族ノ勢力ヲ維持スル所ノ根柢ニナッテ居ルニ過ギナイ、否ザレバ又政友會ノ諸君カラ爾等ラレカモ知レマセヌケレドモ、政友會ノ勢力ヲ維持スル所ノ其方便ニナッテ居ルニ過ギナイデアル、併ナガラ政友會ノ御態度ト云フモノハ、昔カラ斯ウ云フモノデハナカッタ、實ニ政友會モ以前ニハ洵ニ立派ナ——自由黨時代ニ於テハ敬服ニ堪ヘナイ所ノ態度ヲ執ッテ居ッタ時代ガアル、而シテ此普通選舉ニ對スル所ノ態度ニ於テモ、非常ニ政友會ニ付テ敬服スル時代ガアッタデアリマス、普通選舉ナルモノガ我國ノ議場ニ於ケル問題トナッタノハ、明治三十五年ニ初メテ提案サレタデアル、其時ニハ無論否決サレマシタガ、其後明治三十八年、三十九年、四十年、四十一年、四十二年、四十二年、四十四年ト云フヤウニ、七箇年ニ亘ッテ毎年々々此議場ニ提出サレタト云フコトヲ歴史ガ揭ゲテ居ルデアル、而シテ四十四年即チ第二十七議會ニ於キマシテハ、是ガ大多數此議會ヲ通過シタデアリマセヌカ、而シテ此時ニ於ケル所ノ過半数ノ政黨ハ誰デアッタカ、政友會デアリマセヌカ、政友會ハ此場合ニ二百餘名ノ多數デ、サウシテ此議場ニ於テ普通選舉ト云フモノヲ通過セシメタデアル、而シテ之ヲ提出シタ所ノ提案者ハ、此處ニ御坐ル所ノ吉植君、望月君、上桎君、根本君、中村君ノ如キ人モ此中ニ入ッテ居ルト云フコトヲ見ルデアル、要スルニ普通選舉ト云フモノハ此時ニ於テ政友會ノ力デ此議會ヲ通過シタ事ガ一遍アルデアル、是ハ貴族院ニ於テ提議サレタケレドモ、要スルニ衆議院ト云フモノヲ一回通過シタデハナイカ、政友會ニ私ハ借問スルデアル、今日ドウデアルカト云フト、政友會ハ普通選舉ト云フモノニ付テハ、無論反對デアルガ、選舉權ノ擴張ト云フコトニ付テ、最モ範圍ノ狹イ所ノ案ヲ出サレテ居ルデアリマセヌカ、而モツレノミナラズ、私が以前ニ普通選舉ノ請願書ヲ紹介シテ提出シタ場合ニ於テ、此請願書ヘモ不採擇ニセシメタデアル、其委員會ニ於テハ政友會ノ人が多數ヲ占メテ居ルデアリマスガ、此請願ヲ不採擇ニシタイト云フコトハ、非常ニ事デアリマス、一遍此議場ヲ多數ヲ以テ通過シタ所ノ案ヲ請願ニ出シテ、ツレヲ不採擇ニ終ラシメルト云フヤウナコトニナッテ居ル、以前ニ於ケル態度ト今日ニ於ケル態度ト云フモノハ、非常ニ違ッテ居ル、是ハ昨ガ是カ、今日ガ非カ、今日ガ是カ、昨ガ非カ、政友會ノ是非々々主義ト云フモノハ、斯ウ云フヤウニグラ／＼變ルデアル、此點ノ御説明ヲ願ヒタイ(「選舉法ナラ論

ブル資格ハ無い「答辯ノ必要ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 水野政府委員

(政府委員法學博士水野鍊太郎君登壇)

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 今井君ニ御答致シマス、今井君ノ御尋ハ議員ノ數ヲ増シタノハドウ云フ譯カト云フコトアリマスガ、人口ノ増加ニ伴フテ、衆議院議員ノ數ヲ増加スルノハ是ハ至當ナ事ト思フノデアリマス、是ハ單リ我國ノ實例ノミナラズ、各國ノ實例ガ之ヲ示シテ居ルコト云フコトハ、博學ナル今井君ノ必ズ御承知ノ事ト信ズルノデアリマス

○議長(大岡育造君) 松田源治君

○松田源治君 今井君ノハ評論デアリマスカラ、答辯スル必要ヲ認メセヌ、討論ノ際ニ今井君ト討論ヲ闘ハセタイノデアアル、ソレデ議院法及議院規則ヲ能ク御覽ノ上發言サレムコトヲ望ムノデアリマス

○議長(大岡育造君) 齋藤隆夫君

(齋藤隆夫君登壇)

(拍手起ル)

○齋藤隆夫君 内務大臣ノ御出席ノ無イコトハ甚ダ遺憾デ御坐イマスガ、併シ大臣以上ニ聰明ナル水野次官ノ御出席ガアリマスニ依テ、政府ヲ代表シテ十分ナル徹底セル所ノ御答辯ヲ得ル事ガ出來ルト信ジテ居リマス、(前口上ハ廢セ)ト呼フ者アリ)政府ハ選舉法ノ本體ニ向ッテ改正ヲ施スノ意思アリト云フコトヲ言明サレタノデアアル、此ニ於テ本員ガ質問ヲ致シタイノハ、然ラバ如何ナル方法ニ依ッテ、議會ニ提出スベキ原案ヲ作製スルヤ、又何時ノ議會ニ之ヲ提出セムトスルノデアアルカ、之ヲ承リタイノデアリマス、此事ニ付テハ少シク説明ヲ要スル事ガアル、御承知ノ如ク前内閣時代ニ於キマシテハ、時ノ一木内相ハ選舉法ヲ改正スルノ目的ヲ以テ、選舉法改正調査委員會ナルモノヲ組織セラレタノデアリマス、此調査委員會ハ貴衆兩院ノ各派ノ代表者、及之ニ關係アル政府ノ高級官吏ヲ以テ組織シテ居タノデアリマス、而シテ此調査會ニ向ッテ一ツノ原案ヲ提出シテ、審議ヲ求メラレタノデアアル、所謂一木案ナルモノデアリマス、固ヨリ此原案ハ吾々ノ議論トハ大分懸ケ離レテ居タモノデアリマス、併ナガラ是ハ人各々見ル所ヲ異ニシ、即チ意見ノ相違デ御坐イマスニ依テ、委員多數ノ意見ニ依テ自由ニ修正スルコトガ出來タ所ノ原案ナノデアリマス、斯ノ如クニシテ一木内務大臣ハ免ニ角選舉法ヲ改正スルノ目的ヲ以テ、議會ニ提出スベキ原案ヲ作製スルニ努力セラレテ居タコトハ事實デアアル、所ガ一昨年ノ十月現内閣ガ成立シテ、後藤内務大臣ノ時代ニナツテ、此調査會ハドウナツタカト云フト、後藤内務大臣ハ此調査會ヲ其儘繼續セラレタノデアリマス、調査會ヲ繼續セラレタノミ限ラズ、一木案其モノヲモ其儘ニ繼續シテ、確カニ三回迄調査會ヲ開カレタノデアアル所ガ、其調査會ニ於テ委員ノ多數ヨリ種々ノ質問ガ出デ、種々ノ追窮ニ餘儀ナクセラレテ、遂ニ此調査會ヲ廢シ、續テ官制ヲ廢セラレルトニナツタノデアリマス、唯、別表ノミ之ヲ切離シテ調査會ノ議ヲ經タト云フノガ、今日提出セラレタル所ノ別表ノ改正案ナノデアリマス、後藤内務大臣ガ調査會ヲ廢止セラレタト云フコトニ付キマシテ、本員等ハ決シテ苦情ヲ述ブル者デハナイ、苟モ内務大臣タルモノガ選舉法ヲ改正案ヲ作製スルニ方ッテ、調査會ナドノ議ヲ經ルニ

ハ及バヌ、豫メ貴衆兩院ノ代表者ナドニ相談スルノ必要ハナイ吾々ニハ意見ガアル、吾々確信ガアル、此意見ト確信ニ基イテ原案ヲ作ッテ、全責任ヲ負ッテ議會ニ問フテ見ルト云フコトナラバ、ソレデ宜シイノデアアル、是ハ確カニ見上ケル所ノ一ノ見識デアアル、本員等ハ斯ル意見アリ、斯ル確信アリ、斯ル責任觀念アル所ノ内務大臣ノ出現ヲ要求シテ居ルノデアリマス、然ル所ガ爾來一年有餘ノ間ニ於テ、政府ハ選舉法改正ト云フコトニ付テ何ヲ爲シタ、内務大臣ハ選舉法ノ改正ニ付テ如何ナル事ヲ爲シタカ、内務大臣ノ命令ニ立働イテ居ル所ノ内務省ノ連中ハ、果シテ選舉法改正案ヲ作ルガ爲ニ努力ヲシテ居ルカ否ヤト云フニ、本員ハ少シモ其形迹ヲ認メルコトガ出來ナイノデアリマス、此ニ於テ本員ハ、政府ハ選舉法ヲ改正スルノ意思アリナド議會ニ於テハ明言ヲ致シテ居リマスケレドモ、心ノ底ニ於テハ改正ノ意思ガ無い、選舉法ノ改正ト云フコトニ付テハ、何等ノ意見モ無ケレバ、何等ノ確信モ無い、若シ政府ニ於テ意見アリ確信ガアルナラバ、今日此頃改正案ガ此議場ニ現ハレナイト云フ答ハ決シテ無イデアリマス、現ハレナイ所ヲ見マス、政府ニ於テハ意見モ無ケレバ確信モナイ、少クモ現内閣ノ存在中ハ選舉法ノ改正ニ向ッテハ手ヲ觸レナイト云フ考デハナイカト思ハレルノデアアル、若シ私ノ推測ガ誤レテ居ルト云フノデアリマスナラバ、此點ニ付テ徹底セル御辯解ヲ求メント欲スルモノデアリマス、又果シテ選舉法ヲ改正スルノ決心ガ有ルナラバ、如何ナル方法ニ依ッテ議會ニ提出スベキ原案ヲ作製セントスルノデアアルカ、是ガ爲ニ特別ノ機關デモ設ケントスルノデアアルカ、又改正案ノ作製ヲハ政府部内ノ屬僚ニ一任セントスルノデアアルカ、政府部内ノ屬僚ニ一任シテ、果シテ完全ナル改正案ヲ作製スルコトガ出來ルト思ッテ居ルノデアアルカ、固ヨリ今日ノ内務省ニハ水野次官ヲ始メシテ妙カラザル所ノ人材モ居ラレルノデアリマス、併ナガラ何ヲ言フニモ是等ノ人ハ選舉界ノコトニ付テハ全ク經驗ノ無イ所ノ一種ノ局外者デアアル、選舉界ノ事ヲ知事ヤ或ハ警察官等ノ報告位ニ依ッテ、實情ヲ探ラントスル所ノ所謂竹ノ筒カラシテ天ヲ眺メテ居ル人ミデアアル、是等ノ人ミノ手ニ依テ完全ナル改正案ヲ作り、議會多數ノ同意ヲ得ル事ガ出來ルト思ハレルナラバ、試ミニヤッテ御覽ナサルガ宜シイ、吾々ハ刮目シテ之ヲ見テ居ルノデアリマス、又如何ナル方法ニ依ッテ改正案ヲ作ルニ拘ラズ、全體何時ノ議會ニ改正案ヲ提出セントスルノデアリマスガ、苟モ選舉法ヲ改正スルノ決心ガ有ルナラバ、案ヲ具ヘテ是ヲ議會ニ提出スルコトニ付テモ、相當ノ考ガ極ラデ居ラネバナラバ、案ヲ具ニ於テ果シテ此考ガ極ラデ居ルヤ否ヤ承リタイノデアリマス、而シテ本員ガ此質問ヲ爲スニ付キマシテハ、誤解ヲ防グガ爲メニ一言致シテ置カネバナラヌコトガアリマス、法律ノ發案權ハ政府モ議會モ共ニ之ヲ有シテ居ルノデアアル、此兩者ノ間ニ於テ何等ノ輕重ガ御坐イマセヌ、夫故ニ選舉法ノ改正モ是迄屢、議員諸氏ヨリ此議會ニ提出セラレテ居ルノデアリマス、現ニ今期議會ニ於キマシテモ、各黨派ヨリ改正案ガ提出セラレテ居ルノデアリマス、仍テ吾々ハ決シテ政府ノ提案ノミニ信賴シテ居ルト云フ如キ、斯ル不見識ナルコトノ考ハ少シモ有シテ居ラスノデアアル、併ナガラ本員ノ見ル所ニ依リマス、我國ノ議會ハ此點ニ於テ甚ダ遺憾ナ事柄ガアルノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト、同ジ種類ノ議案デモ、政府ノ提出ニ係ルモノハ比較的ニ重セラレ、議員ノ提出ニ係ルモノハ比較的ニ輕セラレ、殊ニ貴族院ノ方面ニ於テ此傾向ガ甚ダシアルカノ如クニ觀察セラ、ルノデアアル、是ハ議會ノ威信ヲ保ツ上ニ於テ洵ニ憂フベキコトデアリマスガ、併シ是ガ

吾々が常ニ實踐シテ居ル所ノ事實デアルカラ致方ナイノデアル、斯ル事情アリマスルガ爲ニ此種ノ議案ハ先ツ政府ガ是ヲ提出シ、政府ガ是ニ向テ最善ノ努力ヲ致スト云フコトガ、此目的ヲ達スルニ於テ最モ便宜デアル、又政府トシテ負テ居ル所ノ大責任デアルト確信シテ居ルノデアル、政府ハ時代ノ進運ニ鑑ミ、選舉界ノ實情ニ考ヘ、又國論ノ趨勢ニ顧ミテ、速ニ此問題ヲ解決シテハナラヌノデアル、然ルニ現内閣成立以來一年有半ノ間ニ於テ、此點ニ付テ政府ハ如何ナル注意ヲ爲シタカ、如何ナル努力ヲ致シタカト云フニ、本員ハ何等其形迹ヲ認メルコトガ出來ナイノデアル、ソレ故ニ此機會ニ於キマシテ政府ノ意見ノアル所ヲ、十分ニ徹底的ニ述べラレテ、選舉法改正ノ意思ニ付テ確カナル所ノ御辯明ヲ求メトスルノデアル、尙一言確メテ置キタイコトハ、選舉權ノ擴張ニ關スルコトデアル、此事ハ是迄モ質問ガ御坐イマシタガ、水野次官ノ答辯甚ダ曖昧デアル、本員ハ此事ニ付テ何等ノ説明ハ致シマセヌガ、今期議會ニ現ハレテ居リマス所ノ各黨派ノ改正案ニ付キマシテモ、選舉權ノ擴張ト云フコトガ最モ主要ナル部分トナッテ居リマス、政府ハ此擴張案ニ賛成デアルヤ否ヤト云フコトノミ承リタイ、是迄ノ水野次官ノ答辯ノ如ク、選舉法ノ改正ハ最モ重大ナルモノデアル、政府ハ慎重ナル注意ヲ爲シテ居ル、取調中デアル、考慮中デアルト云フ如キ曖昧模糊タルトコロノ答辯デアルナラバ、本員ハ承ルノ必要ハナイ、選舉法ノ改正ハ今日起ツタ問題デアリマセヌ、我國ニ於テハ十數年來ノ懸案デアル、此問題ニ付テハ在朝在野ノ間ハズ、苟モ政治家デアル所ノモノハ、相當ノ考ヲ極メテ居ラネバナラヌ答デアル、今日此時ニ至ッテ尙水取調中デアルトカ、尙未考慮中デアルトカ言フガ如キ、曖昧模糊タル答辯ヲ爲シテ、政府ノ責任ヲ塞グコトガ出來ルト思フテ居ラル、ナラバ、ソレハ大ナル誤リデアリマス、以上ノ質問ニ付キマシテ極ク簡單ナル所ノ精確ナル所ノ答辯ヲ求メトスルノガ、本員ノ質問ノ要旨デアリマス

(拍手起ル)
○議長(大岡育造君) 水野政府委員
(法學博士水野鍊太郎君登壇)
○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 齋藤君ニ御答致シマス、選舉法ノ改正ハ歷代ノ内閣ガ努力シテ居タコト、私ハ信ズルノデアリマス、而モ甚ダ遺憾ナカラ十分ナル成案ヲ得ズ、而モ一度ヒ提出シタル場合ニ於テモ、兩院ヲ通過セシテ今日ニ至ツタト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、前内閣ニ於テモ選舉法ノ改正ハ努メラレタノデアリマセウ、而モ成案ヲ得ズ、議會ニ提出スルノ選ビニ至ラナカッタト云フコトハ齋藤君ノ御承知ノコトデアリマス、ソレト同ジク現内閣ニ於テモ、選舉法ヲ改正スルノ意思ハアルノデアリマス、アリマスガ、是ニ付キマシテ度々申シマス如ク、選舉權擴張ノコト、選舉區制ノ如キ重大ナル問題ニ付テハ慎重ノ研究ヲ要スルガ爲ニ、今日尙未決定ヲ見ルニ至ラナイ、是ガ事實デアリマス、ソレデアリマスガ故ニ、今日政府ニ於キマシテ此事ニ付キマシテ何時選舉法ノ改正ヲ出スカ、選舉權ノ擴張若クハ選舉區制ニ付キマシテ、ドウ云フ意見ヲ有シテ居ルカト云フコトヲ明言スルコトヲ得ナイノハ、是ガ爲デアリマス、是以上御答スルコトヲ得ナイノハ、洵ニ遺憾デアリマスガ、事實ハ事實トシテ御答スル外ナイノデアリマス

○岩崎勳君 日程第五ノ政府提出案ハ、當然特別委員ニ付託スベキモノデアリマス、

故ニ此場合便宜第五第七ノ兩案ヲ一括シテ、藤澤幾之助君外數名提出ノ衆議院議員選舉法中改正法律案外一件ノ特別委員ニ、併セテ付託セラレントノ動議ヲ提出スルノデアリマス

(贊成々々)「異議ナシ」ト云フ者アリ

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ贊成多クシテ、異議ナシト認メマス、仍テ岩崎君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八、罹災救助基金法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長熊谷五右衛門君

第八 罹災救助基金法中改正法 第一讀會ノ續(委員長(確定議))
律案(政府提出)

(熊谷五右衛門君登壇)
(拍手起ル)

○熊谷五右衛門君 唯今議題ニ上リマシタル罹災救助基金法中改正法律案、委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、本案改正ノ要點ハ、第一現行法ハ明治二十二年七月一日ヨリ施行デアリマシテ、期限ガ滿二十箇年トシテアッタノデアリマス、ソレ故來年ノ六月三十日ガ滿期トナルノ御坐イマシテ、依テ尙ホ是ヲ繼續セムトスルノガ主眼ノ要點デアルノデアリマス、第二ハ府縣ニ於テ貯蓄スベキ罹災救助基金ノ最少額ヲ五十萬圓ト限定致シタルデアリマス、ソコデ各府縣ニ於テ、今日迄ニ蓄積シテアリマスル現在高ハ、如何程ニッテ居ルカト申シマスレバ、最早五十萬圓ニ達シテ居ラヌ所ハ、沖繩縣ヲ除キマシテ、其外最少額ト雖モ、既ニ五十二萬九千圓餘ニ達シテ居ルノデアリマス、其他ノ多クハ七十萬圓ヨリ百萬圓以上ニ達シテ居リマシテ、愛知縣ノ如キハ既ニ三百萬圓以上ニ達シテ居ルノデアリマス、第三ハ支出ノ費目ヲ擴張致シマシテ、學用品費、運搬費、人夫費ヲ加ヘタノデアリマシテ、又事業費ニ於キマシテモ露店營業者等ニモ支出シ得ルノ範圍ニナッタノデアリマス、範圍ヲ擴張メタルデアリマス、而シテ罹災救助ノ——罹災者ヲ救助スル方法ノ一ツトシテハ、地方長官ニ於テ必要ト認メタル場合ニ於テハ、金錢ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ルト云フコトノ急場ニ處スル便法モ加ヘラレタノデアリマス、第四ハ運用ノ方ヲ擴張メマシテ、現行法ニハ、貸出シノ範圍ヲ非常災害ノ爲ニ要スル府縣ノ土木費ト限リテアッタノデアリマシタノヲ、府縣其他市町村公共團體ニモ貸出ヲスルコトニナッタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ト細密ナル質問應答ヲ重ネマシテ、熱心ニ審議熟慮ノ上、本案ノ改正ハ時代ニ處スルノ必要ヲ尤モナリト致シマシテ、一人ノ異議者モナク全部原案ニ可決致シタルデアアル、何卒諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ讀會ノ順序ヲ省イテ可決確定ノ法ヲ採リマス、御異議アリマセヌカ(異議ナシ)異議ナシト認メマス)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ讀會ノ順序ヲ省イテ可決確定ノ法ヲ採リマス、御異議アリマセヌカ(異議ナシ)異議ナシト認メマス

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ可決確定致シマシタ——日程第九、大正六年勅令第二百二號ヲ題ト致シマス、承諾ヲ求ムル件——委員長陣軍吉君(拍手起ル)

第九 院送付
大正六年勅令第二百二號(承諾ヲ求ムル件)(貴族(委員長)報告)

(陣軍吉君登壇)

○陣軍吉君 本員ハ大正六年勅令第二百二號、承諾ヲ求ムル件此委員會ニ於ケル經過並ニ其結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ開會四回ニ及ビマシテ質問應答ヲ重ネ、慎重ニ審議ヲ致シタノ御坐イマス、詳細ノ點ハ速記録ニ依テ御承諾ヲ願フコトニ致シタノ思ヒマス、尙ホ茲ニ一言報告シテ置キマスノハ、一時速記ヲ中止致シマシテ懇談會ヲ開イタ點ガ御坐イマスカラ、此點又御報告致シテ置カウト存シマス、諸君御承知ノ如ク、此小領紙幣ハ紙質極メテ粗惡デ御坐イマシテ、取扱上極メテ不便アルノ御坐イマス、ソレデ御坐イマスカラ 政府ニ向ッテ此紙質ヲ改善シテ貴ヒタイト云フ委員會ノ希望デアッタノ御坐イマス、而シテ政府ハ委員會ノ希望通りニ、果シテ此紙質ヲ改善スルヤ否ヤト云フコトヲ確カメタ所ガ、政府ニ於キマシテ今後發行ノ分ニ對シテハ、紙質ヲ十分ニ改善シ、而モ纖維ノ強ク長キモノヲ以テ製造シ、發行スルコト云フ確實ナル言明ヲ得タノデアリマス、尙ホ色彩ノ點ニ付キマシテモ、委員會ノ希望スル所ガアリマシタガ、政府ニ於キマシテハ同一ノ紙幣ニ二様ノ色彩ヲ用ヒルコトハ、行使上甚ダ迷ヲ生ズル惧ガアルカラ、是ハ直ニ同意ヲ表スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトデアリマシタケレドモ、委員會ニ於キマシテハ尙ホ研究ノ餘地アリシテ、其希望又述ベテ置イタ次第デアリマス、左様ナ次第二依テ委員會ハ全會一致ヲ以テ承諾ヲ與ヘルト云フコトニ確定致シタノ御坐イマス、此段御報告致シマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り、可決承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 委員長報告通り御異議アリマセスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、即チ本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ——日程第十、爆發物取締罰則廢止法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——松田源治君

第十 爆發物取締罰則廢止法律案(磯部 第一讀會ノ續(委員長)報告)

○松田源治君 極メテ簡單ナル法案デアリマスカラ、此席ヨリ述ブルコトヲ議長ノ許可ヲ得タイト思ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス

○松田源治君 本案ハ委員會ヲ開キマシテ、政府ハ本案ニ同意スルヤ否ヤヲ質問致タマシタ所ガ爆發物取締罰則ノ廢止ニハ同意出來ヌガ、爆發物取締罰則ハ餘程刑律ガ苛酷ニナッテ居テ、刑律ノ權衡ガ取レテ居ラス、故ニ刑ヲ輕ク定メ、其他ニ付テ刑法ト權衡ヲ取ル修正ナラバ、同意スルコト云フコトデアリマシタ故ニ、委員會中ニ小委員會ヲ置イテ、鈴木富士彌君、磯部尙君ト本員ガ委員トナリマシテ、政府ニ交渉シテ二回ノ小委員會ヲ開キマシテ、一ノ修正案ヲ作製致シマシタ、其修正案ハ諸君ノ御手許ニ配布

サレタル通りデアリマス、即チ標題ハ爆發物取締罰則中改正法律案ト御坐イマシテ、其他ハ説明スル必要ハアリマセス、諸君ノ御手許ニ配布サレタ通りデアリマス、例ヘバ第一條中死刑ガ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮「斯ウナリマシタ、且ツ死刑ノミデナイ、選擇刑ヲ許シテ死刑又ハ無期若クハ七年以上ノ極刑ガ緩和サレタリマス、第二條ハ「無期懲役又ハ有期懲役」トアリマスノヲ、之ヲ「無期若クハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮」ト致シマシテ、餘程刑法ト權衡ヲ取ラレマシテ刑罰モ輕クナッテ居リマス、ドウカ諸君ノ贊成ヲ求メマス、是ガ委員會ノ報告デアリマシテ、全會一致可決確定シ、政府ハ此修正案ニ向ッテ全然同意ヲ表シマシタ、此段御報告致シマス

○議長(大岡育造君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤ、御諮リヲ致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、即チ本案ハ二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレムコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ勸議ニ御異議ナイモノト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案ノ全部ヲ議題ト致シマス

爆發物取締罰則廢止法律案 第二讀會(確定讀)

○議長(大岡育造君) 御異議アリマセスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、三讀會ヲ省略、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十一、鑛業法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長渡邊昭君

(拍手起ル)

第十一 鑛業法中改正法律案(磯部 第一讀會ノ續(委員長)報告)

○渡邊昭君 本員ハ鑛業法中改正法律案委員會ノ經過並ニ結果ニ付イテ御報告致シマス、委員會ハ四回開會致シマシタ、本案ハ極メテ簡單ナル案デ御坐イマシテ、現行ノ鑛業法中第二條ニ「鑛物ト稱スル」ノ下ニ「白金鑛」ノ三字ヲ追加致シタイト云フ案ノ修正デアリマス、而シテ現行法ニ依リマスレバ、鑛業法中第二條ニハ鑛物ト稱シテ二十二種ノ鑛目ヲ列記シテ御坐イマスカ、白金鑛ニ付テハ何等ノ規定ガ御坐イマセヌノデ、此白金鑛ヲ發見致シマシタ者ニ對シマシテ、其權利ヲ保護スルコト云フ趣旨ヨリ致シテ、此白金鑛ナルモノヲ第二條ニ追加致シタイト云フノガ提案ノ趣旨デアリマス、本案提出者ヨリ委員會ニ於テ詳細ナル説明、及ビ本案提出ノ動機等ニ付キマシテ御話ヲ承ッタノ御坐イマス、且ツ此白金鑛ナルモノハ、長崎縣大串村大村灣ノ半島金鑛坑内ニ於テ、初メテ發見致シマシテ、外尾駒太郎氏ノ手ニ依テ此鑛石ヲ——白金ヲ製造スルコトヲ得タノデアリマス、其白金鑛ヨリシテ白金ヲ製造致シマシタ經過等ニ付キマシテハ、提出者ヨリ原品ヲ提出セラレテ、詳細ナル説明ヲ承ッタノデアリマス、委員會ハ

政府當局ト質問應答ヲ重ネマシテ、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シタルヲ御坐イマス、本案ニ對シマシテ政府當局者ハ不同意ヲ言明セラレタノデアリマス、其不同意ノ理由ハ、今回發見セラレタ所ノ白金礦ナルモノハ、未ダ我國ニ於テ白金礦ナルモノガ發見サレタ事實ガナイノデアル、故ニ實地ニ就テ其白金礦ナルモノ、鑛量ノ程度、或ハ分布ノ狀態、或ハ鑛物ノ價値等ニ付テ十分ナル調査ヲ致シタルニ非ザレバ、之ニ同意ハ出來難イ、併ナガラ白金礦ト云フ事ニ確定致シマシタルヲ、無論此鑛業法中ニ追加ヲ致シテ、鑛法ノ改正ト云フ事ニ付テハ、何等異議ナシ譯デアリマス、其點ニ付キマシテハ政府ニ於テモ同意デアルノデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ、提出者ノ詳細ナル説明ヲ承リマシテ、之ニ信賴シ、且外國ニ於キマシテハ、獨逸、露西亞、加奈陀等ニ於キマシテモ、此白金礦「ブラチナ」ナルモノハ產出シテ居リマスルノデ、夫レ此發見ニ付キマシテハ、相當ノ保護ヲ外國ニ於テハ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、我國ノ鑛法中ニ於テ此白金礦ノ發見者ニ向テ、其權利ヲ保護スルト云フ事ハ當然ナル處置ナリトシテ、委員會ハ政府ノ不同意ナルニモ拘ラズ、政府ノ不同意ノ理由ハ甚ダ薄弱ナルモノトシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ニ可決シタル次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス

(拍手起ル)

○岩崎勳君 本員ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長ノ報告通り、可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ——御異議ナシト認メマス、仍テ讀會ノ順序ヲ省略シテ御諮リ申シマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ讀會ヲ省略シ全部可決確定シタル事ヲ宣告致シマス、日程第十二、農會法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長中倉萬次郎君不在ニ付高松正道君

第十二 農會法中改正法律案(山 第一讀會ノ續(委員長)(確定議))

(高松正道君登壇)

(拍手起ル)

○高松正道君 簡單ニ本員ヨリ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ要旨ハ市町村ノ農會ノ會費ヲ強制徵收ラスルト云フニ在ルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ四回ノ會合ヲ重ネマシテ、其間農商務大臣ノ出席ヲ求メマシテ、種々討議ノ結果、現時此歐洲戰亂ノ時局ニ鑑ミマシテ、食料ノ獨立ト云フ事ノ必要上、又農業者ノ進歩改善ヲ圖ル上ニ於キマシテ、農會ノ活動ニ待ツコト多イノデアリマス、併ナガラ此經濟界ノ非常ナ發展シマスニ付キマシテ、都會ニ住スル時ノ所謂成金ナルモノガ、農村ニ手ヲ出シマシテ多數ノ地所ヲ買込シテ居ル如キモノハ、農會ノ經費徵收ニ際シマシテ、制裁ノ無イ事ヲ奇貨ト致シマシテ、農會費ヲ納メナイト云フ者ガ多クアルノデアリマス、是ガ爲ニ農會ノ活動ヲ阻碍致シマシテ、農業ノ改良、農業ノ進歩ニ付キマシテ非常ナ阻碍

ヲ與ヘル事ガ多イノデアリマスルカラシテ、此問題ハ既ニ二十七讀會以來ノ問題デアツテ、既ニ政府ノ方ニ於テモ相當ナル調査ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、此機會ニ於テ本案ヲ是非通過サセタイト云フ事ノ議論デアリマシタ、是等ニ付キマシテ政府ガ之ニ同意ヲ與ヘマセヌ、其理由ハ頗ル薄弱デアツテ、唯、考慮ヲ要スノト云フノデ、殆ド曖昧模稜ニ致シマシテ捕捉スル所ガナイ、唯、理由ナクシテノラクラト同意セヌ丈ノ話デアル、是ニ於キマシテ委員會ニ於キマシテハ、討議ノ結果、滿場一致ヲ以テ本案ヲ原案ノ通り可決確定致シタル次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長代理高松君報告ノ通り、可決確定セラレン事ヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、仍テ讀會ノ順序ヲ省略シテ御諮リ致シマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマス

○岩崎勳君 日程第十三以下ニ對シテハ、延會ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 是モ多數ノ御贊成ガアリマス、動議ハ可決シタルモノト認メマス、日程ノ殘部ハ延會シマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時三十五分散會